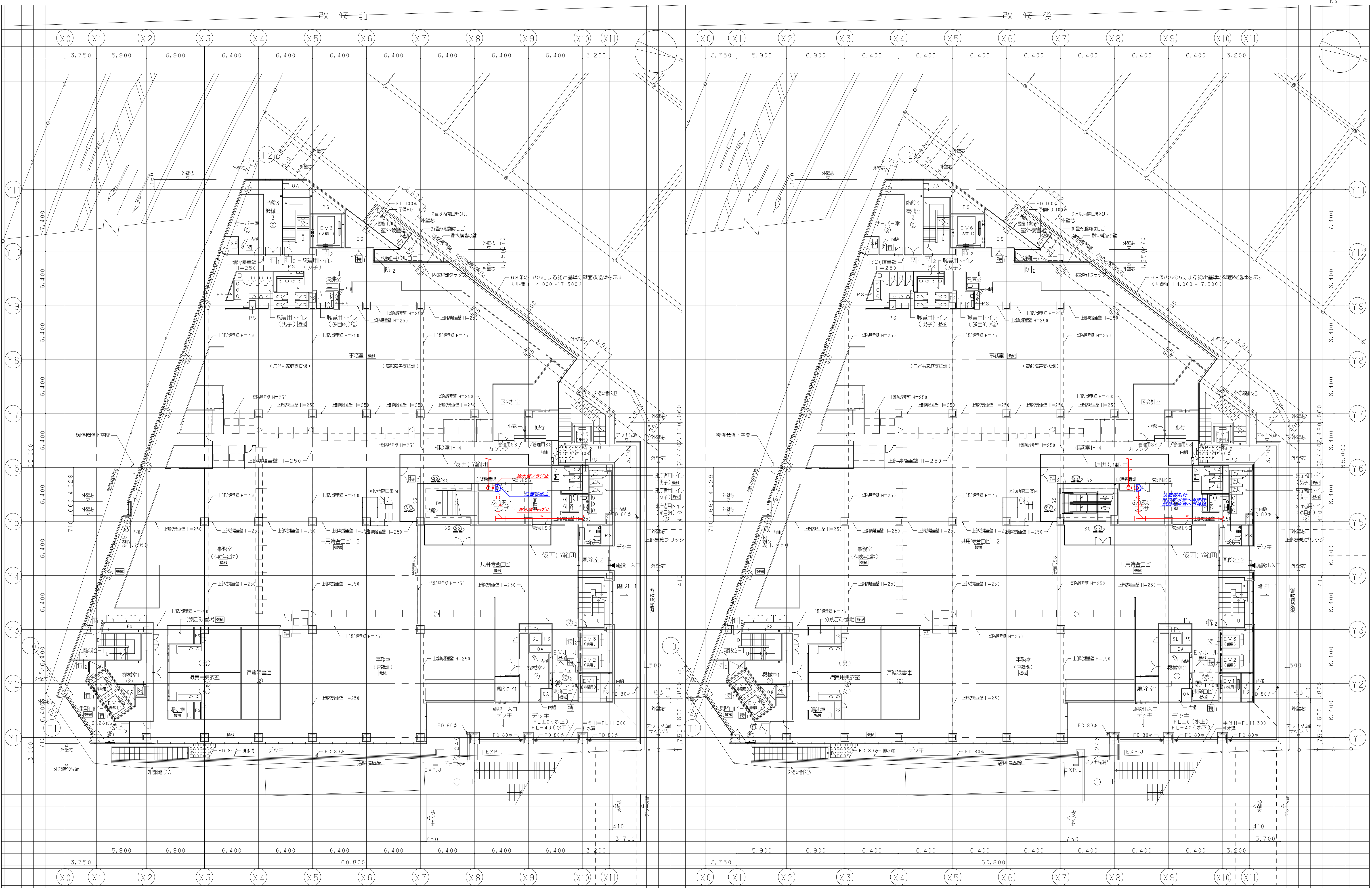




鹿島建設株式会社

設備 協力会社
会社名
株式会社西原衛生工業所
担当者

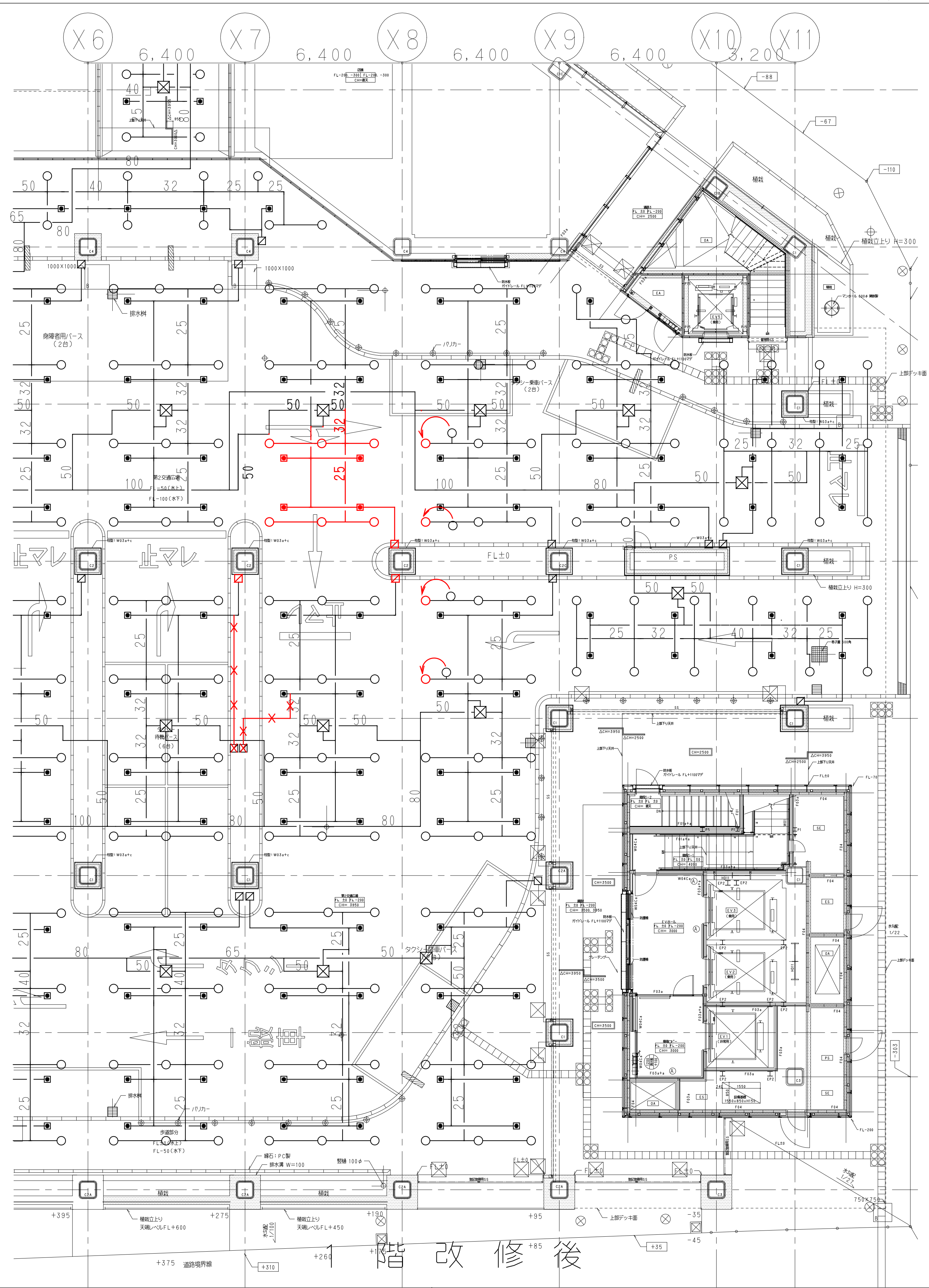
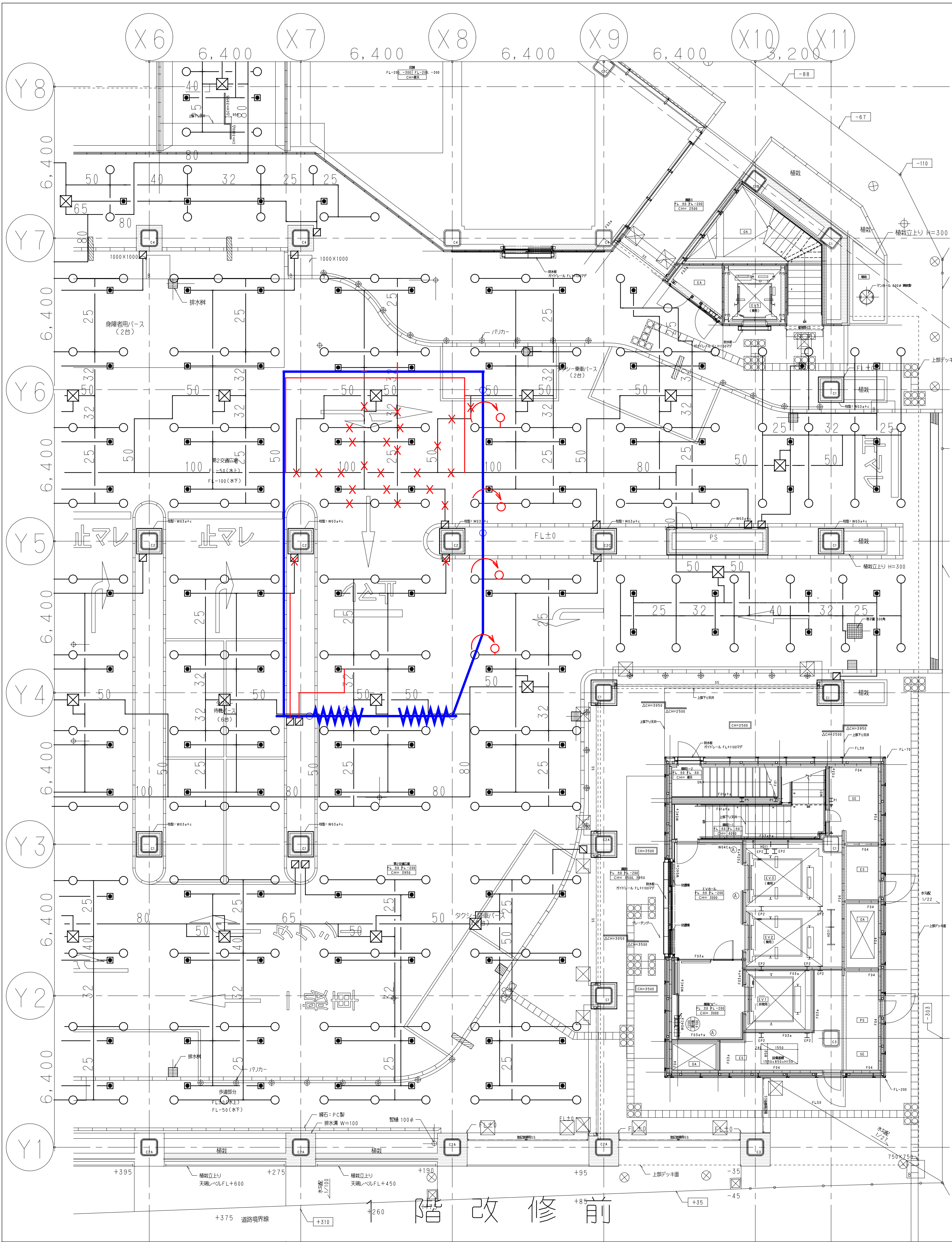
竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
衛生設備 2F平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
部長 橋本 敬司 専任責任者 設計担当 松尾 貴史 萩原 亮平
平田 健巳 磯田 浩司

鹿島
KAJIMA DESIGN
一級建築士 28175
山田 泰史

横浜支店
JOB
217011
DWG
P-1

本図面は建物の維持管理のための参考資料です。建物の現状と図面が完全に一致していることを保証するものではありません。



鹿島建設株式会社

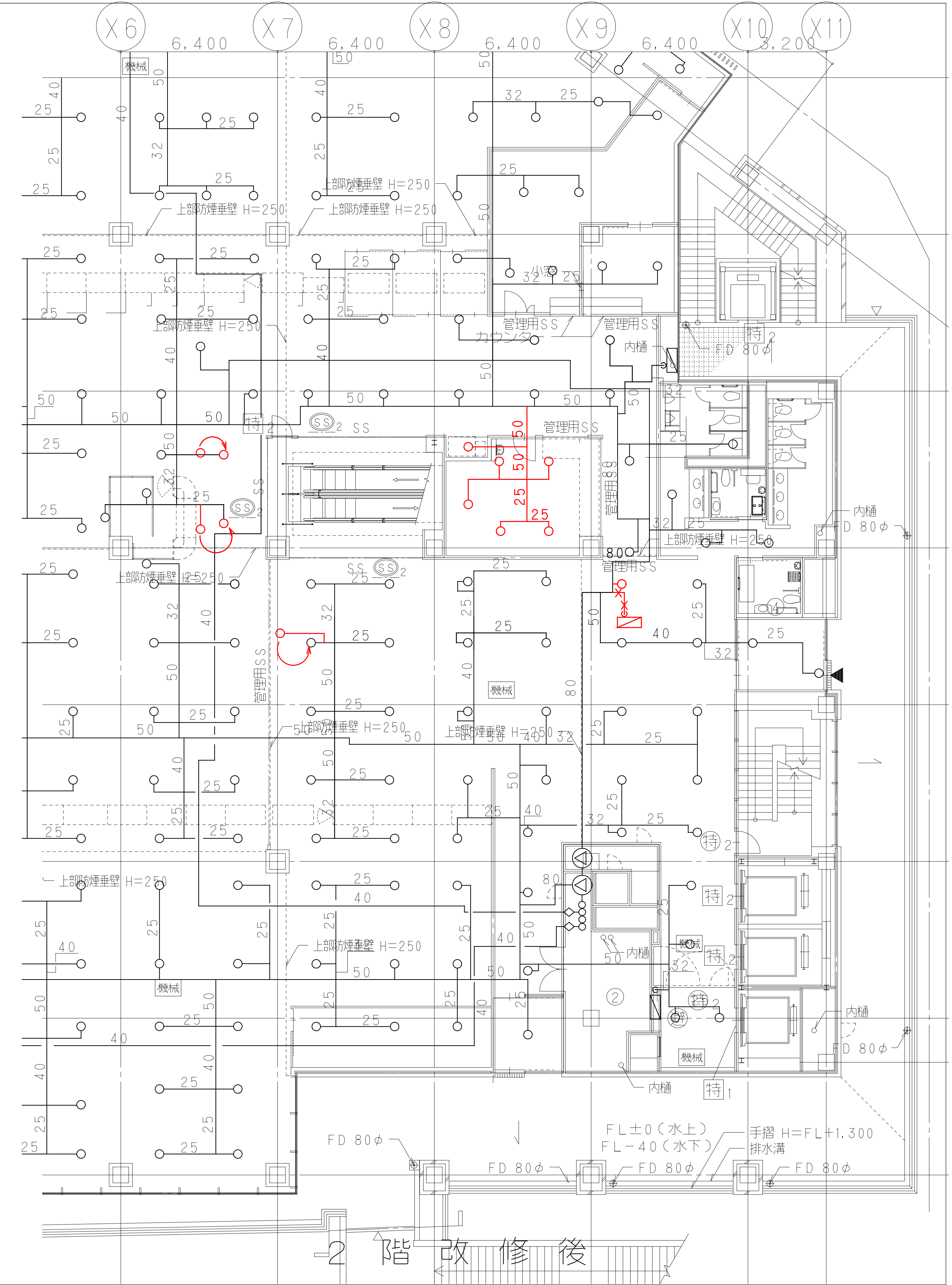
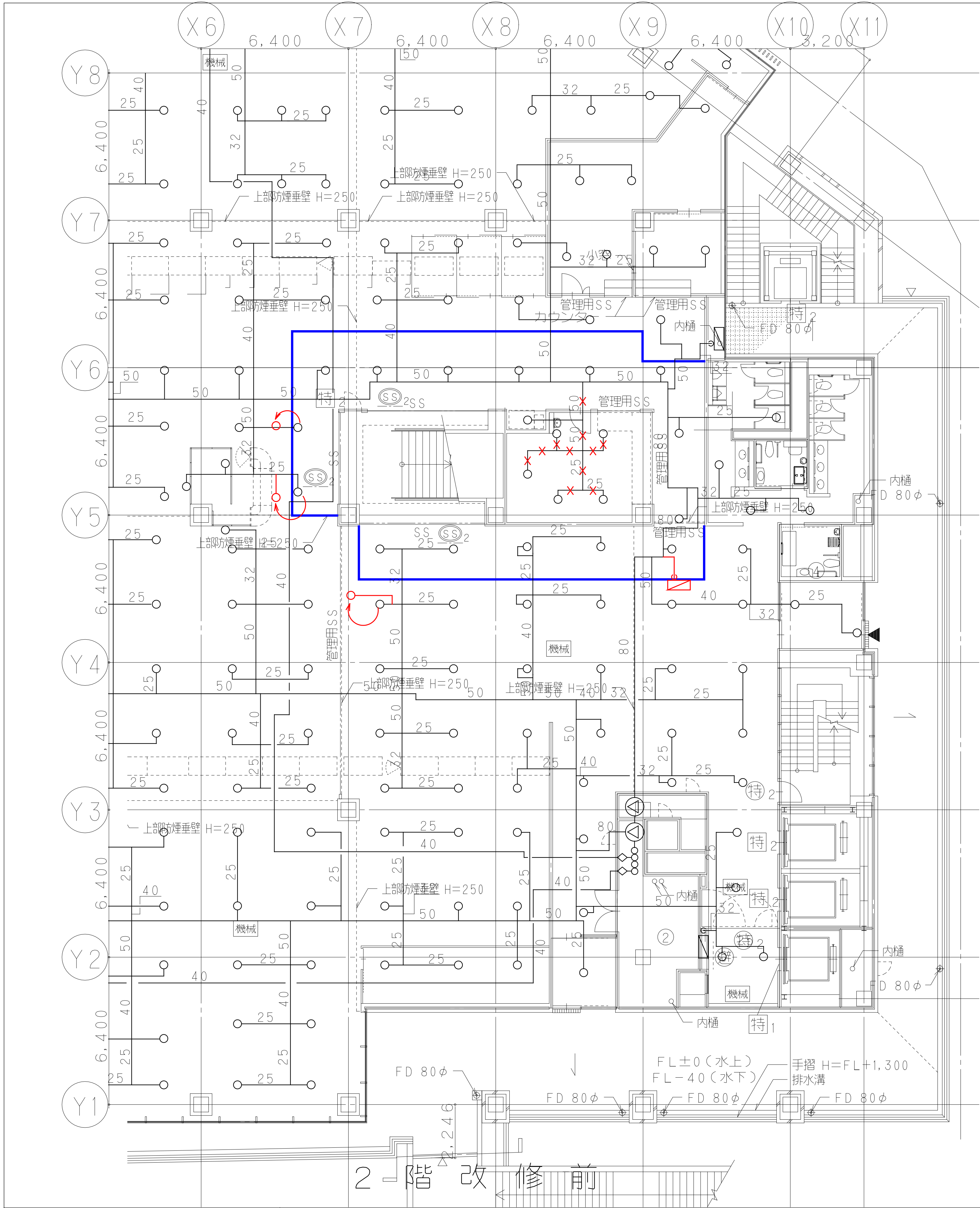
設備 協力会社
会社名
株式会社西原衛生工業所
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
消火設備 1F平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
部長 橋岡 敬希 責任者 設計担当 松尾 貴史 校原 亮平
平田 健巳 横田 浩司

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 山田 泰史

横浜支店
JOB
217011
DWG
P - 101



鹿島建設株式会社

設備 協力会社
会社名
株式会社西原衛生工業所
担当者

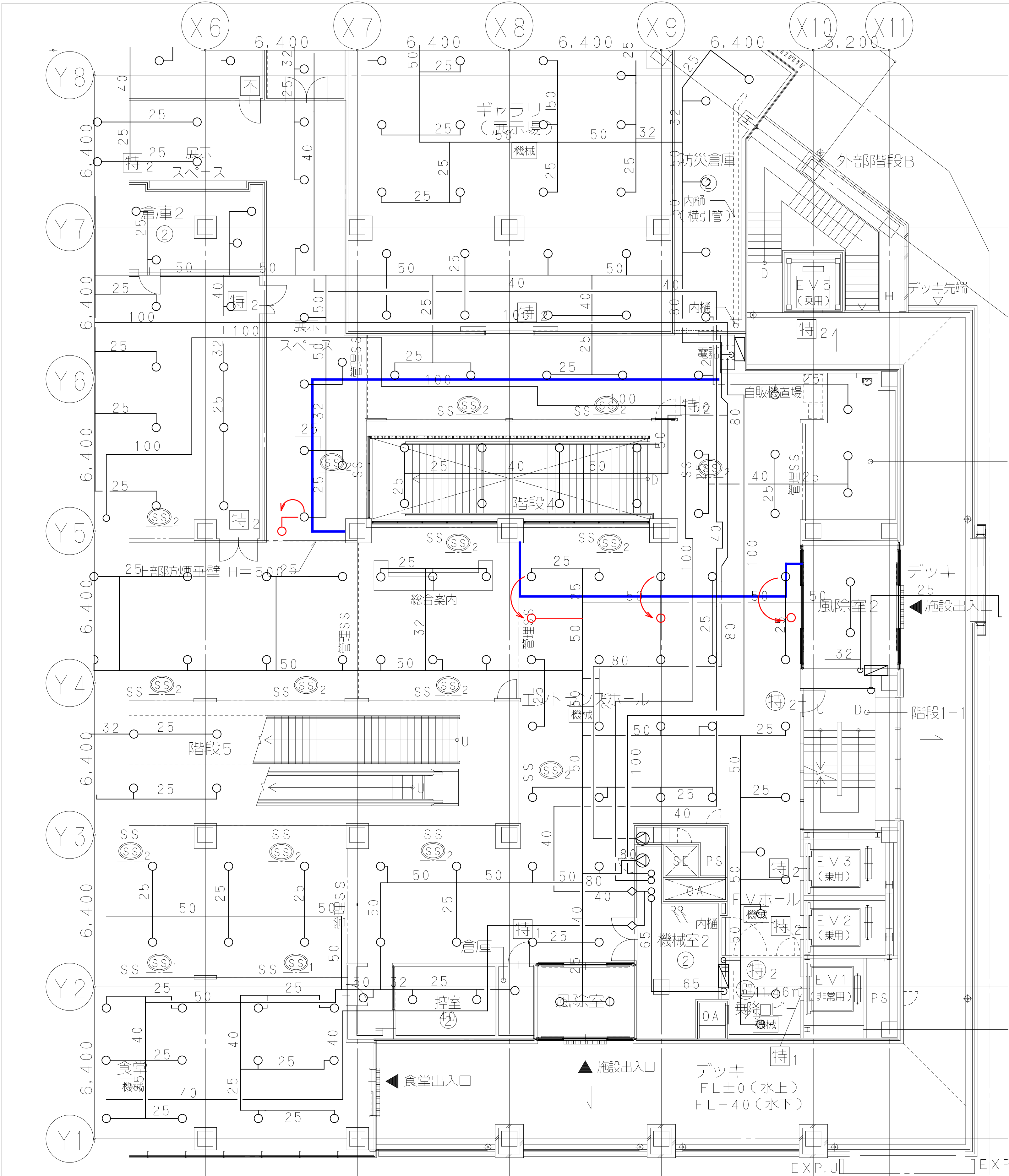
竣工図		2018.02.28
工事監理	設計	施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事	
消火設備	2F平面図
SCALE 1:	DATE 2017-08-21

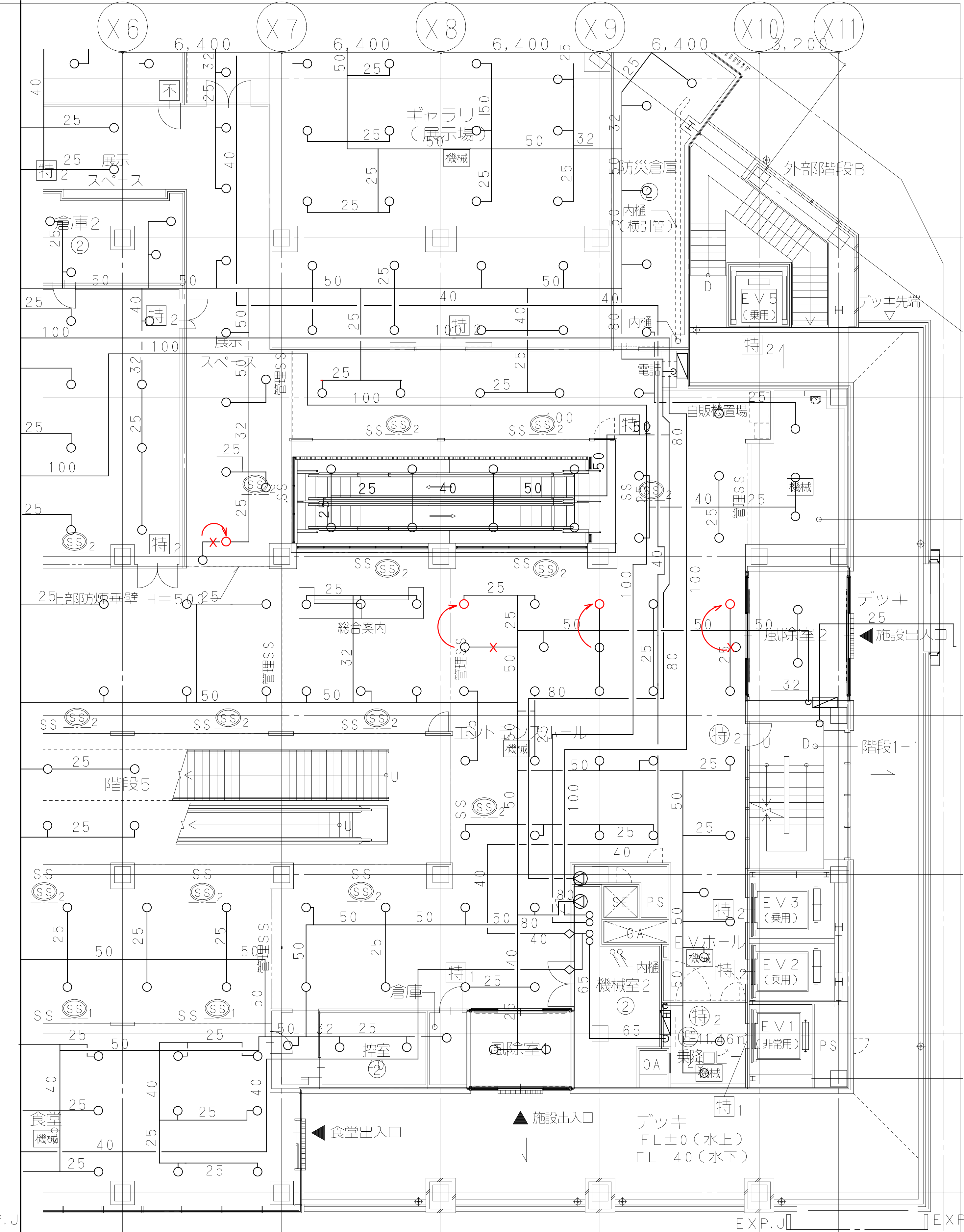
鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 泰史

217011
DWG
P - 102

本図面は建物の維持管理のための参考資料です。建物の現状と図面が完全に一致していることを保証するものではありません。



3 階 改 修 前



3 階 改 修 後

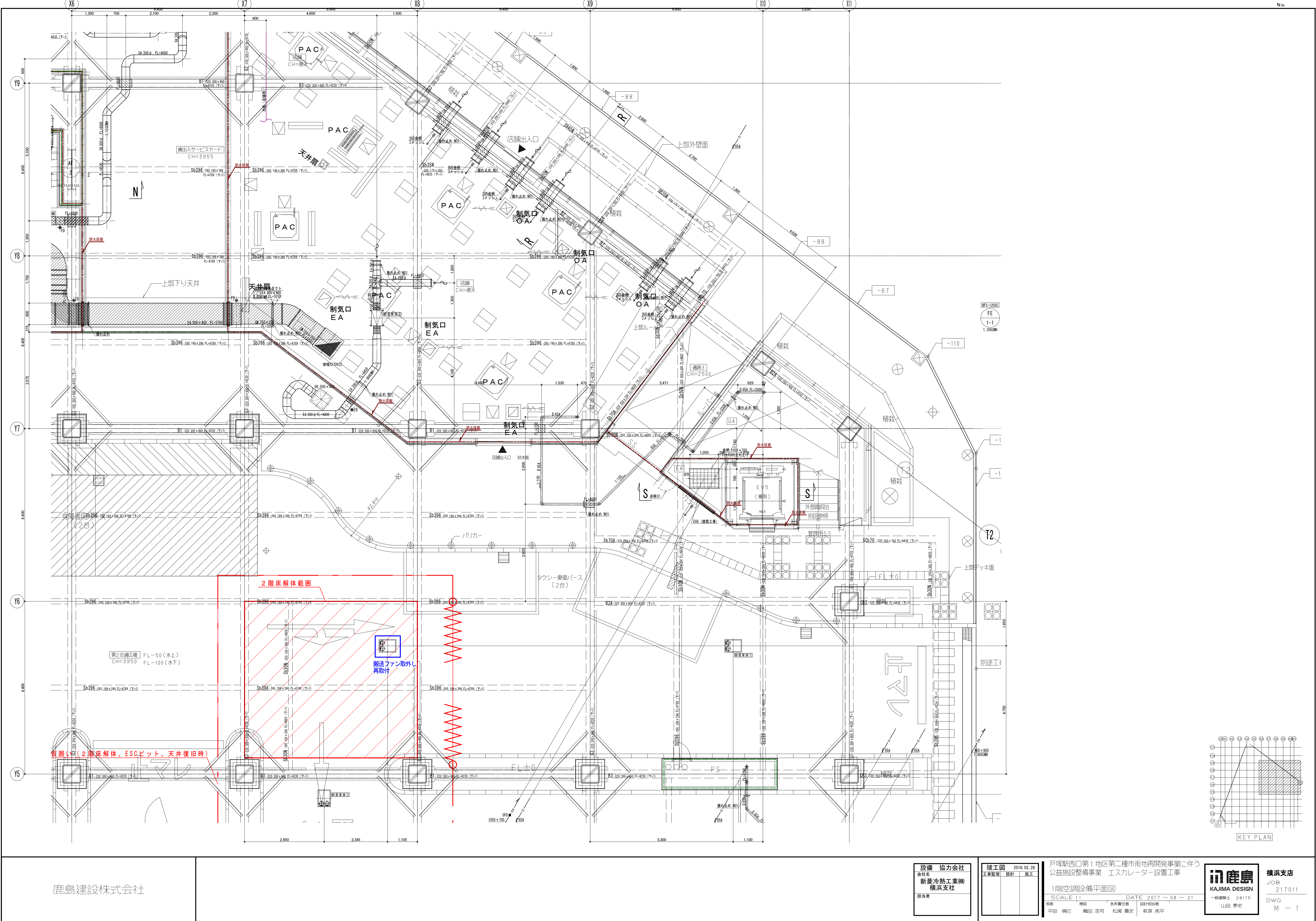
鹿島建設株式会社

設備	協力会社
会社名	株式会社西原衛生工業所
担当者	

竣工図	2018.02.28
工事監理	設計
施工	

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事			
消火設備 3F平面図			
SCALE 1:	DATE 2017-08-21		
部長 平田 健巳	概算 橋田 浩司	専任責任者 松尾 貴史	設計担当者 萩原 亮平

鹿島	横浜支店
KAJIMA DESIGN	JOB 217011
一級建築士 28175	DWG
山田 泰史	P - 103



鹿島建設株式会社

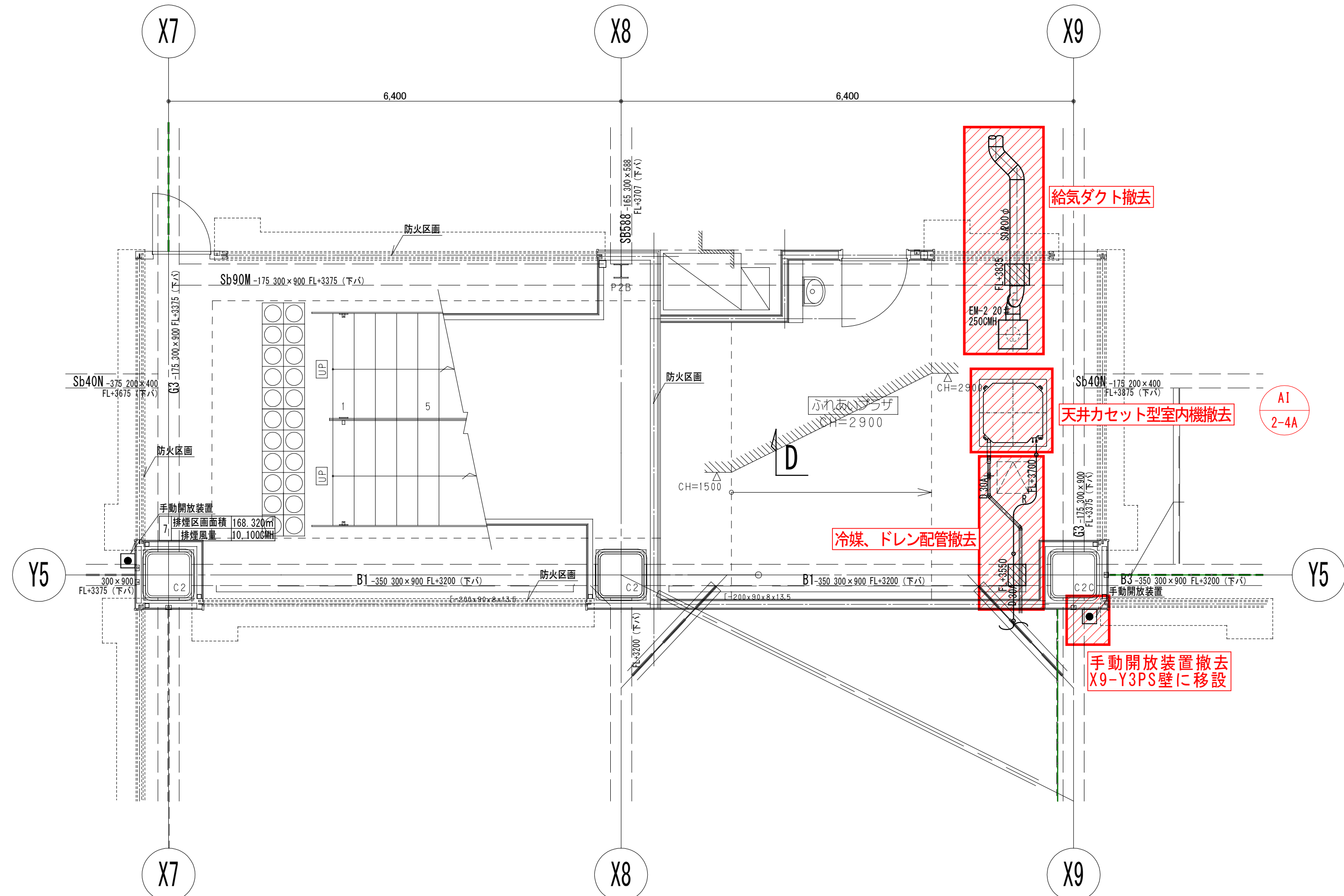
設備 協力会社
会社名
新菱冷熱工業㈱
横浜支社
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

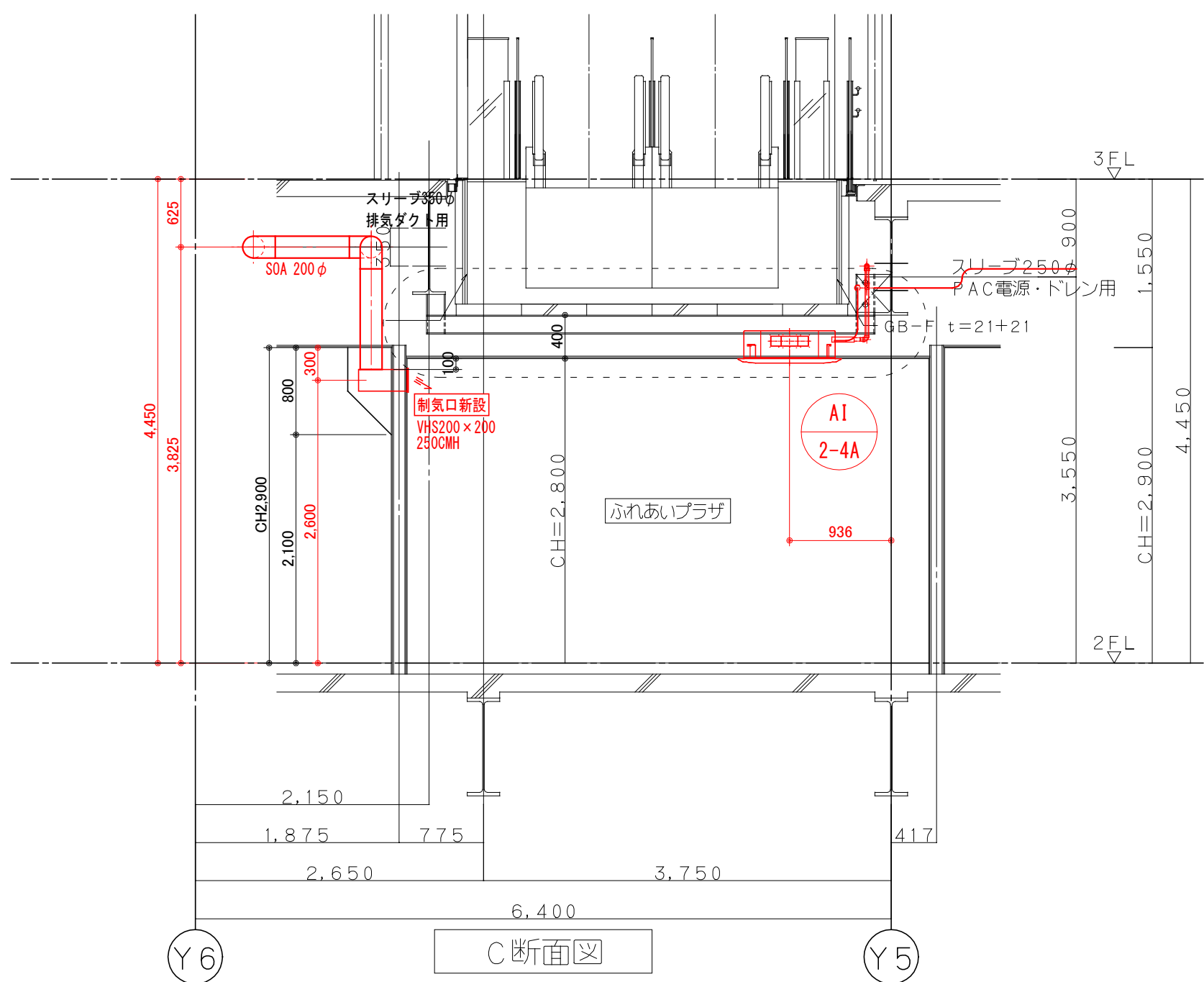
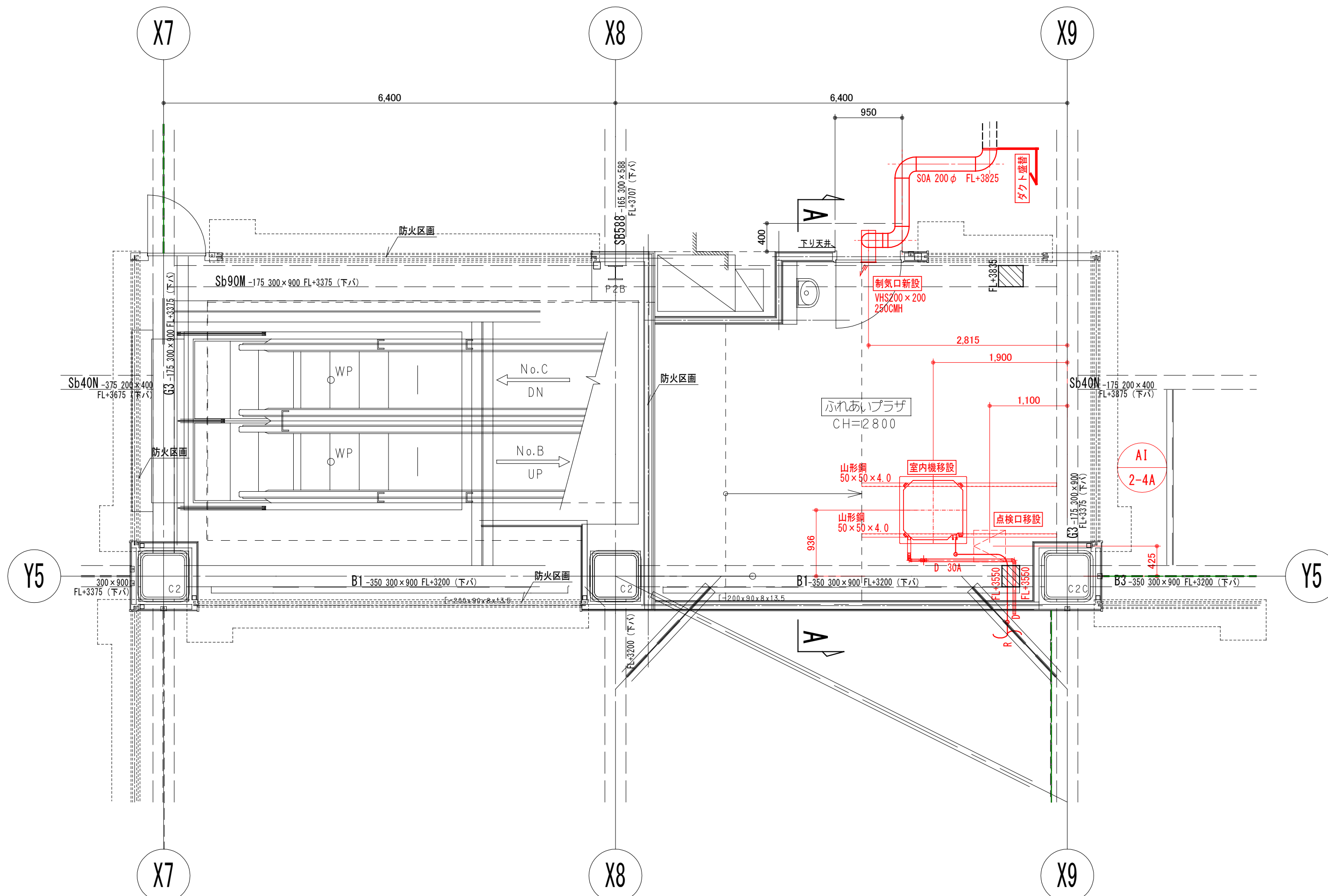
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
1階空調設備平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
部長 横田 敬司 系長責任者 飯田担当 松尾 貴史 萩原 亮平
平田 倫巳 横田 浩司 松尾 貴史 萩原 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 泰史

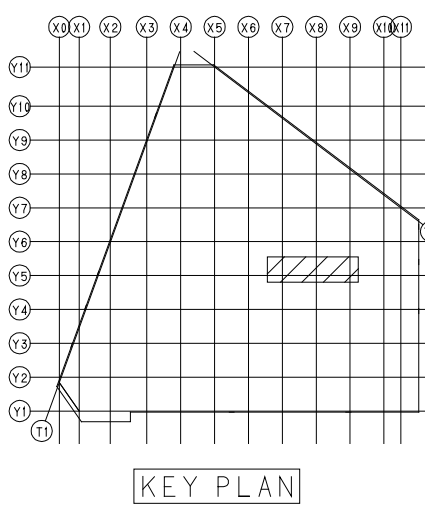
横浜支店
JOB 217011
DWG 28175
M - 1

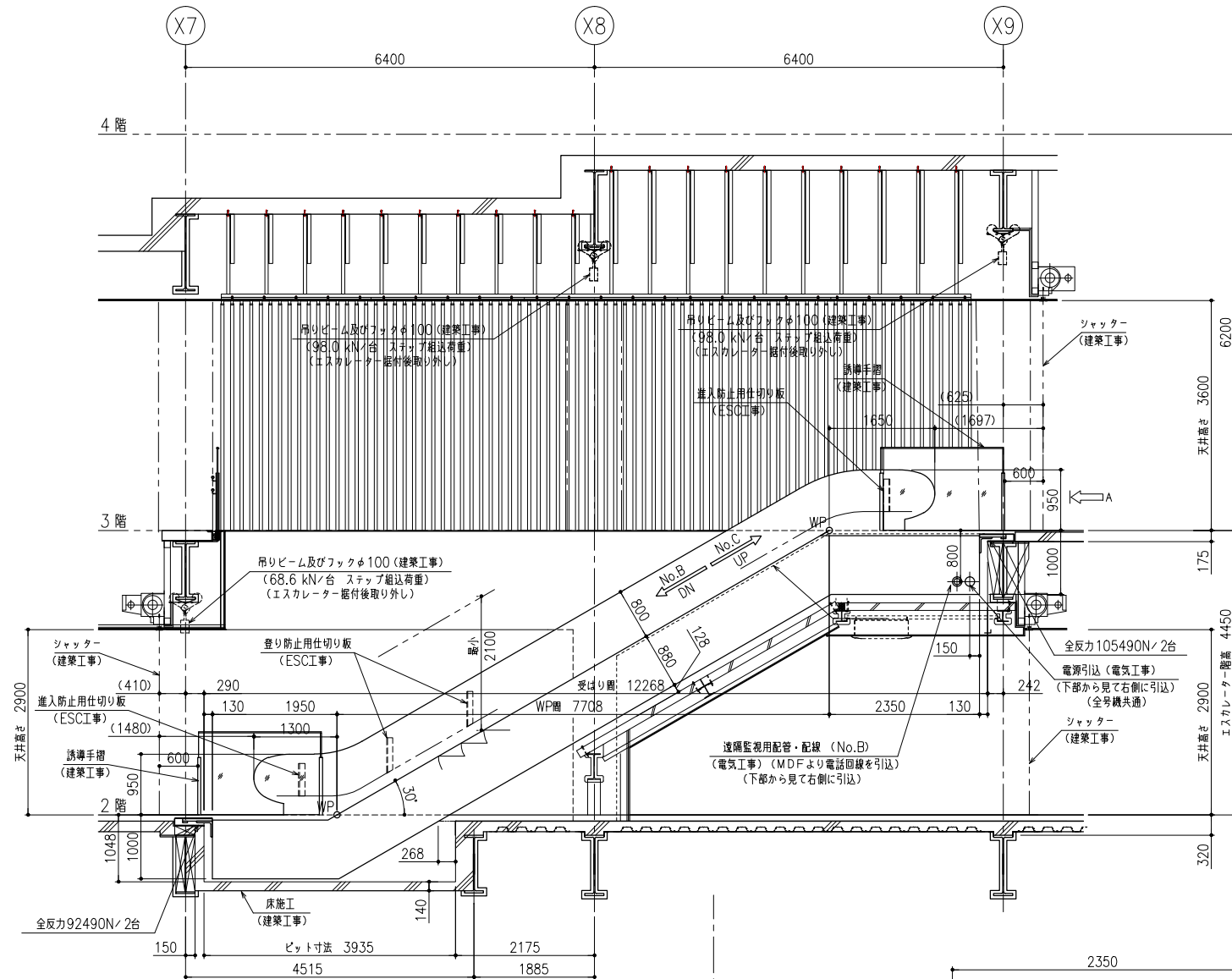


2 階ふれあいプラザ
空調設備現状図

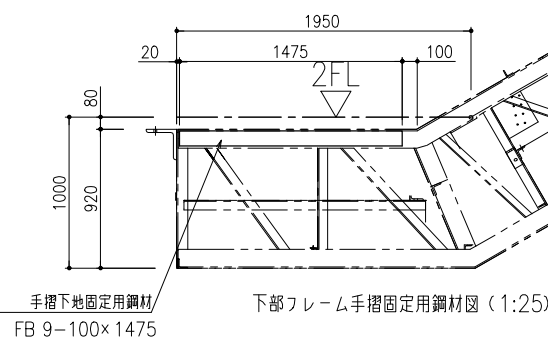


2 階ふれあいプラザ
空調設備改修図



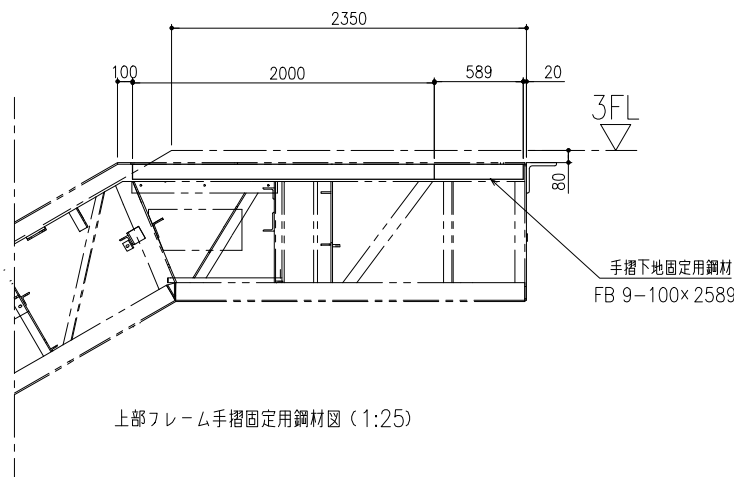


側面図 (1:50)



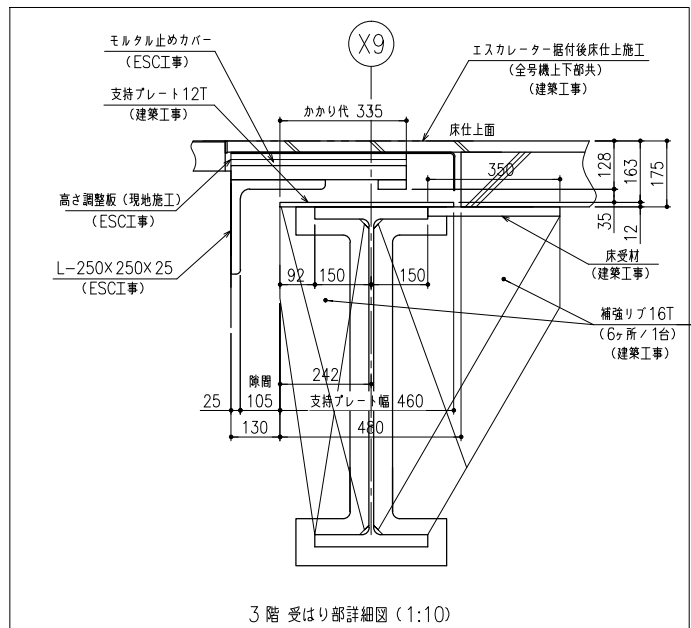
下部フレーム手摺固定用鋼材図 (1:25)

手摺下地固定用鋼材
FB 9-100×1475

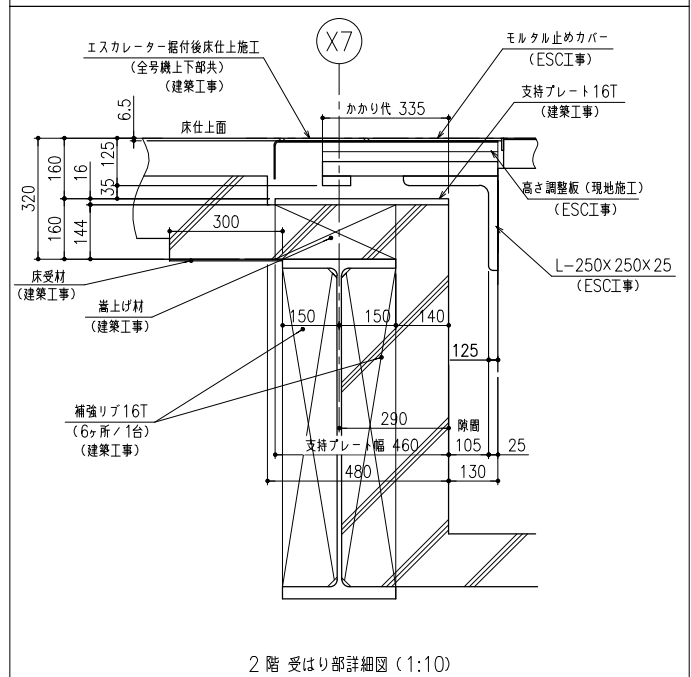


上部フレーム手摺固定用鋼材図 (1:25)

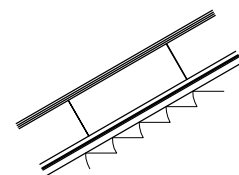
手摺下地固定用鋼材
FB 9-100×2589



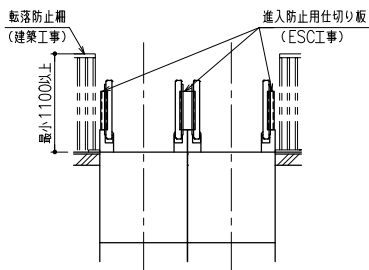
3階 受はり部詳細図 (1:10)



2階 受はり部詳細図 (1:10)



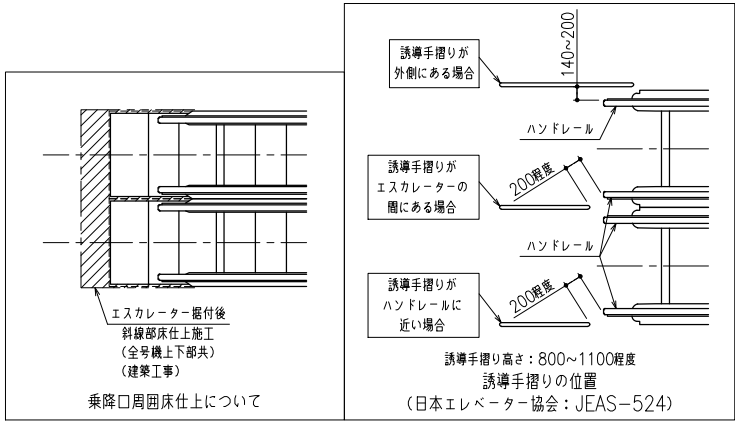
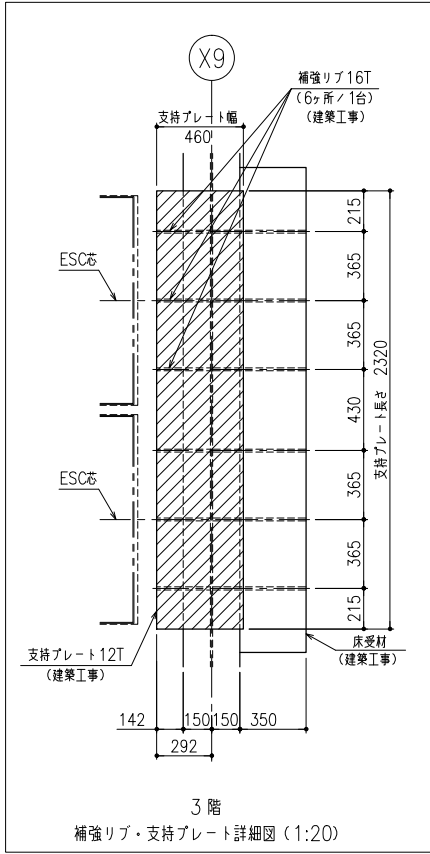
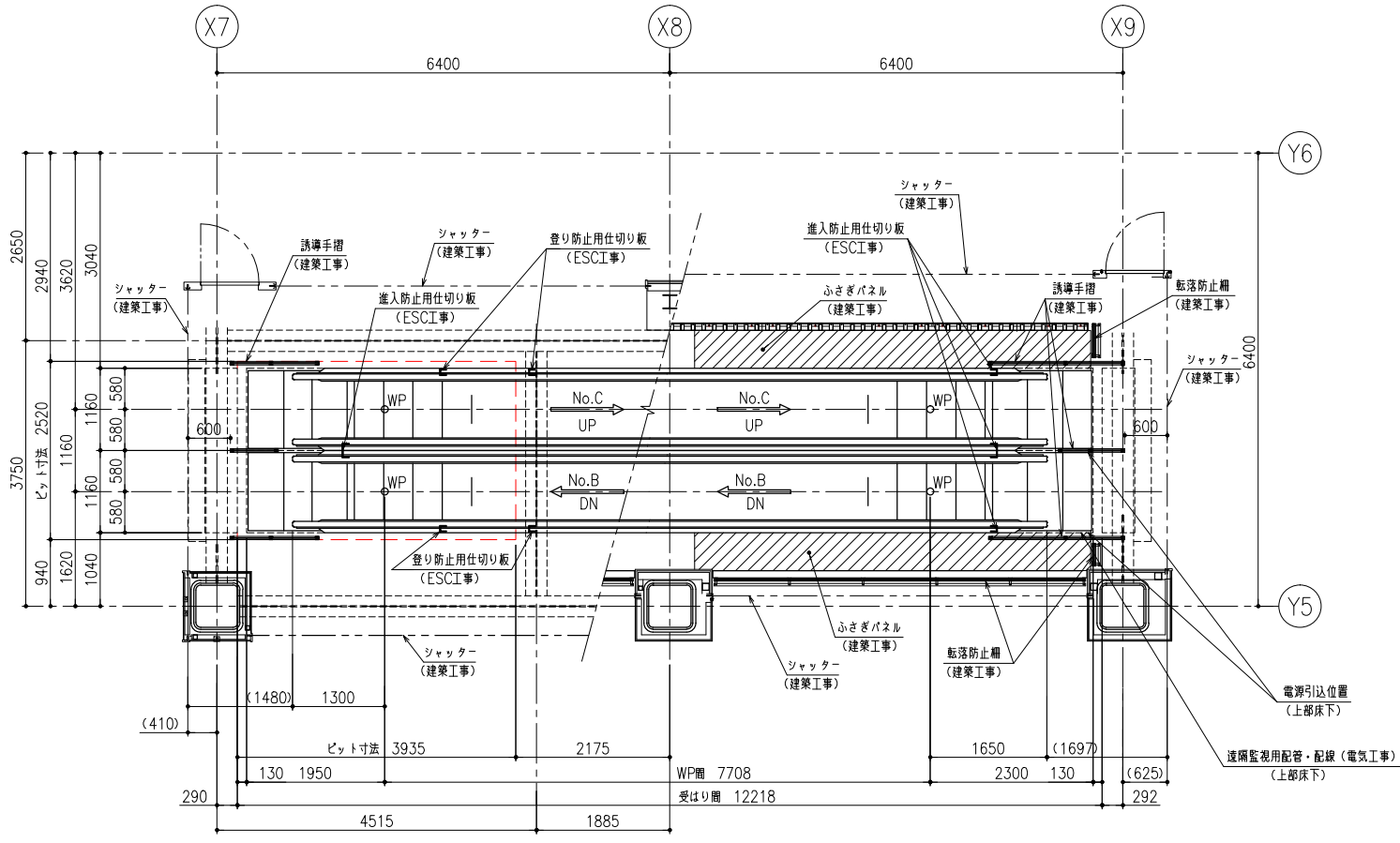
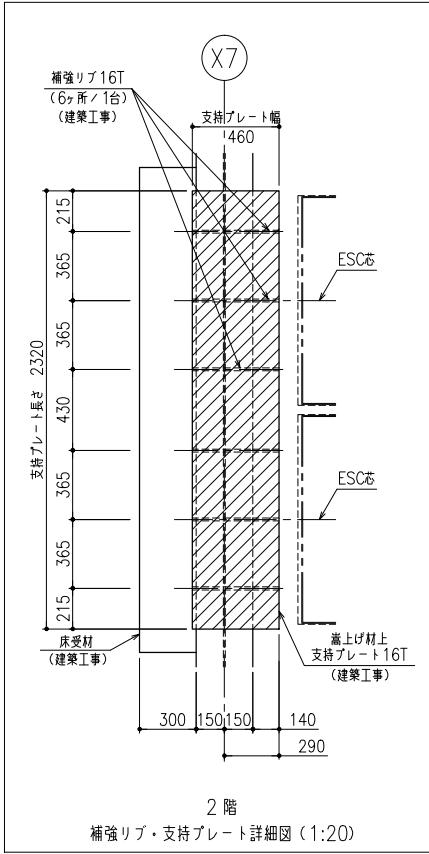
パネル分割形状：デッキ面に対し垂直割り
欄干パネル割り図 (1:50)



転落防止柵、進入防止用仕切り板
(Aから見る) (1:50)

鹿島建設株式会社

設備 協力会社 会社名 株式会社日立ビルシステム 担当者	竣工図 2018.02.28 工事監理 設計 施工	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事 昇降機設備 エスカレーター図 (2)	鹿島 KAJIMA DESIGN 一級建築士 28175 山田 泰史	横浜支店 JOB 217011 DWG T-002
SCALE 1:50 DATE 2017-08-21		各系責任者 設計担当 部長 平田 倫己 課長 廣田 浩司 松尾 貴史 森原 亮平		



鹿島建設株式会社

設備	協力会社
会社名	株式会社日立ビルシステム
担当者	

竣工図	2018.02.28
工事監理	設計
施工	

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
昇降機設備 エスカレーター図(3)

SCALE 1:50

DATE 2017-08-21

部長 平田 倫己

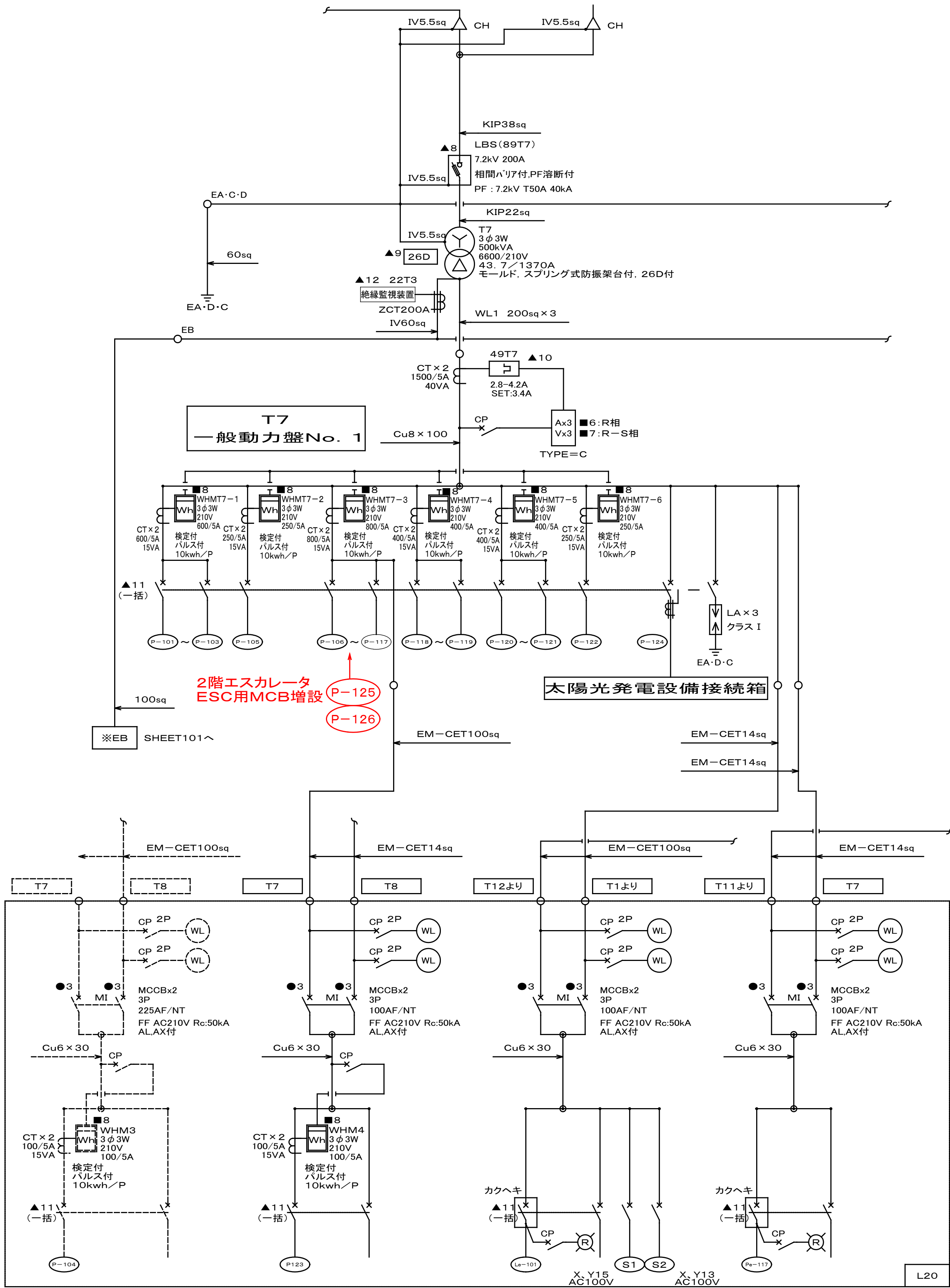
経理 森田 浩司

各系責任者 松尾 貴史

設計担当者 萩原 亮平

鹿島	KAJIMA DESIGN
一級建築士 28175	山田 泰史

横浜支店
JOB 217011
DWG T-003



単線結線図(T7 一般動力盤No. 1)

鹿島建設株式会社

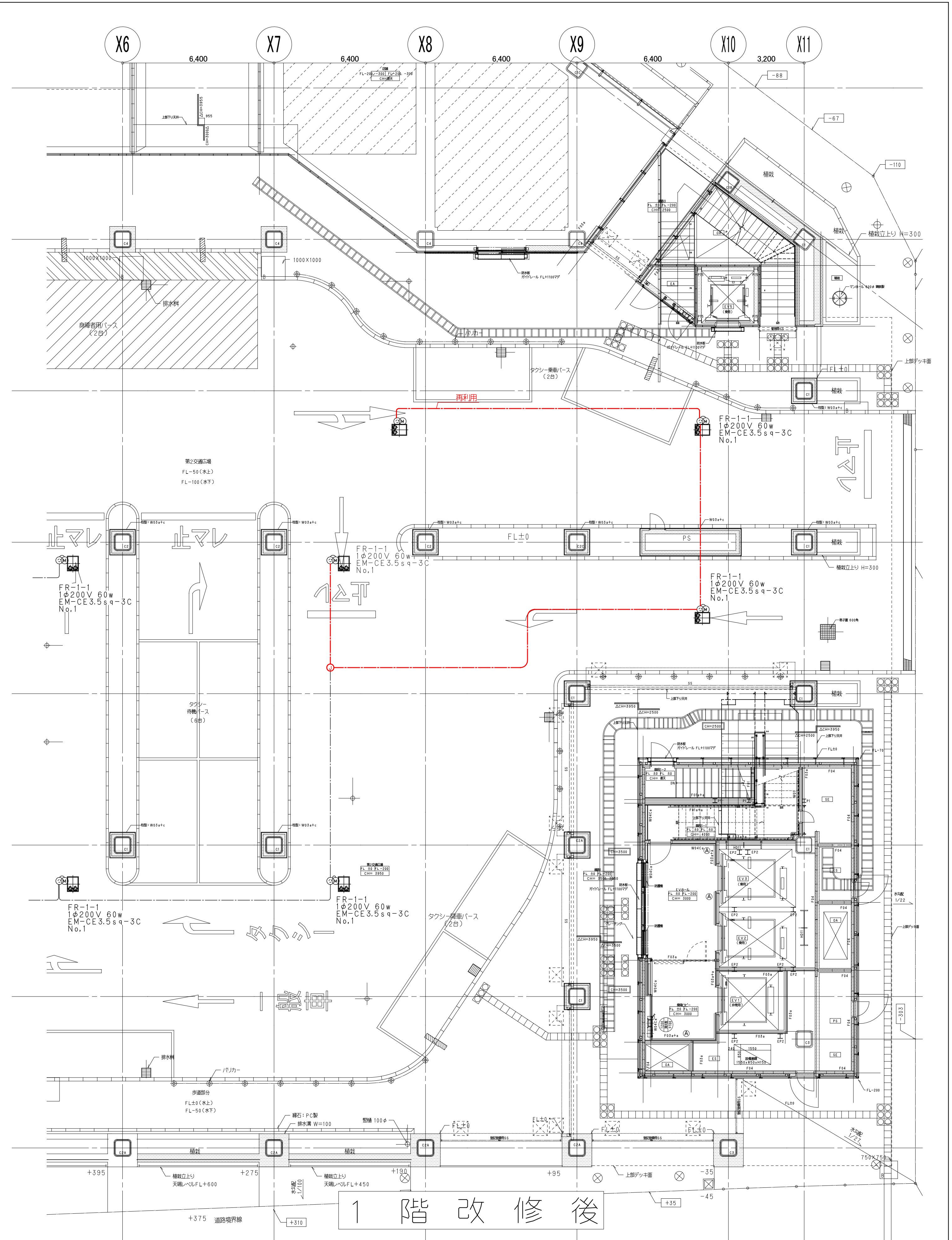
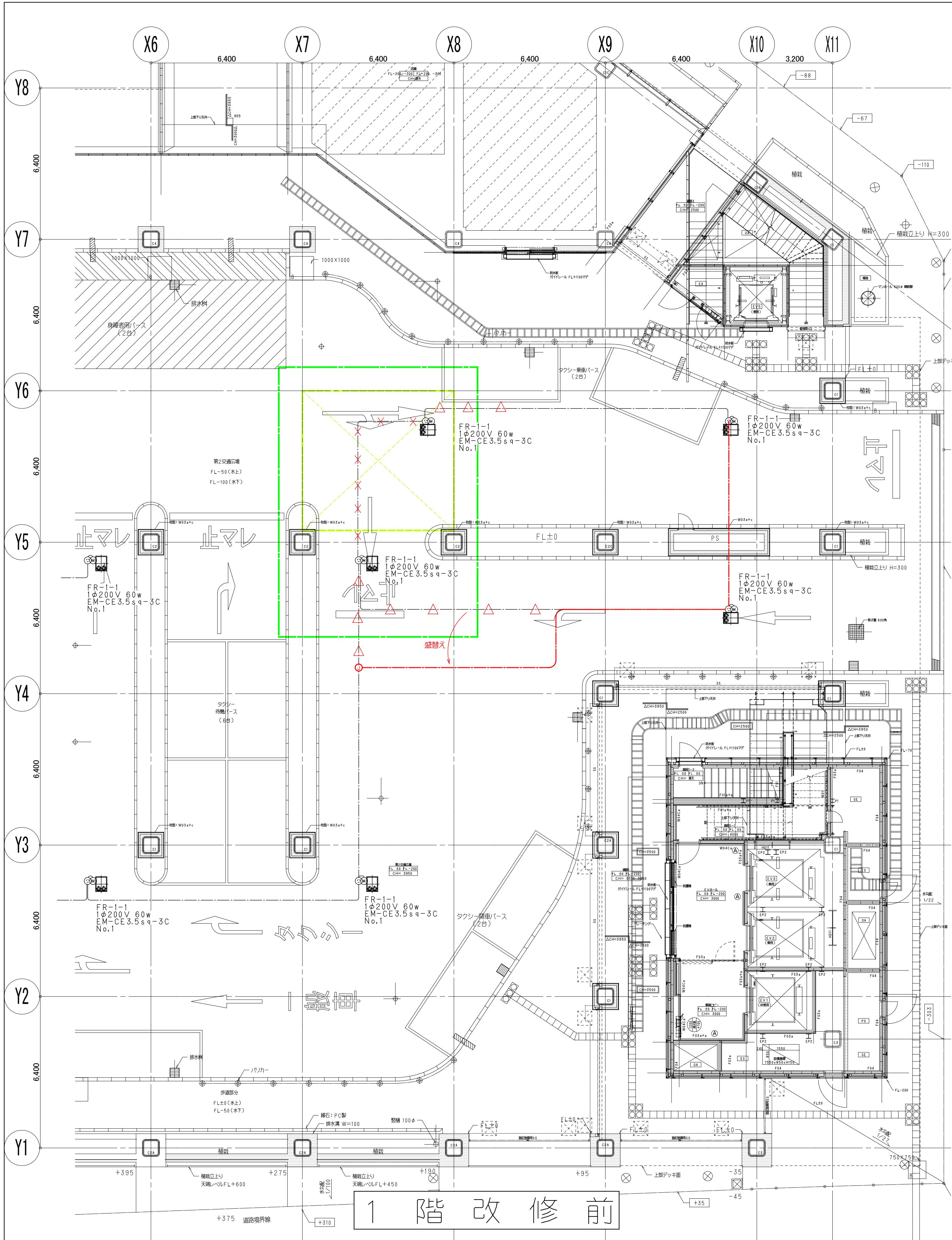
設備 協力会社
会社名
（株）関電工
担当者

竣工図		2018.02.28	
工事監理	設計	施工	

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事 受変電設備 単線結線図			
SCALE 1:		DATE 2017-08-21	
監修	校閲	係長責任者	設計担当
平田 健巳	梶田 浩司	松尾 貴史	萩原 亮平

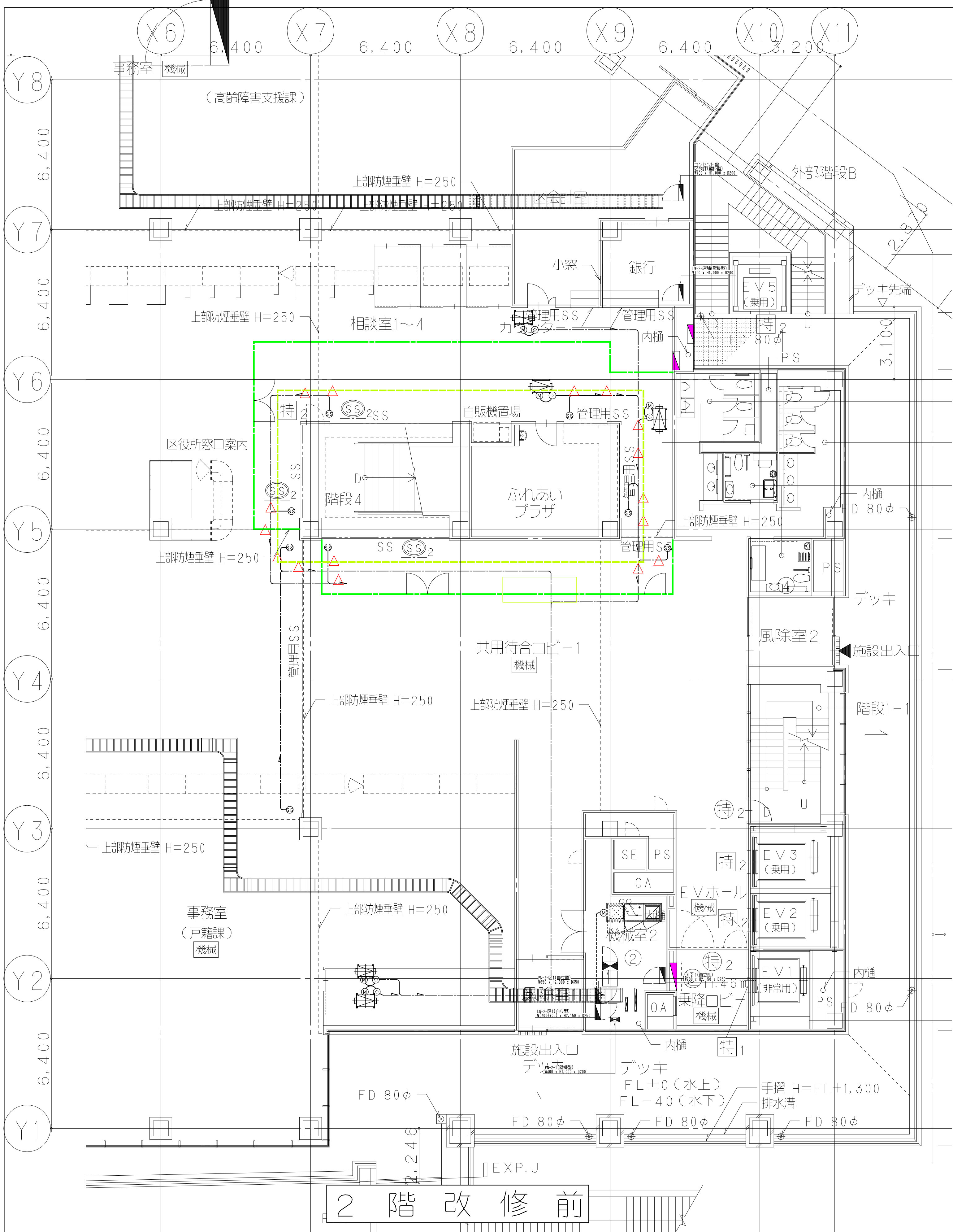
鹿島 KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB
217011
DWG
E - 01

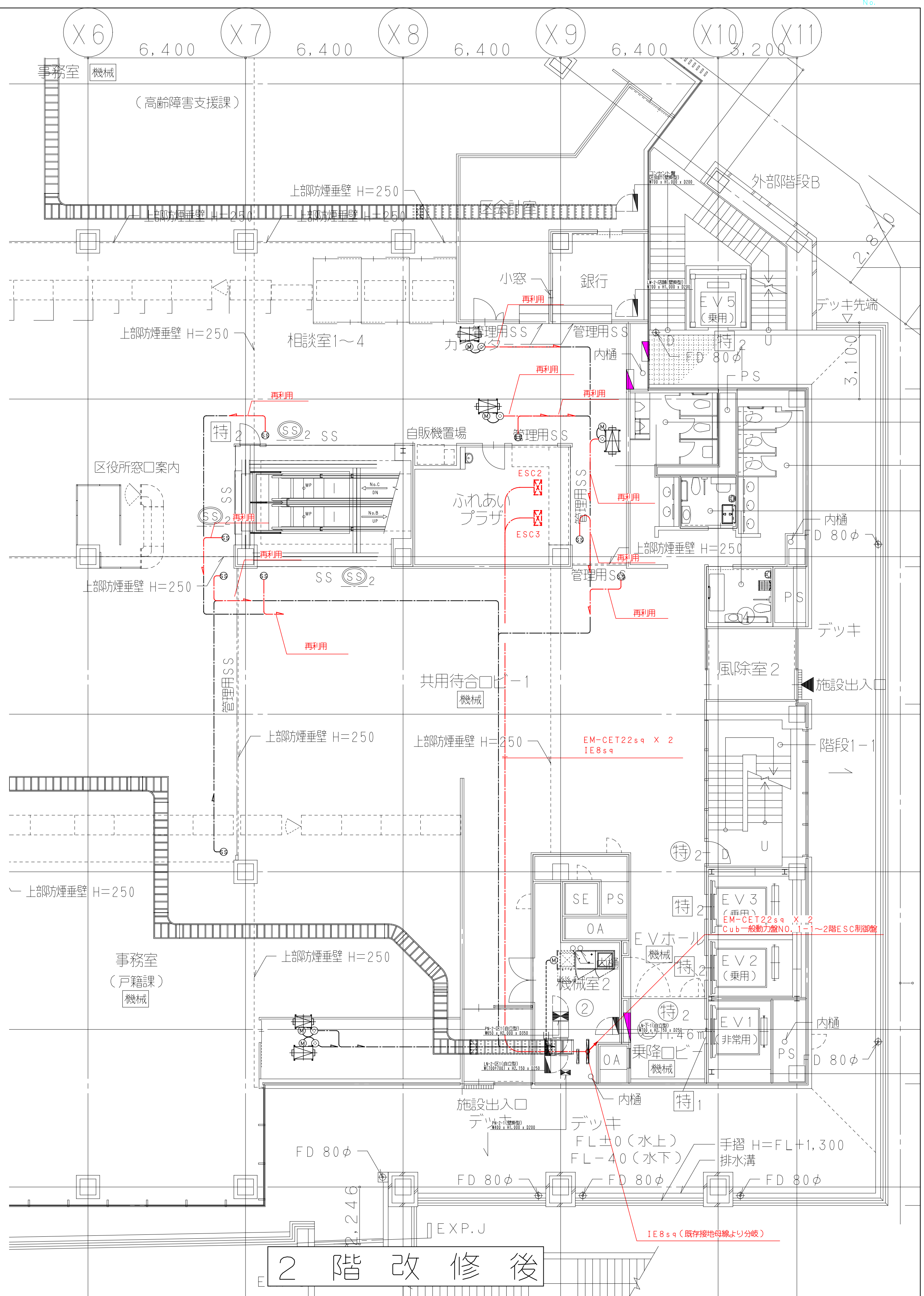


鹿島建設株式会社	× × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す — (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す	— (緑線) 工事用仮囲い — (黄線) 工事範囲	設備 協力会社 株式会社 (株)関電工 担当者	竣工図 2018.02.28 工事監理 設計 施工	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター・設置工事 幹線動力設備 1階平面図	
					SCALE 1: DATE 2017-08-21	概略 松尾 浩司 松尾 貴史 松尾 亮平

戸塚支店
JOB 217011
DWG E-03



2 階 改 修 前



2 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- × × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去し再利用配線を示す
- (太線) 配線の新設配線及び残留配線の再利用配線を示す

- (緑線) 工事用仮囲い
- (黄線) 工事範囲

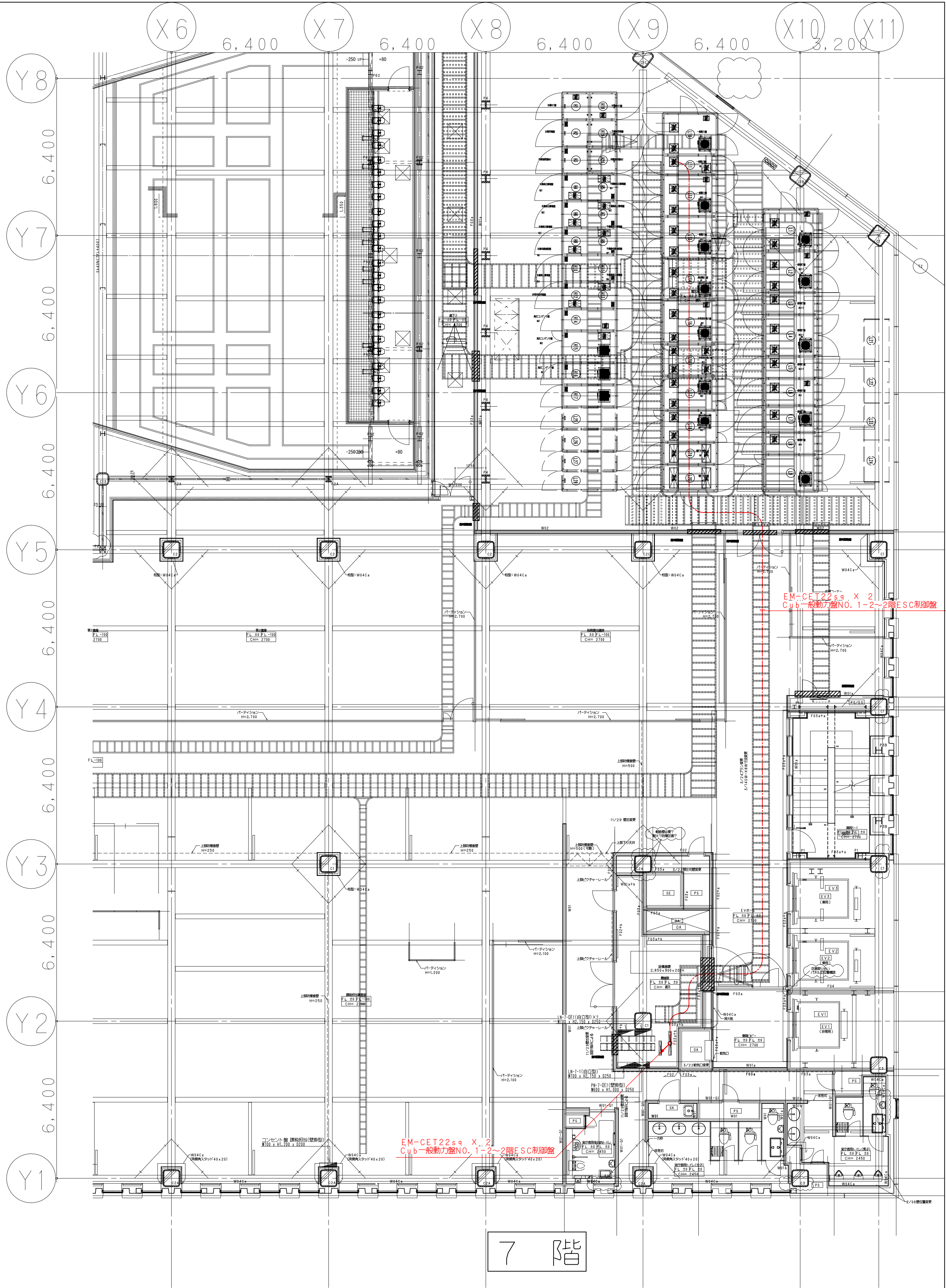
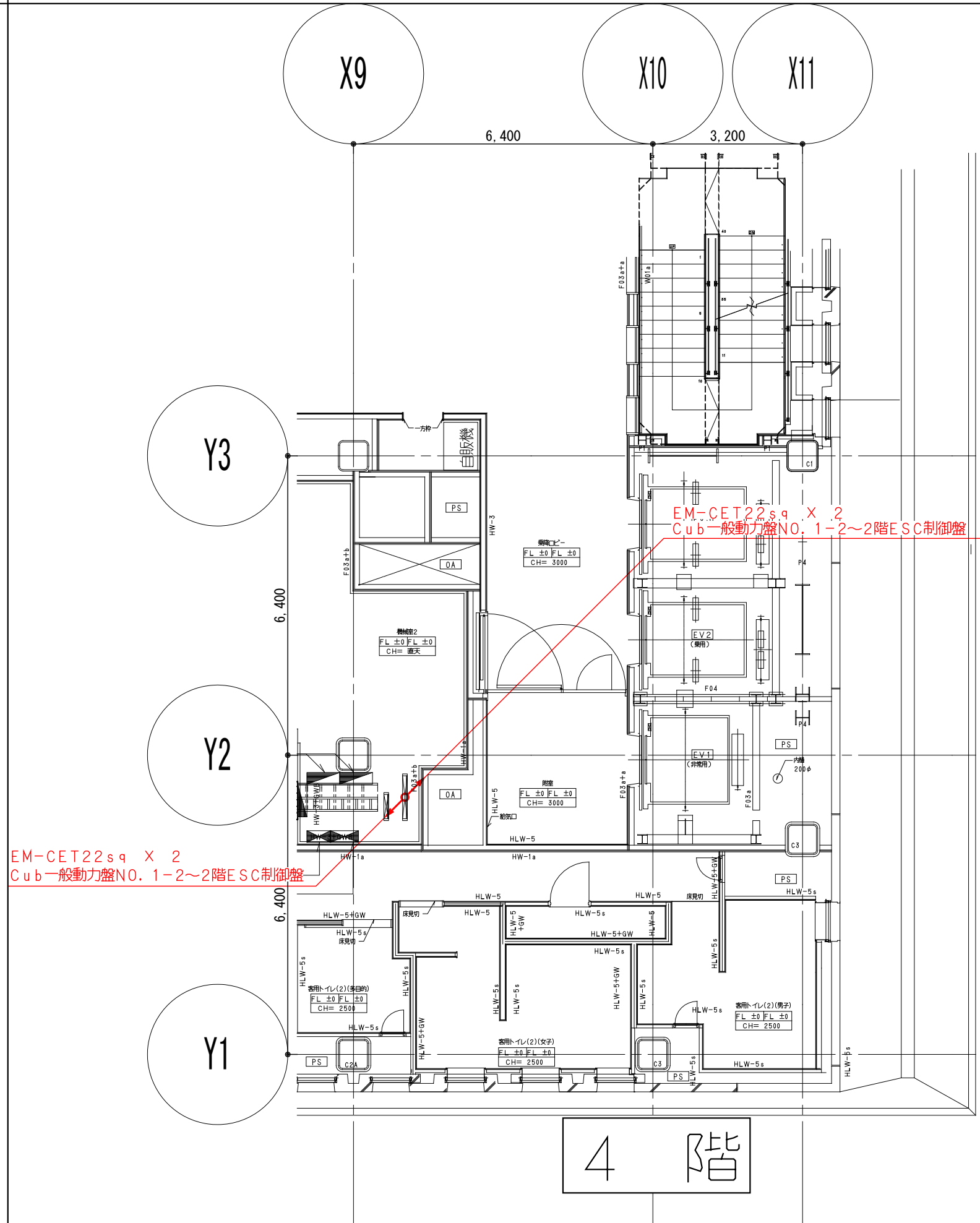
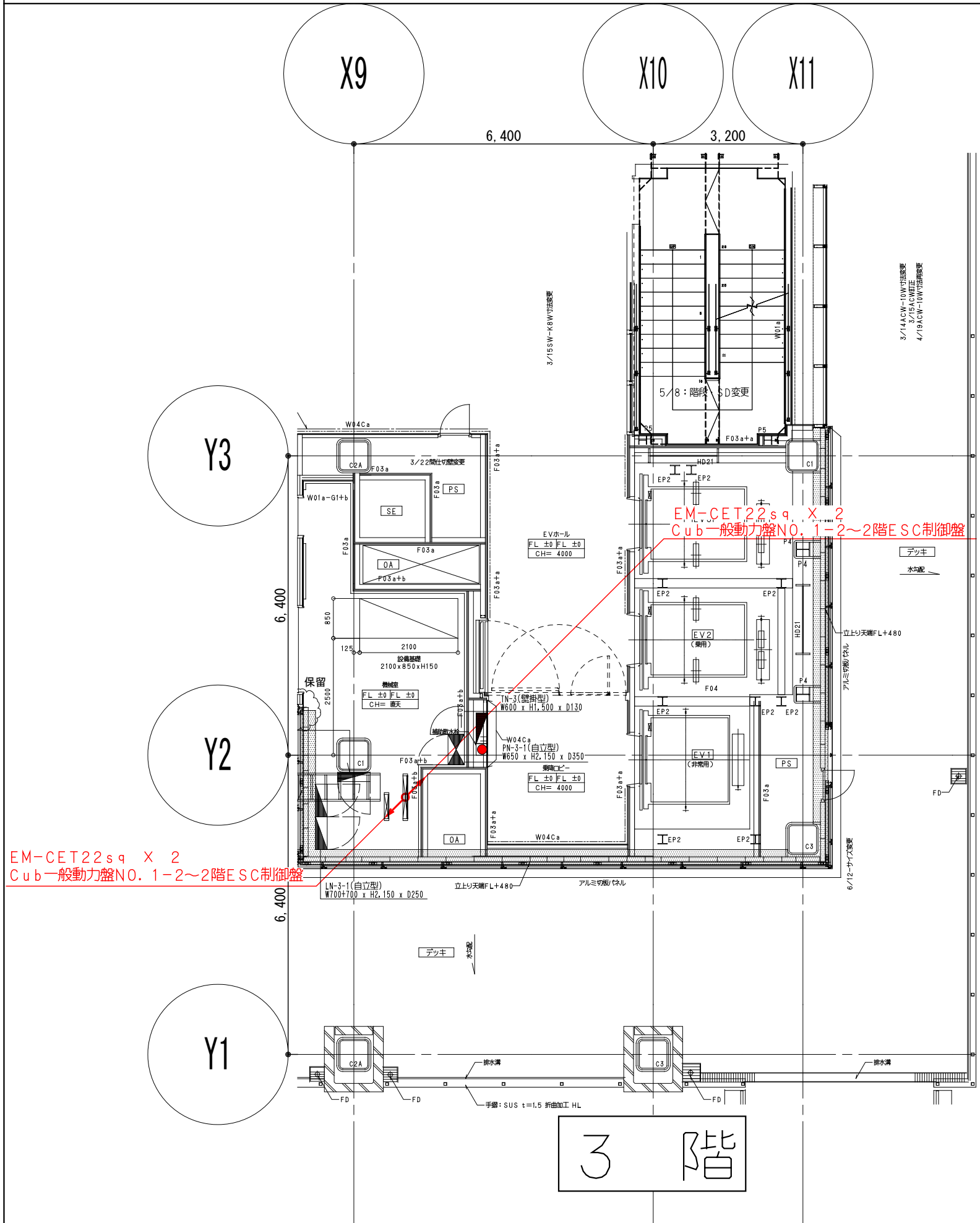
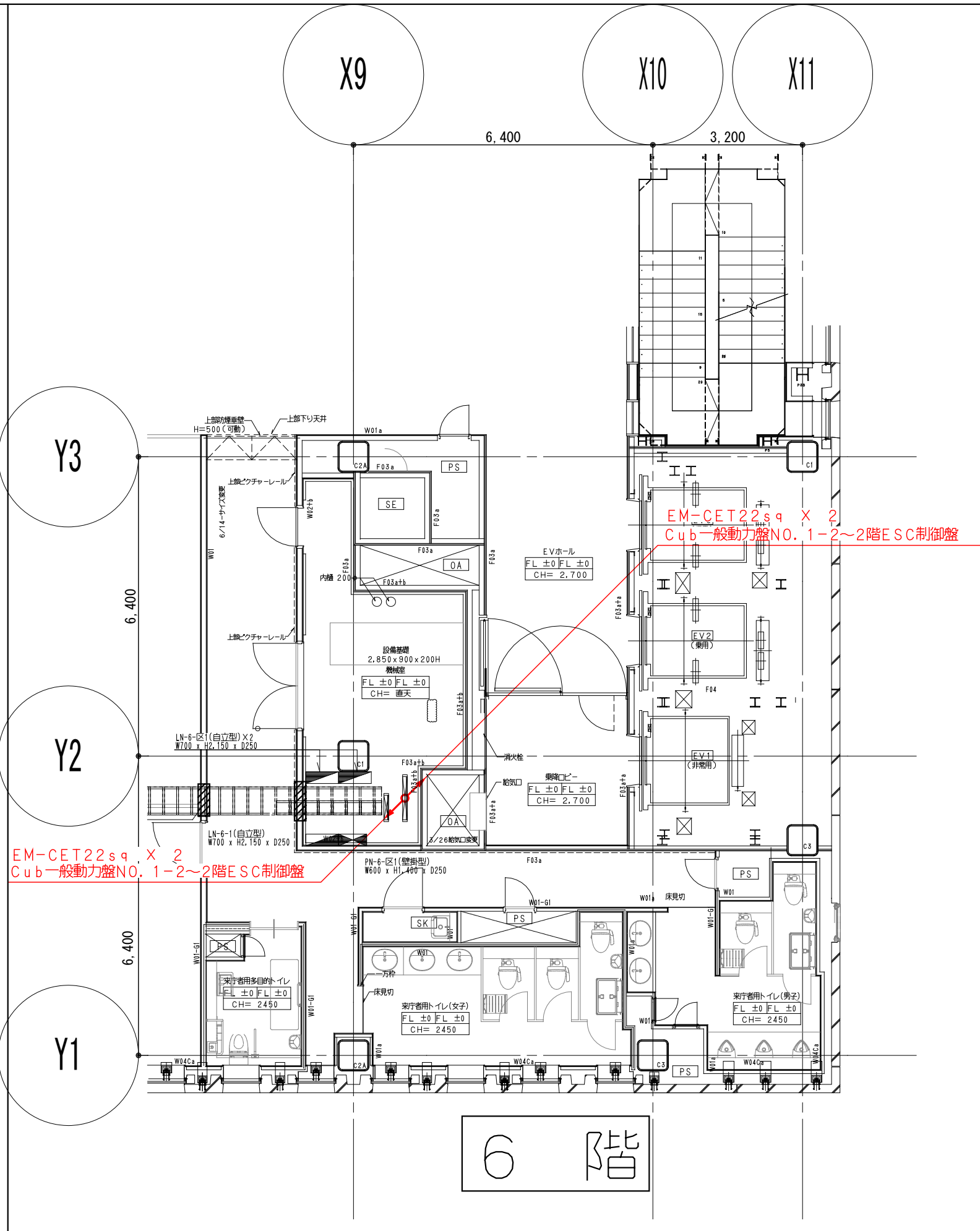
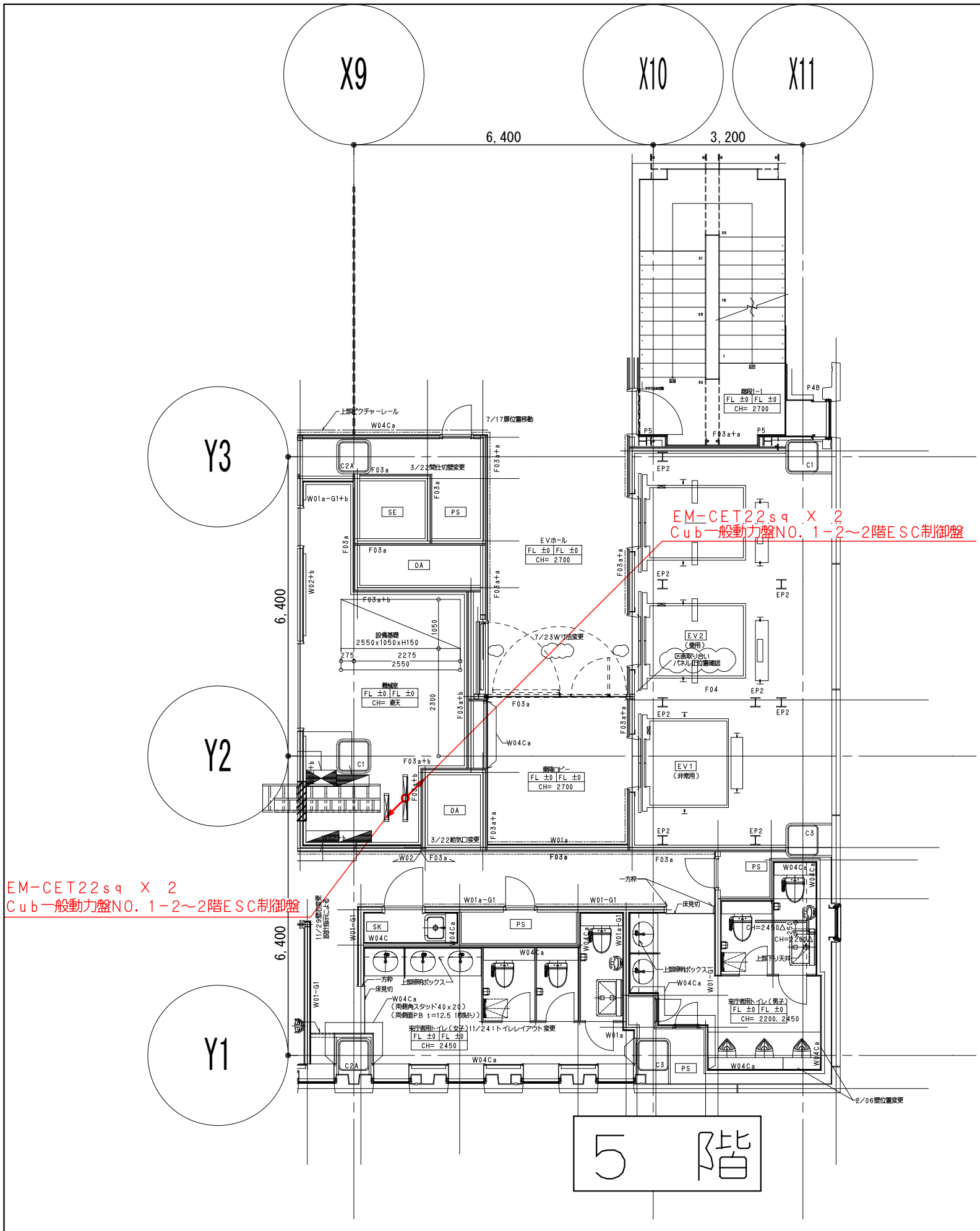
設備 協力会社
会社名
株式会社
株式会社
担当者

竣工図
2018.02.28
工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター・設置工事 幹線動力設備 2階平面図			
SCALE 1:	DATE 2017-08-21		
監理	松尾 浩司	設計	松尾 浩司
監理	平田 健巳	設計	松尾 浩司

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB
217011
DWG
E-04



鹿島建設株式会社

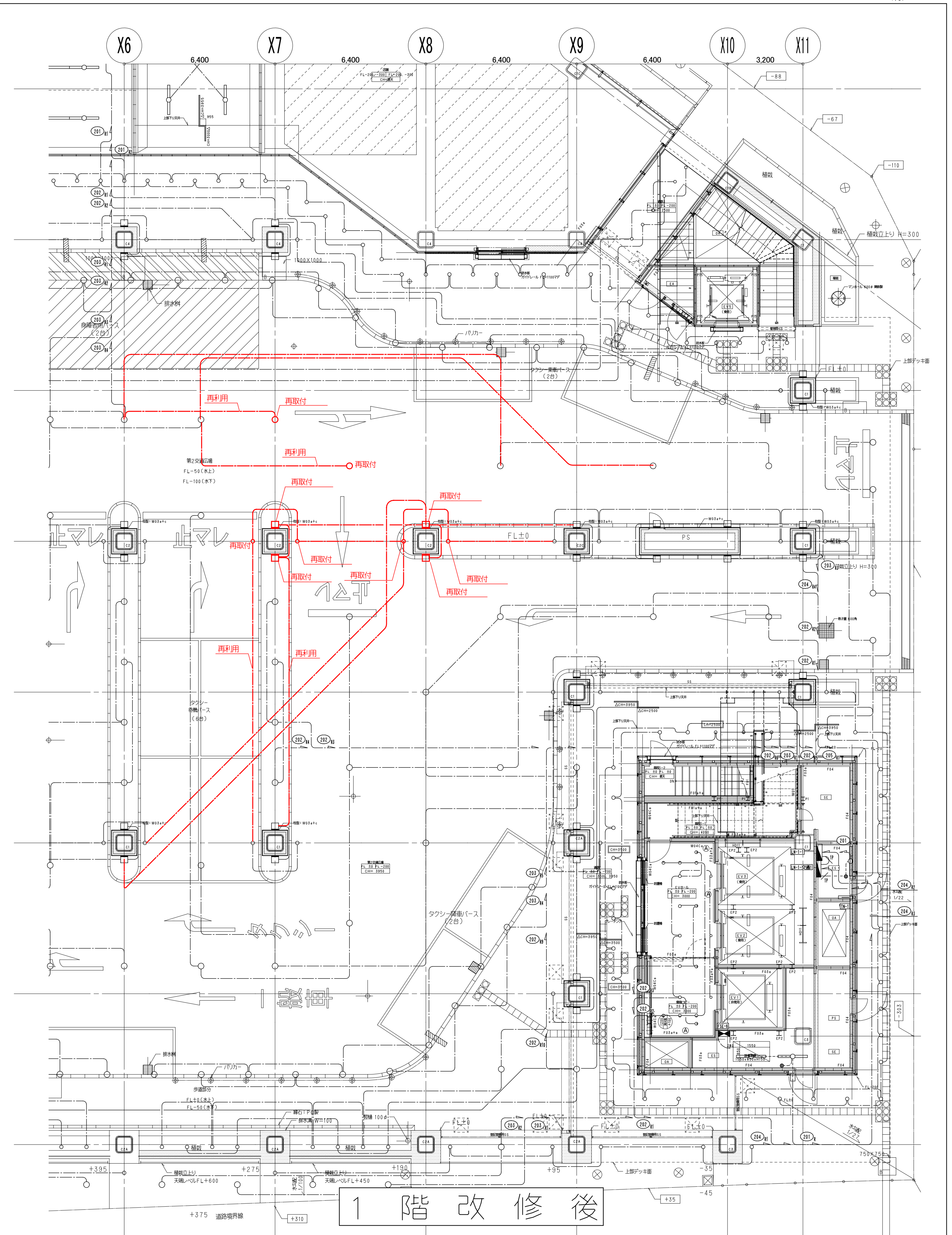
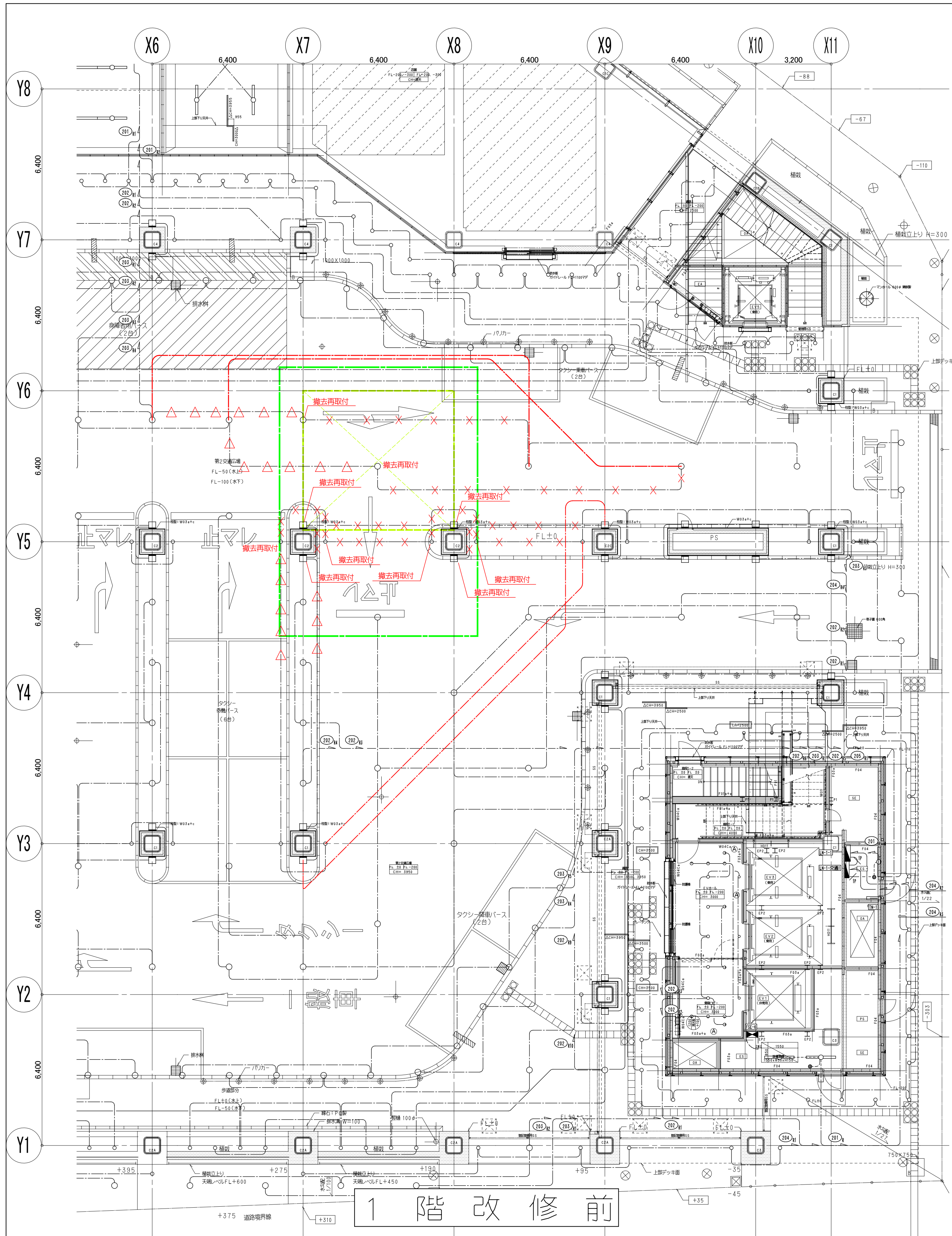
- × × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す
- (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

設備 協力会社
会社名
㈱関電工
担当者

竣工図			2018.02.28		
工事監理		設計		施工	

戸塚駅西口第1地区第二種市街地開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
幹線動力設備 3～7階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
図面 松岡 浩司 松岡 寛史 松岡 亮平
平田 俊巳

鹿島	横浜支店
KAJIMA DESIGN	JOB 217011
一般建築士 28175	DWG E-05
山田 孝史	



鹿島建設株式会社

- | | | | | |
|-------|------|------------------------|-----|--------|
| × × × | (細線) | 既存配線の完全撤去を示す | --- | 工事用仮囲い |
| △ △ △ | (細線) | 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す | --- | 工事範囲 |
| --- | (太線) | 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す | | |

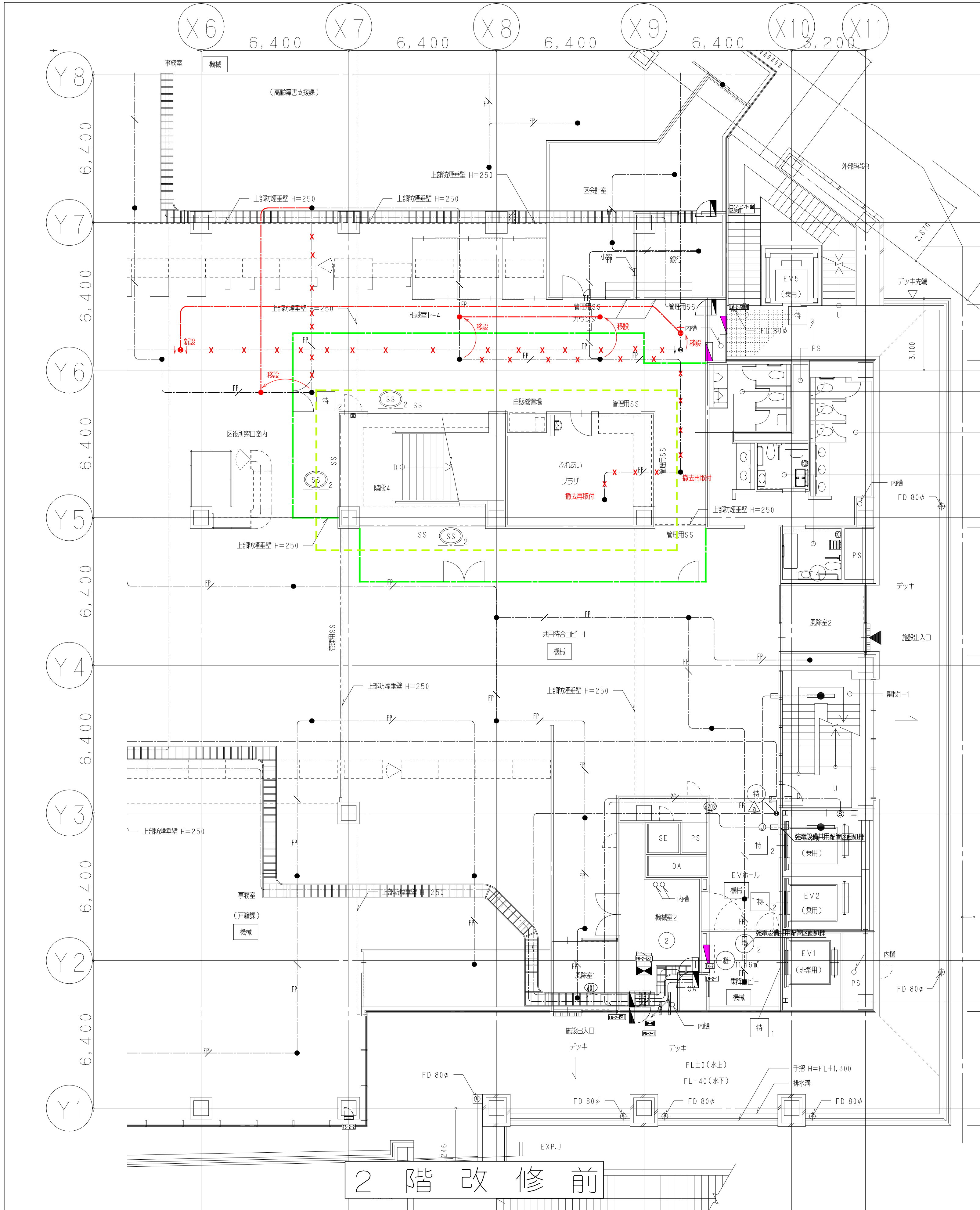
設備 協力会社
会社名
株式会社
株式会社
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

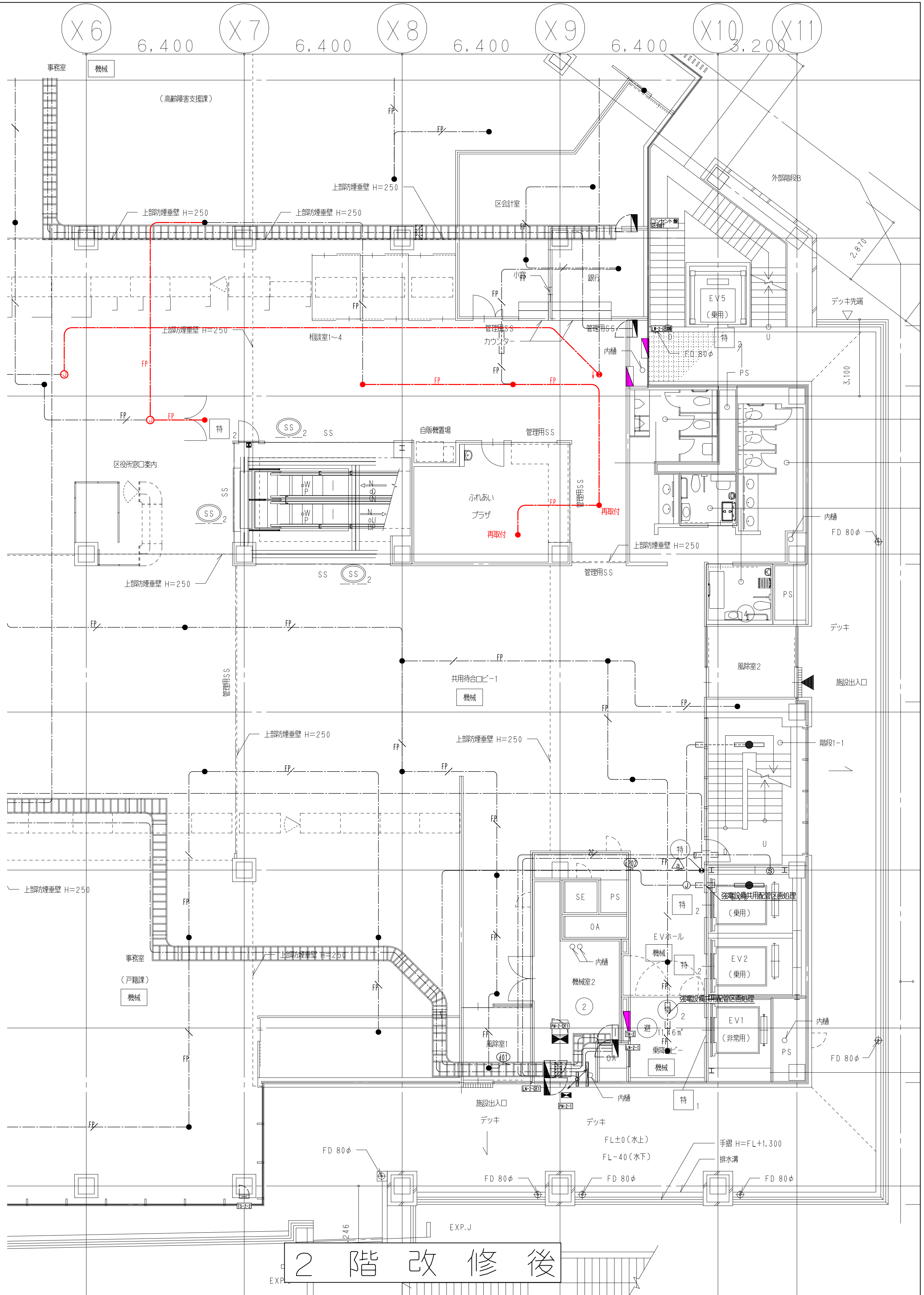
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
電灯設備 1階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
監理 松尾 浩司 松尾 貴史 松尾 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一級建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-06



2 階 改 修 前



2 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- × × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す
- (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

- (緑線) 工事用仮囲い
- (黄線) 工事範囲

設備 協力会社
会社名
㈱関電工
担当者

竣工図	2018.02.28
工事監理	設計 施工

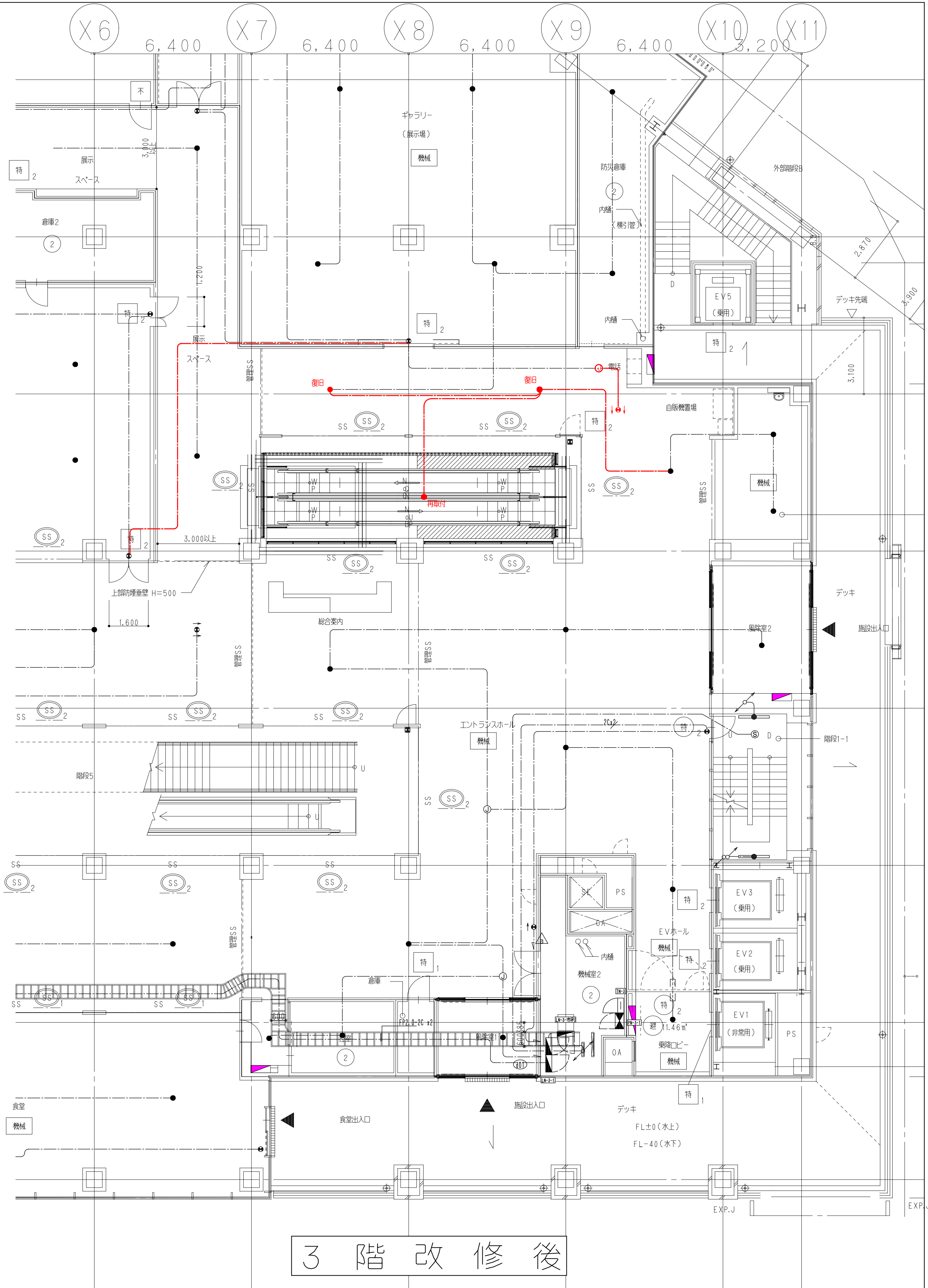
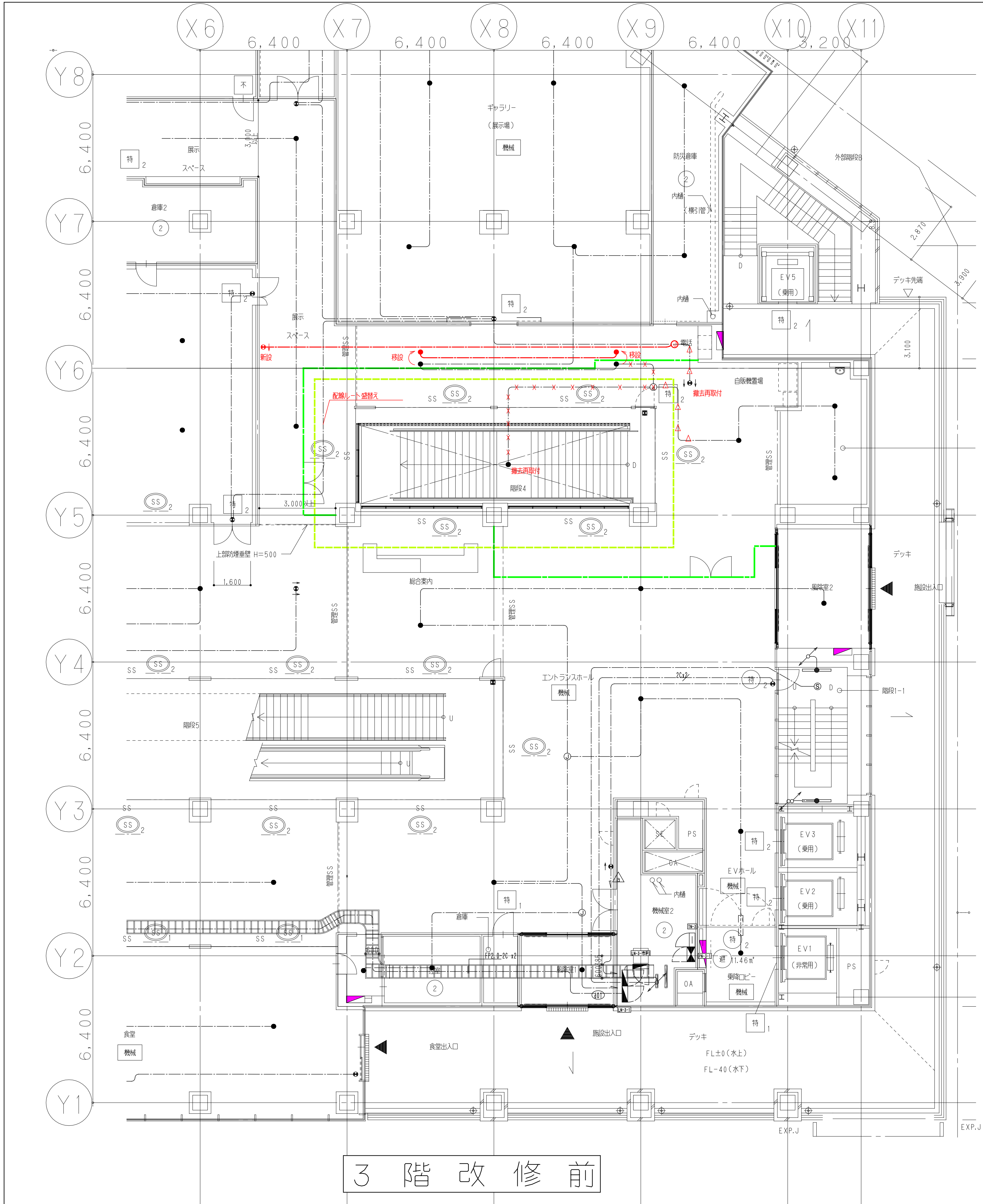
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
誘導灯・非常照明設備 2階平面図

SCALE 1: DATE 2017-08-21

図面 概略 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平

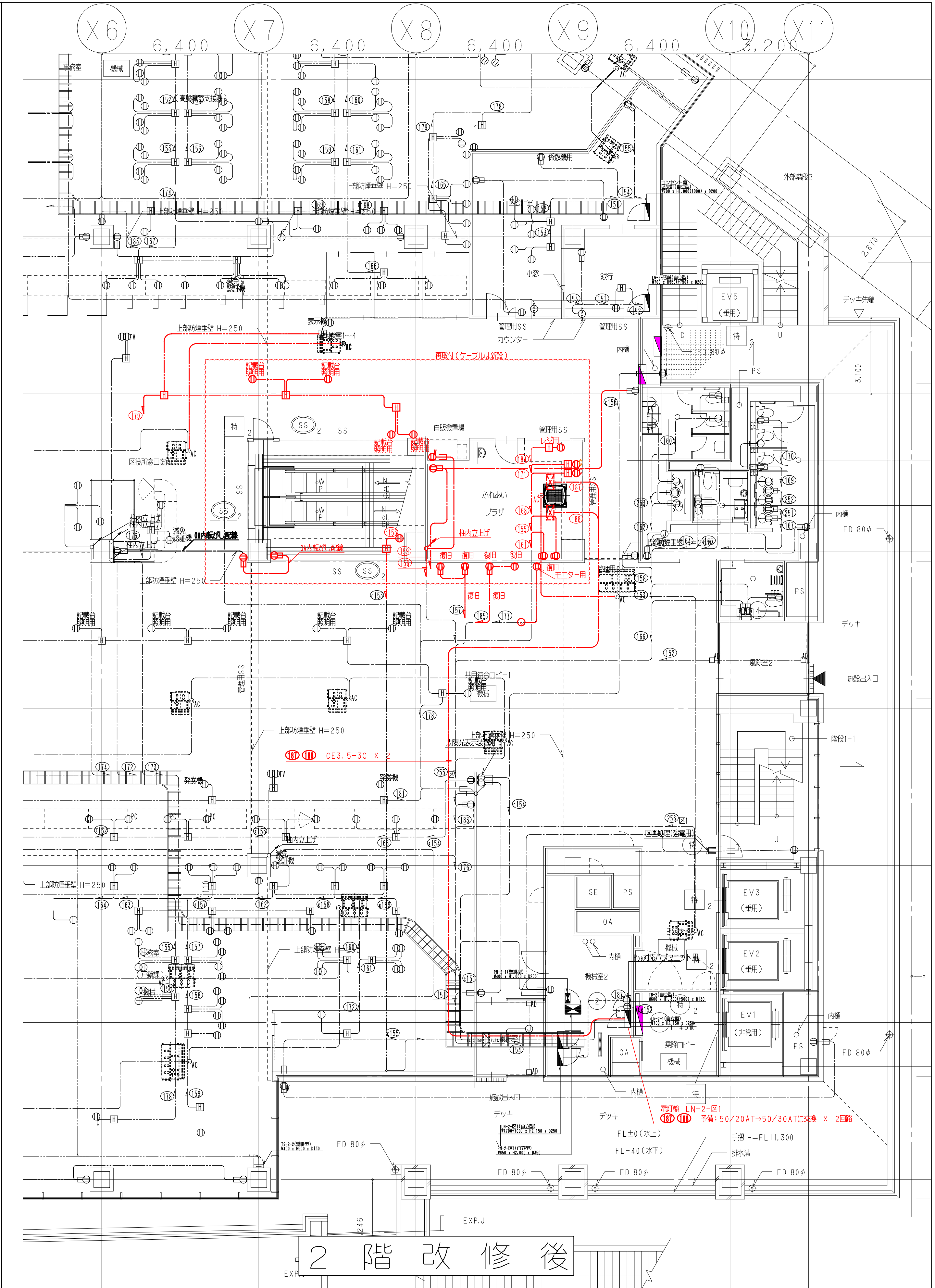
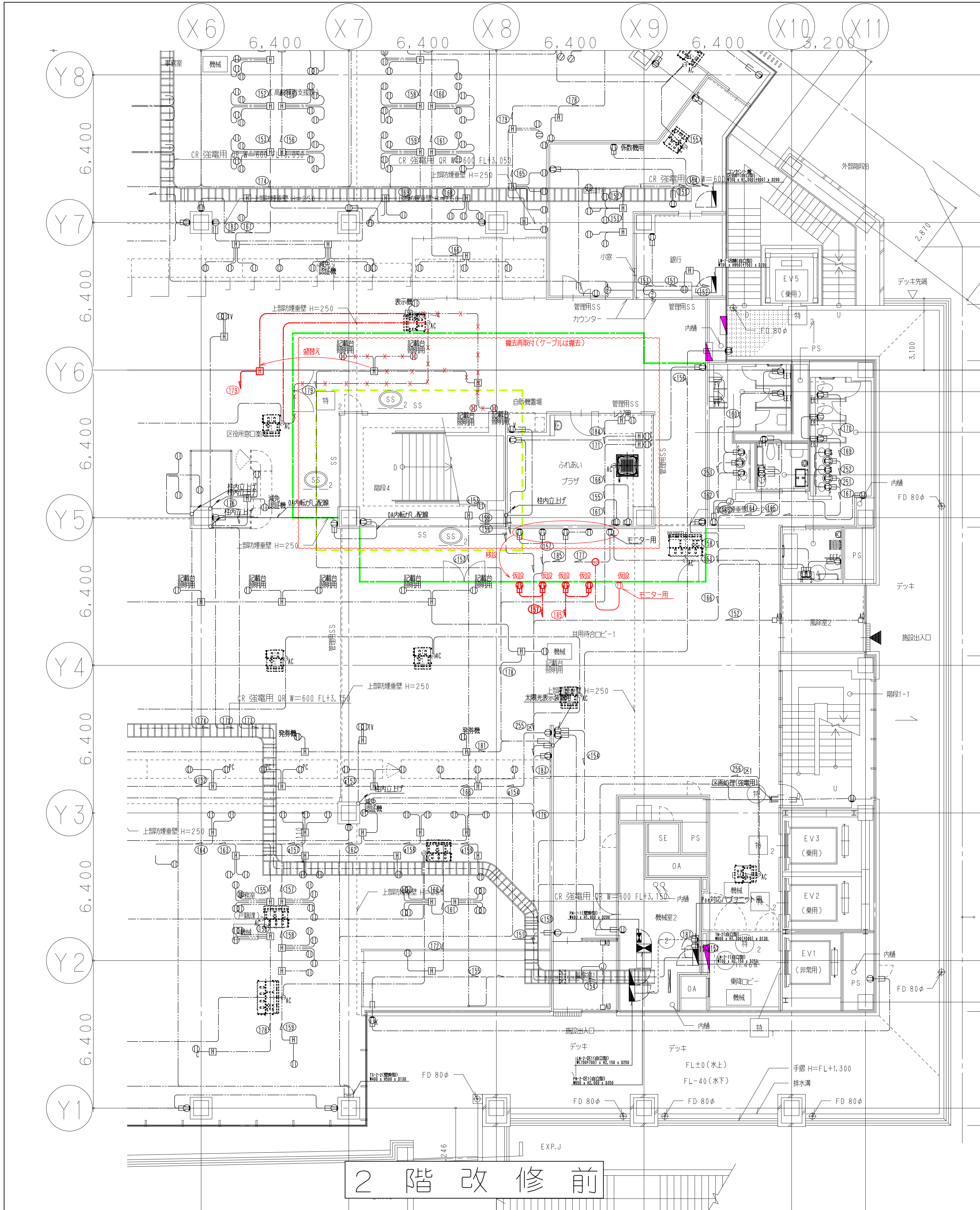
鹿島
KAJIMA DESIGN
一級建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-09



鹿島建設株式会社	× × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す — (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す	— (細線) 工事用仮囲い — (太線) 工事範囲	設備 協力会社 会社名 株式会社 関電工 担当者	竣工図 2018.02.28 工事監理 設計 施工	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター・設置工事 誘導灯・非常照明設備 3階平面図 SCALE 1: DATE 2017-08-21 製図 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平	KJIMADA KAJIMA DESIGN 一級建築士 28175 山田 孝史	横浜支店 JOB 217011 DWG E-10

本図面は建物の維持管理のための参考資料です。建物の現状と図面が完全に一致していることを保証するものではありません。



鹿島建設株式会社

設備 協力会社

会社名 株式会社 ㈱関電工

担当者

× × × (細線)

△ △ △ (細線)

— (太線)

既存配線の完全撤去を示す

既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す

配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

竣工図 2018.02.28

工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う

公益施設整備事業 エスカレーター・設備工事

コンセント・設備 2階平面図

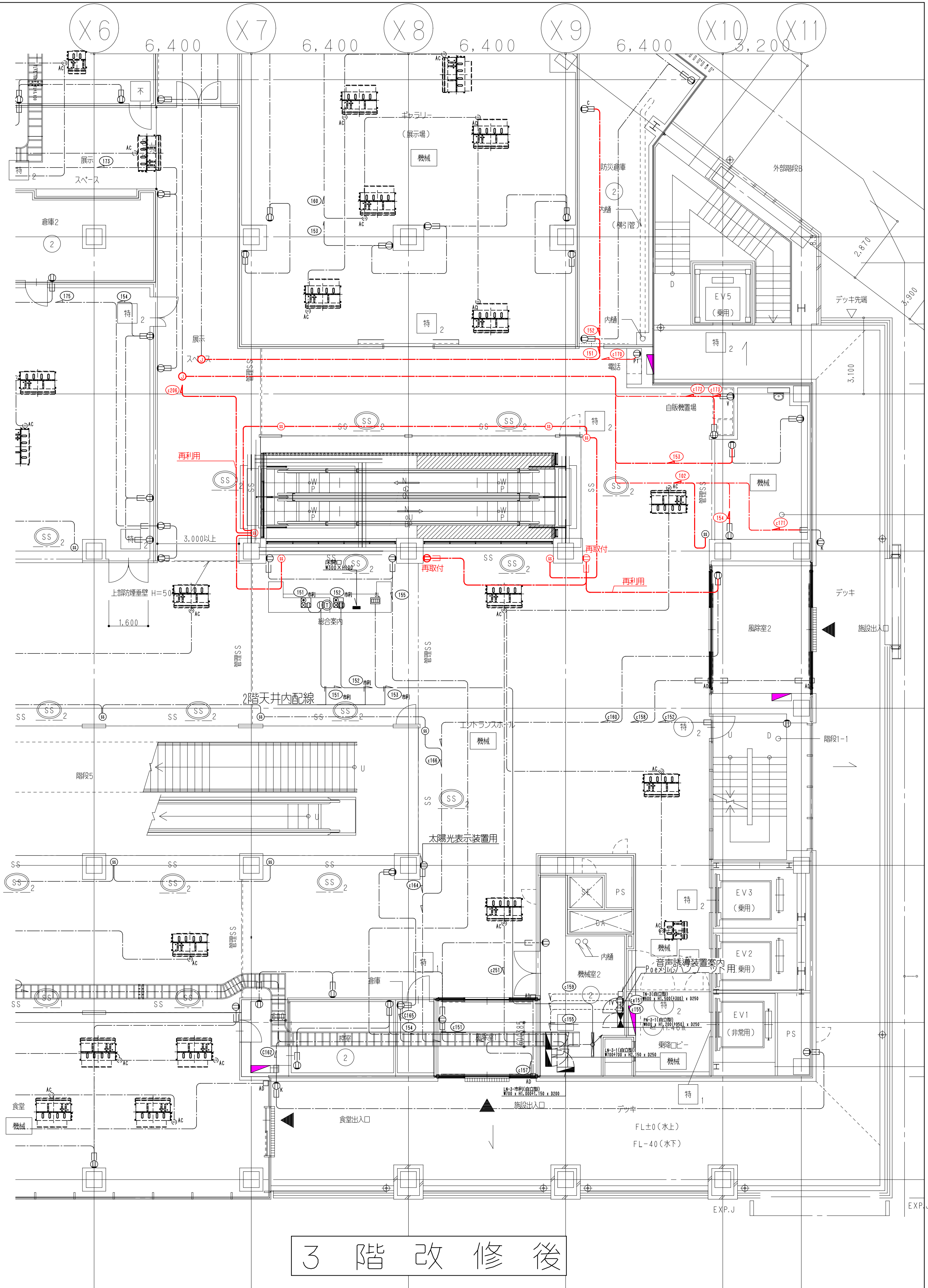
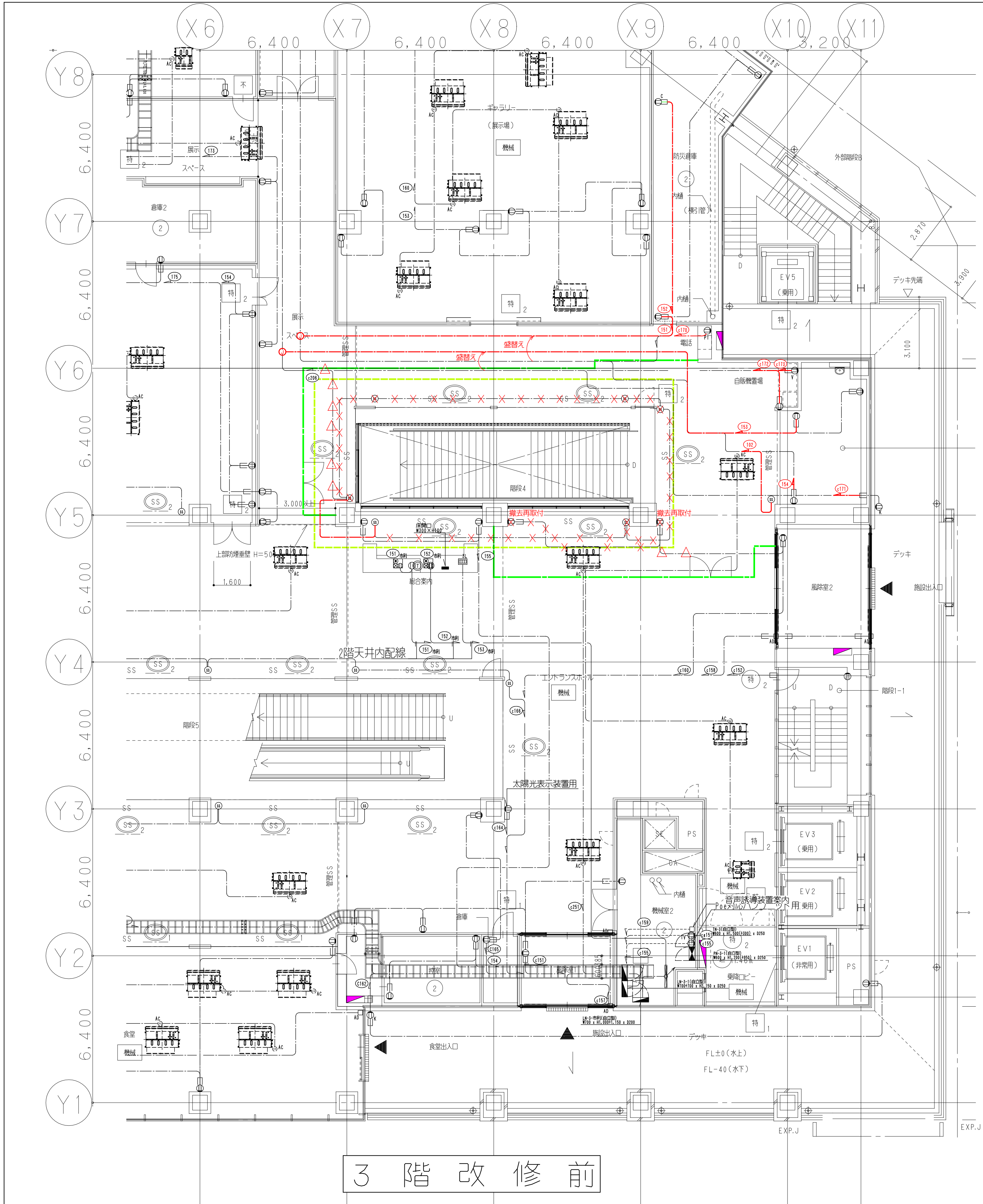
SCALE 1: DATE 2017-08-21

図面 概略 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平

横浜支店

JOB 217011

DWG E-11



鹿島建設株式会社

設備 協力会社

会社名

㈱関電工

担当者

竣工図

2018.02.28

工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
コンセント設備 3階平面図

SCALE 1:

DATE 2017-08-21

監理 松尾 浩司

設計 松尾 浩司

監理 松尾 浩司

設計 松尾 浩司

監理 松尾 浩司

設計 松尾 浩司

鹿島

KAJIMA DESIGN

一般建築士 28175

山田 孝史

横浜支店

JOB 217011

DWG E-12

× × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す

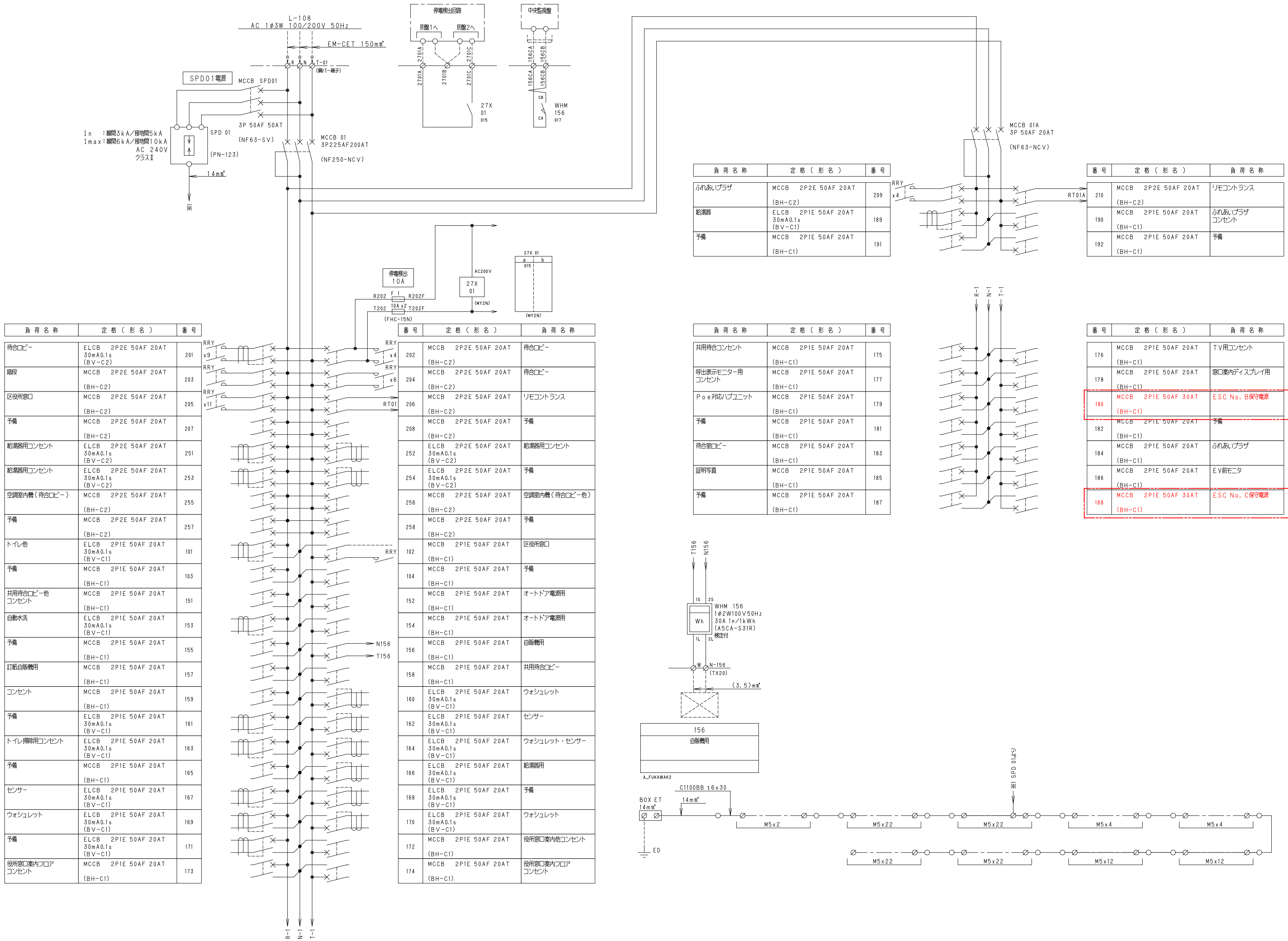
△ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去し再配線を示す

— (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

— (緑線) 工事用仮囲い

— (青線) 工事範囲

本図面は建物の維持管理のための参考資料です。建物の現状と図面が完全に一致していることを保証するものではありません。



鹿島建設株式会社

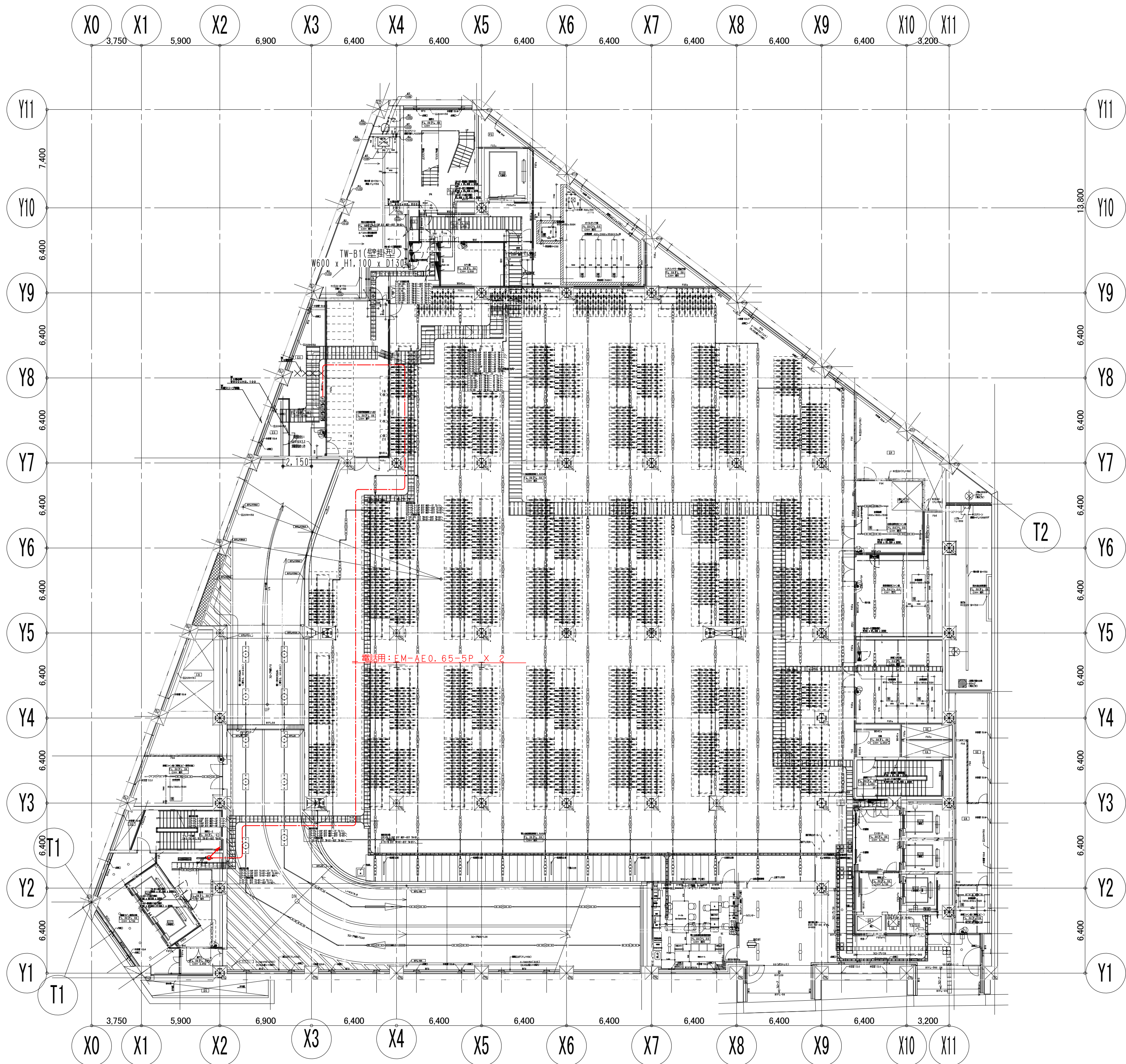
設備 協力会社
会社名
(株)関電工
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
電灯盤 LN-2-区1
SCALE 1: NS DATE 2017-08-21
原案 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平

鹿島 KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-13



鹿島建設株式会社

- X — X — X — (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ — (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去し再利用配線を示す
- — — (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

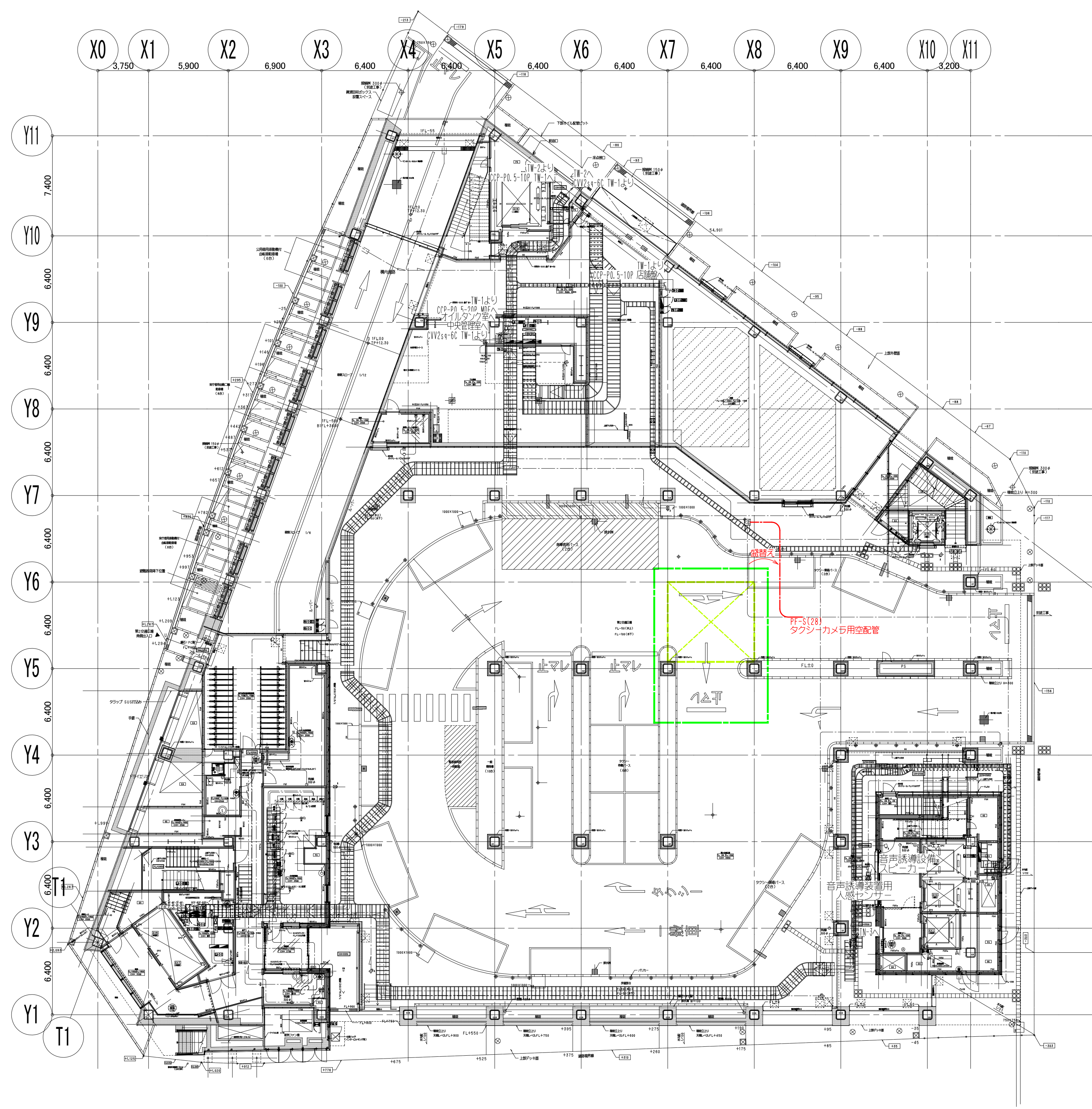
設備 協力会社
会社名
(株)関電工
担当者

竣工図		2018.02.28
工事監理	設計	施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
監視・警報・通信設備 B1階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
監理 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平
平田 健巳 森田 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

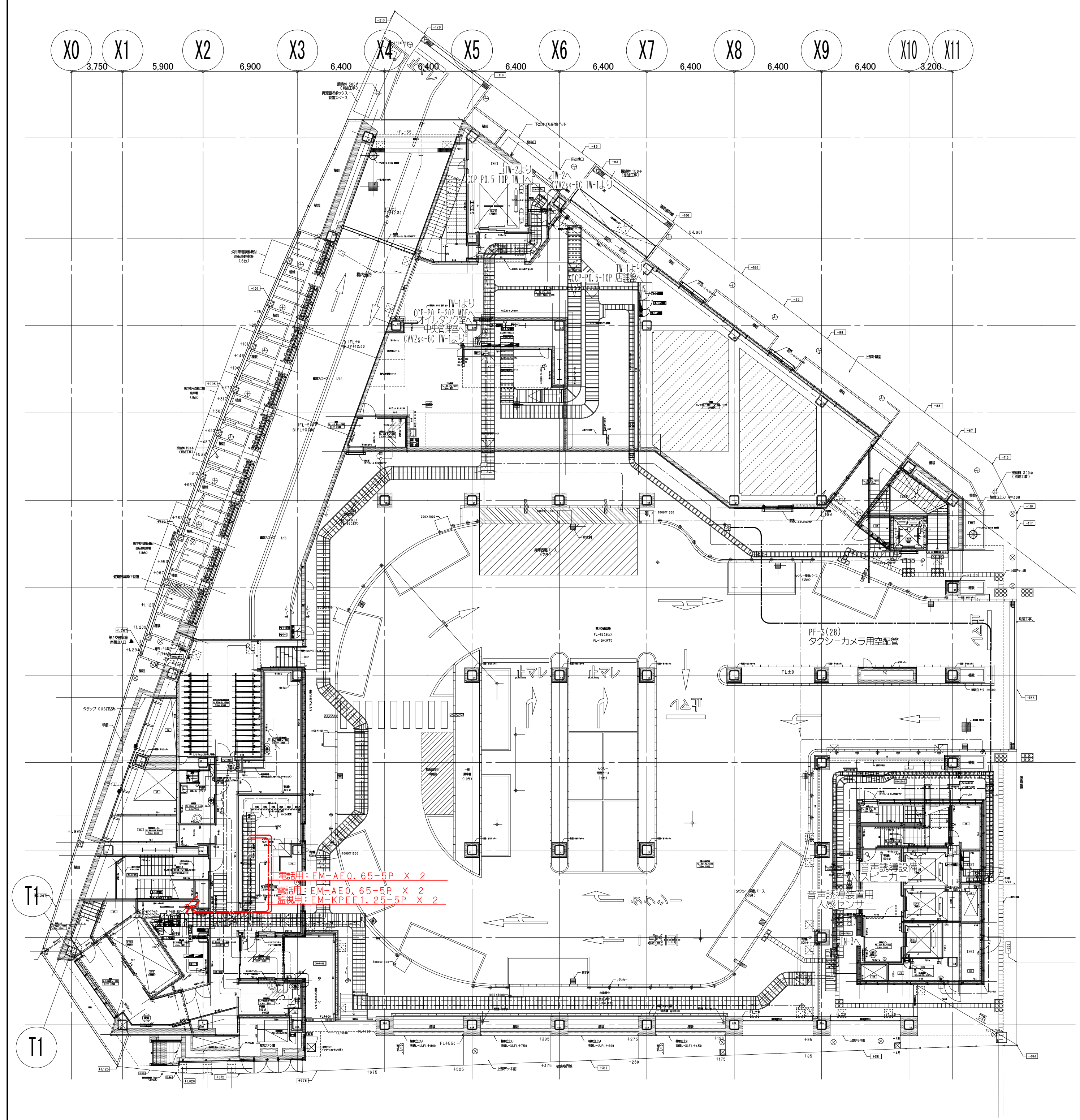
横浜支店
JOB
217011
DWG
E - 14



1 階 改 修 前

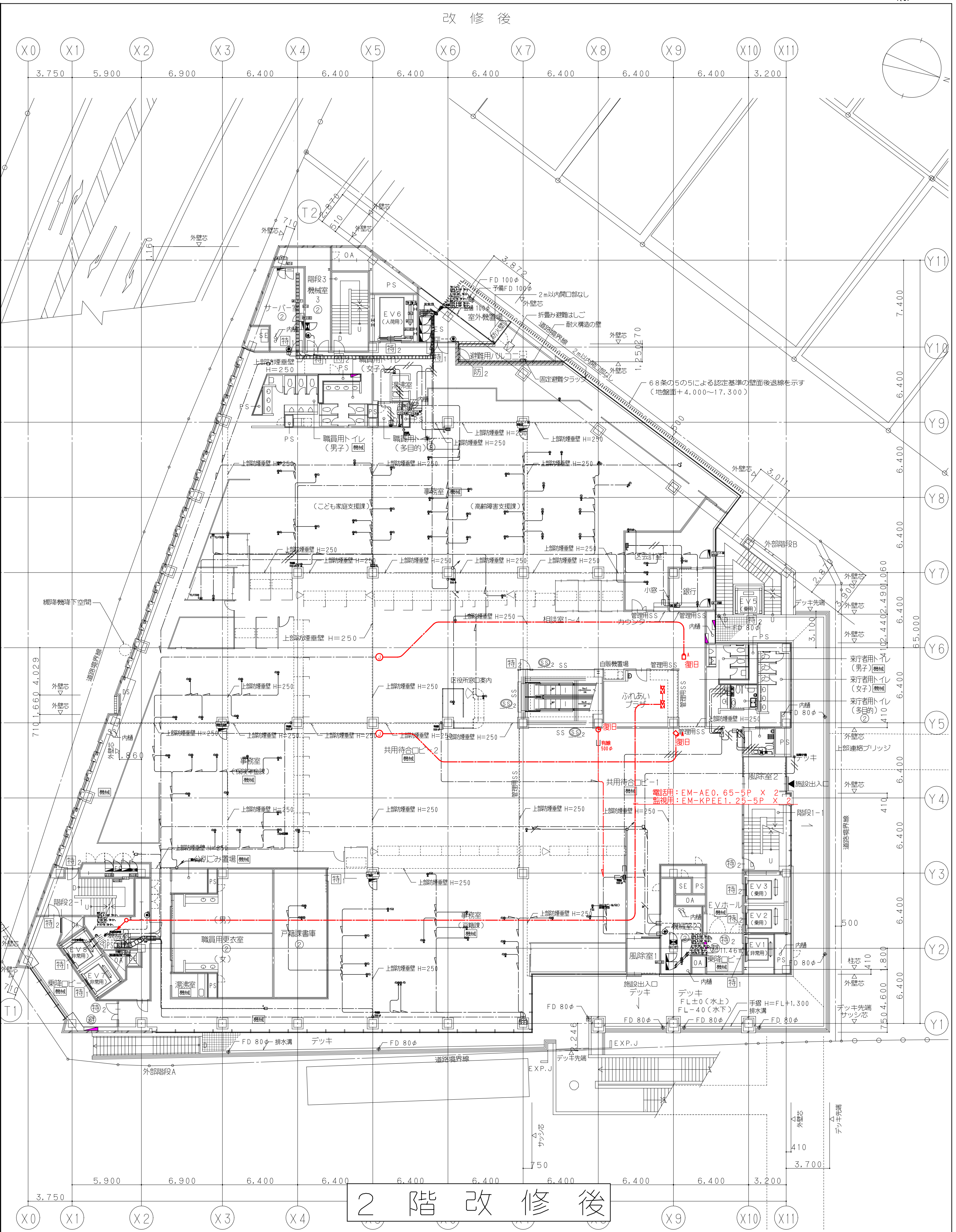
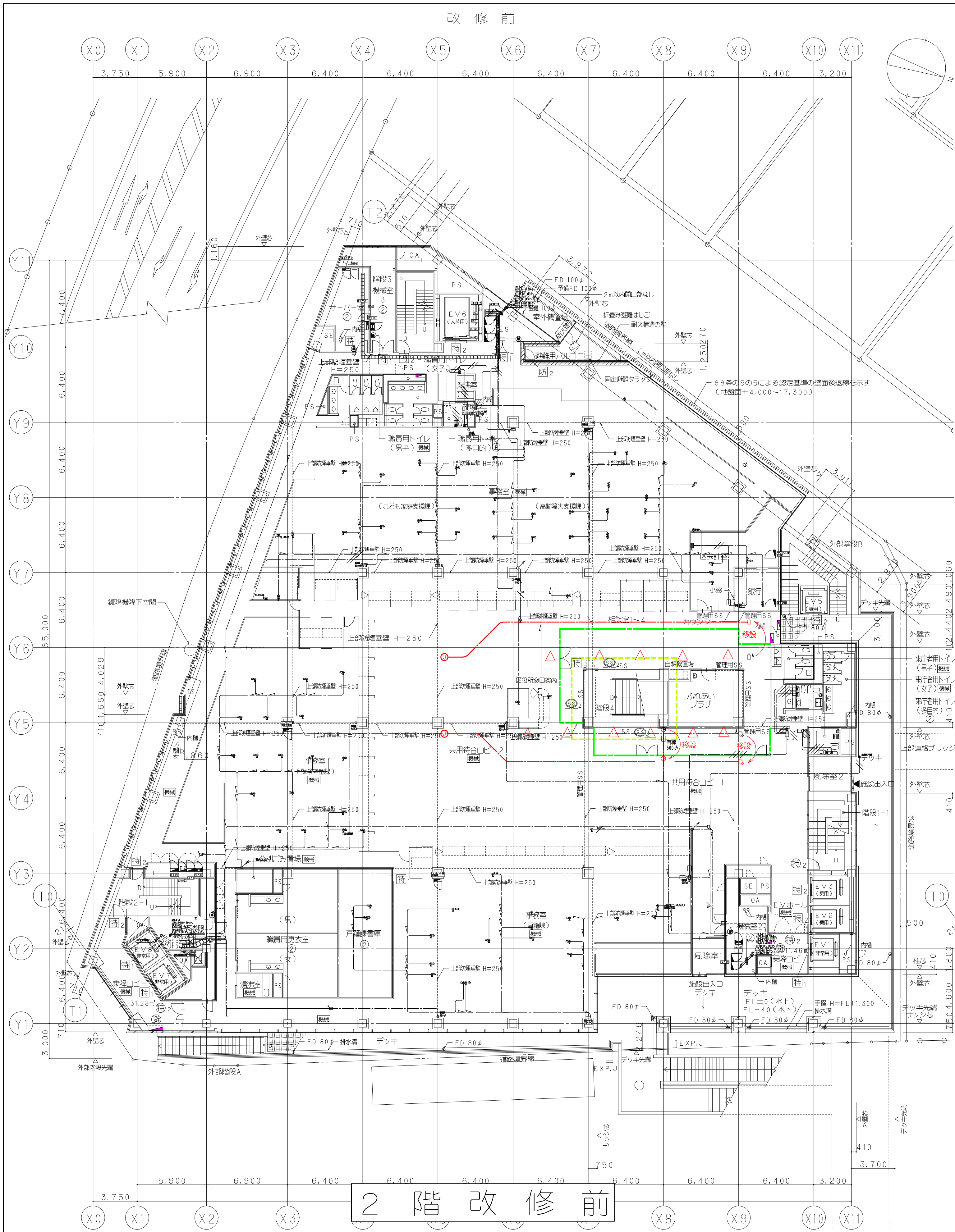
鹿島建設株式会社

- | | | | | |
|-------|------|------------------------|-----|--------|
| × × × | (細線) | 既存配線の完全撤去を示す | —— | 工事用仮囲い |
| △ △ △ | (細線) | 既存配線の解体範囲内一旦撤去し再配線を示す | --- | 工事範囲 |
| —— | (太線) | 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す | | |



1 階 改 修 後

設備 協力会社 会社名 (株)関電工 担当者	竣工図 2018.02.28 工事監理 設計 施工	戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事 監視・警報・通信設備 1階平面図 SCALE 1: DATE 2017-08-21 製図 松尾 浩司 松尾 貴史 萩原 亮平 校核 平田 健巳	鹿島 KAJIMA DESIGN 一般建築士 28175 山田 孝史	横浜支店 JOB 217011 DWG E-15
---------------------------------	------------------------------	---	--	--------------------------------



2 階 改 修 前

2 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- × × × — (細線) 既存配線の完全撤去を示す
— △ △ △ — (細線) 既存配線の解体範囲一旦撤去し再配線を示す
— (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

- A ITVカメラ ドーム型 固定
ⓐ 電気計装 有線式

- 工事用仮取
— 工事取組

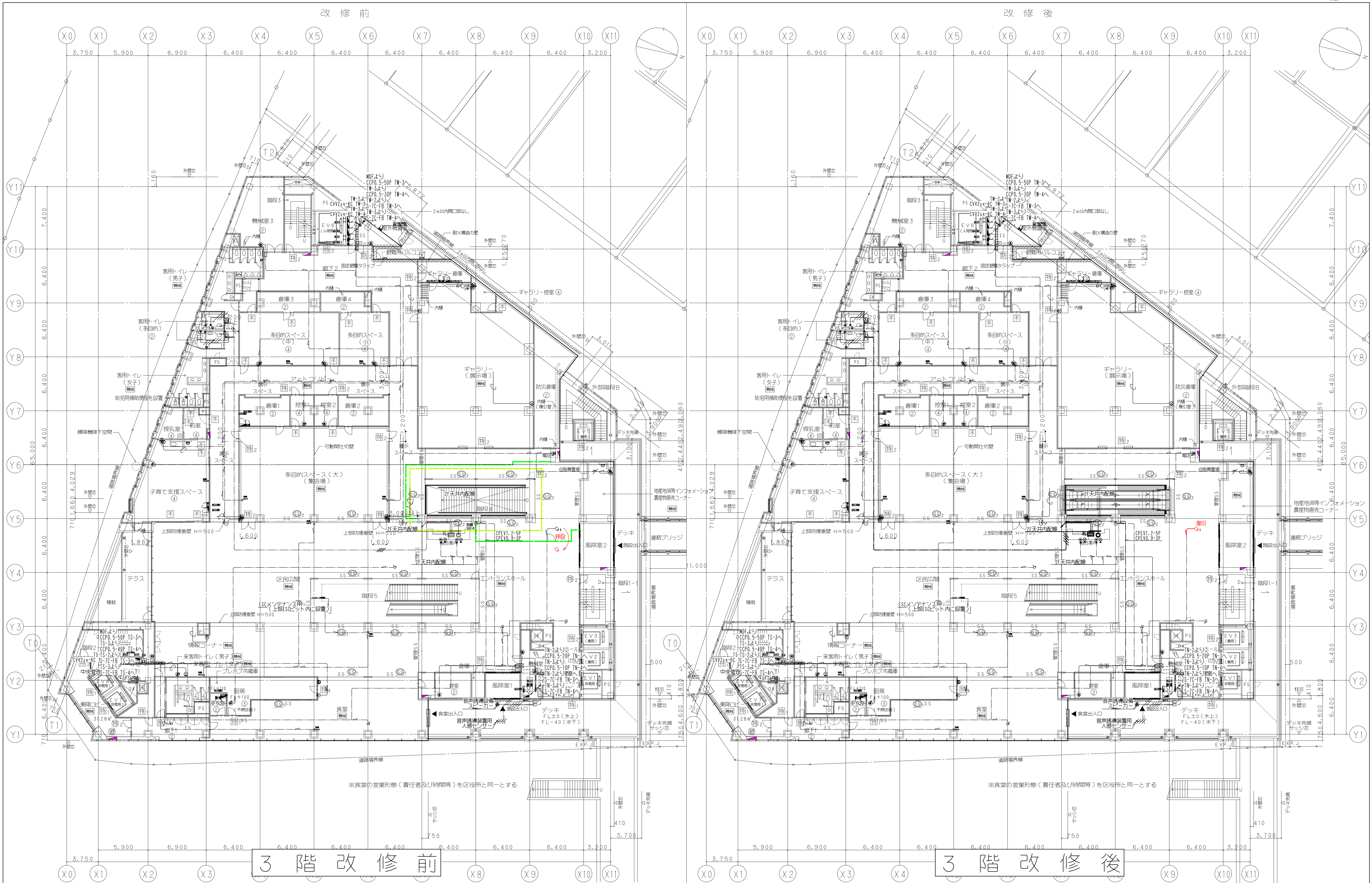
設備 協力会社
会社名 株式会社
(株)関電工
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター・設備工事
監視・警報・通信設備 2階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
監理 横田 浩司 松電 貴史 秋原 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 泰史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-16



鹿島建設株式会社

× × ×

△ △ △

—

(細線)

(細線)

(太線)

既存配線の完全撤去を示す

既存配線の解体範囲内一旦撤去し再配線を示す

配線の新設配線及び残存配線の再利用配線を示す

ITVカメラ ドーム型 固定

電気計装 有線式

工事用仮囲い

工事範囲

設備 協力会社

会社名 株式会社 ㈱ 関電工

担当者

竣工図 2018.02.28

工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
監視・警報・通信設備 3階平面図

SCALE 1: DATE 2017-08-21

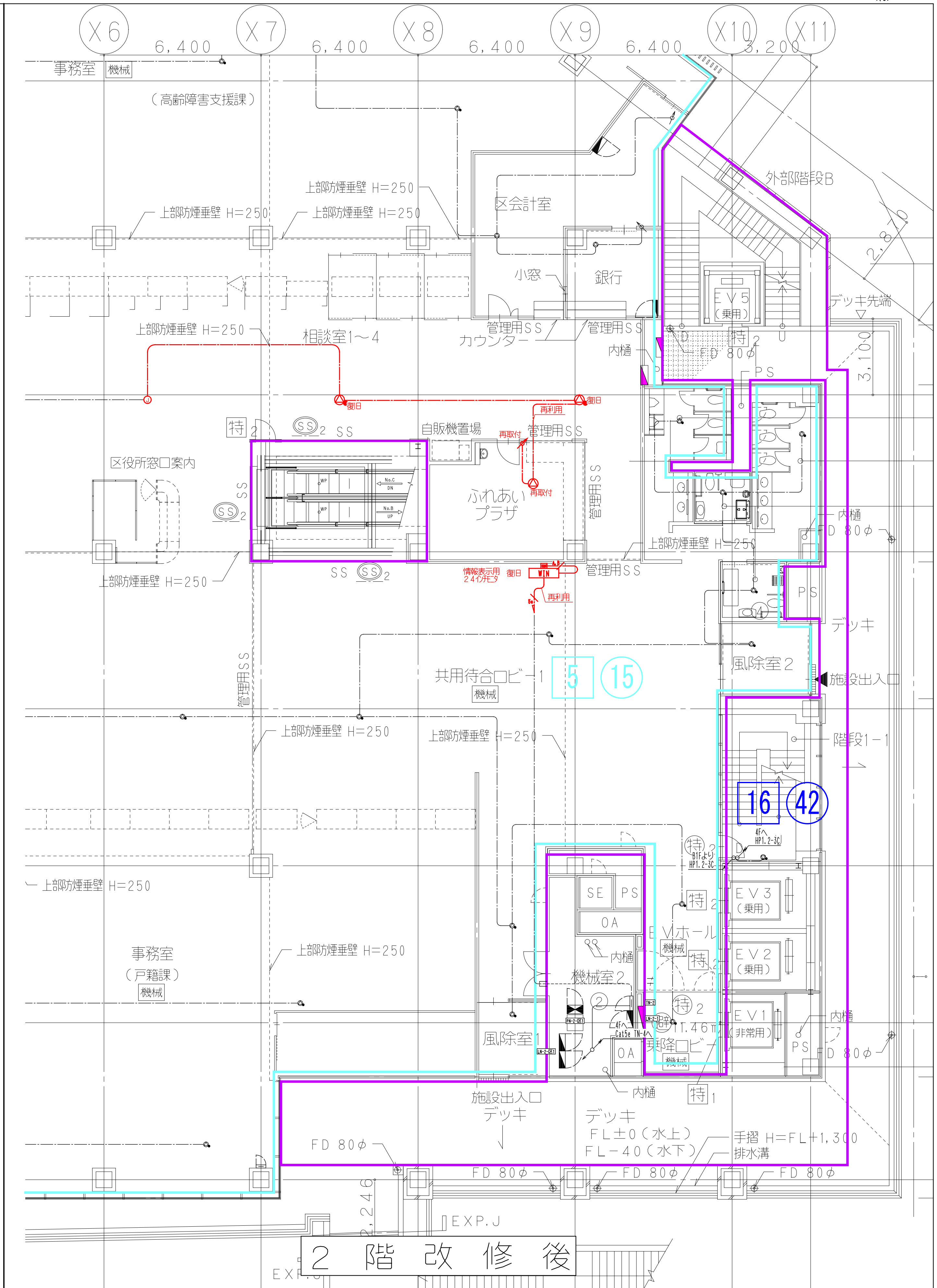
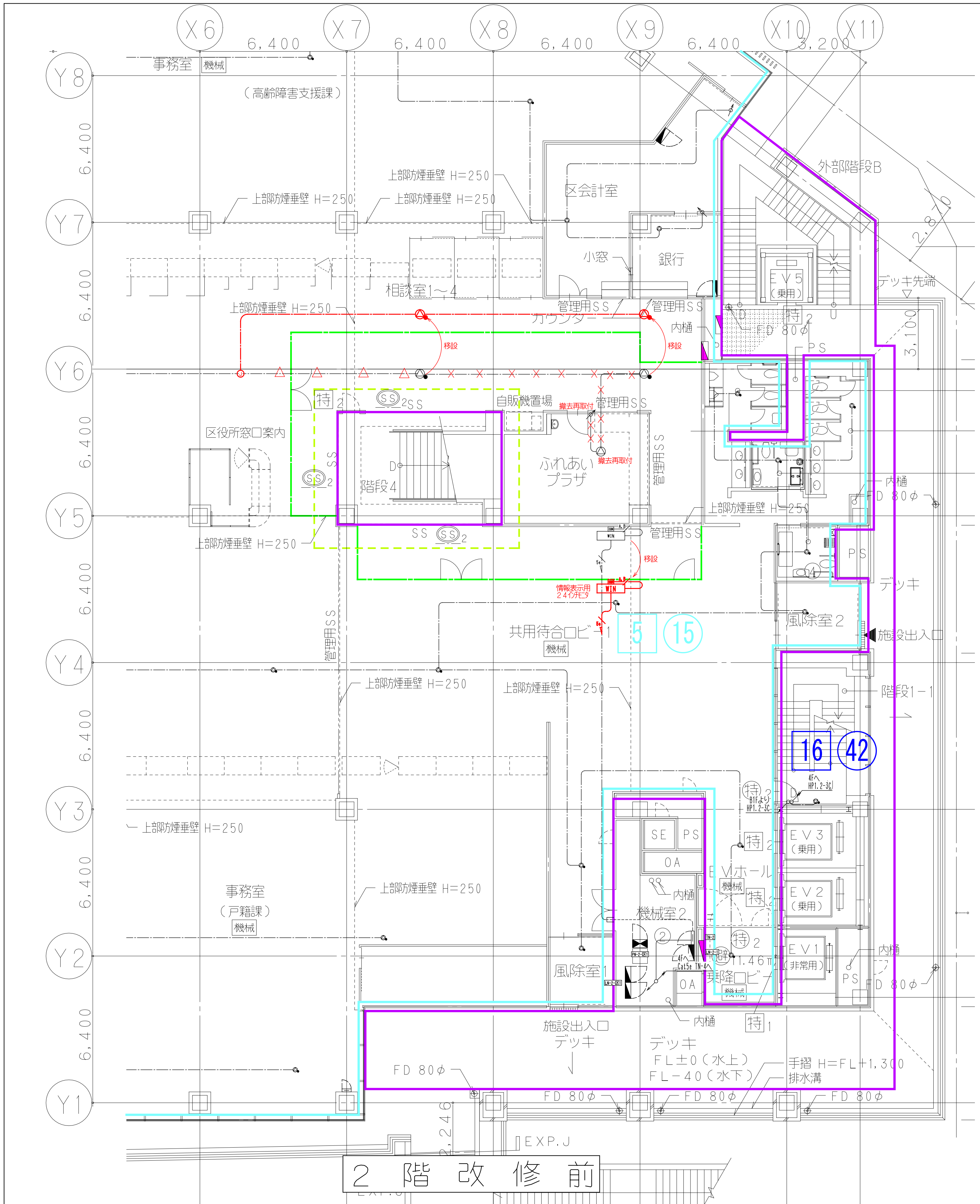
監理 松尾 貴史 松尾 貴史 松尾 貴史
設計 平田 健二 横田 浩司 松尾 貴史 松尾 貴史

鹿島 KAJIMA DESIGN

一級建築士 山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-17

本図面は建物の維持管理のための参考資料です。建物の現状と図面が完全に一致していることを保証するものではありません。



鹿島建設株式会社

× × ×

(細線)

既存配線の完全撤去を示す

△ △ △

(細線)

既存配線の解体範囲内一旦撤去し再配線を示す

— — —

(太線)

配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

区面色	区画名称	非常 系統番号	業務 系統番号
—	全体共用	5	14
—	区役所	5	15

設備 協力会社
会社名
株関電工
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

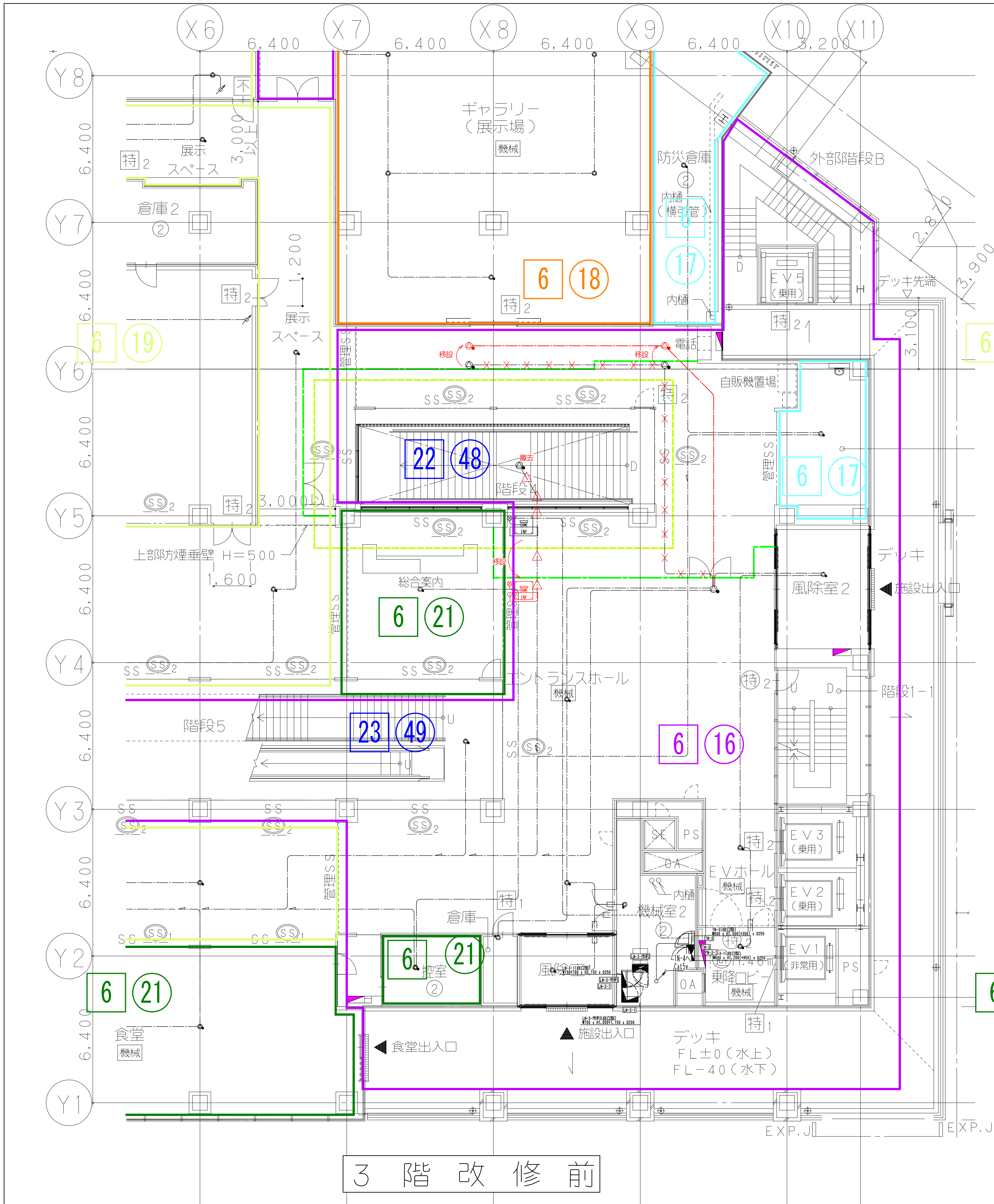
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター・設備工事
非常用放送・情報表示設備 2階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
図面 概略 松尾 浩司 松尾 貴史 萩原 亮平
平田 健巳

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

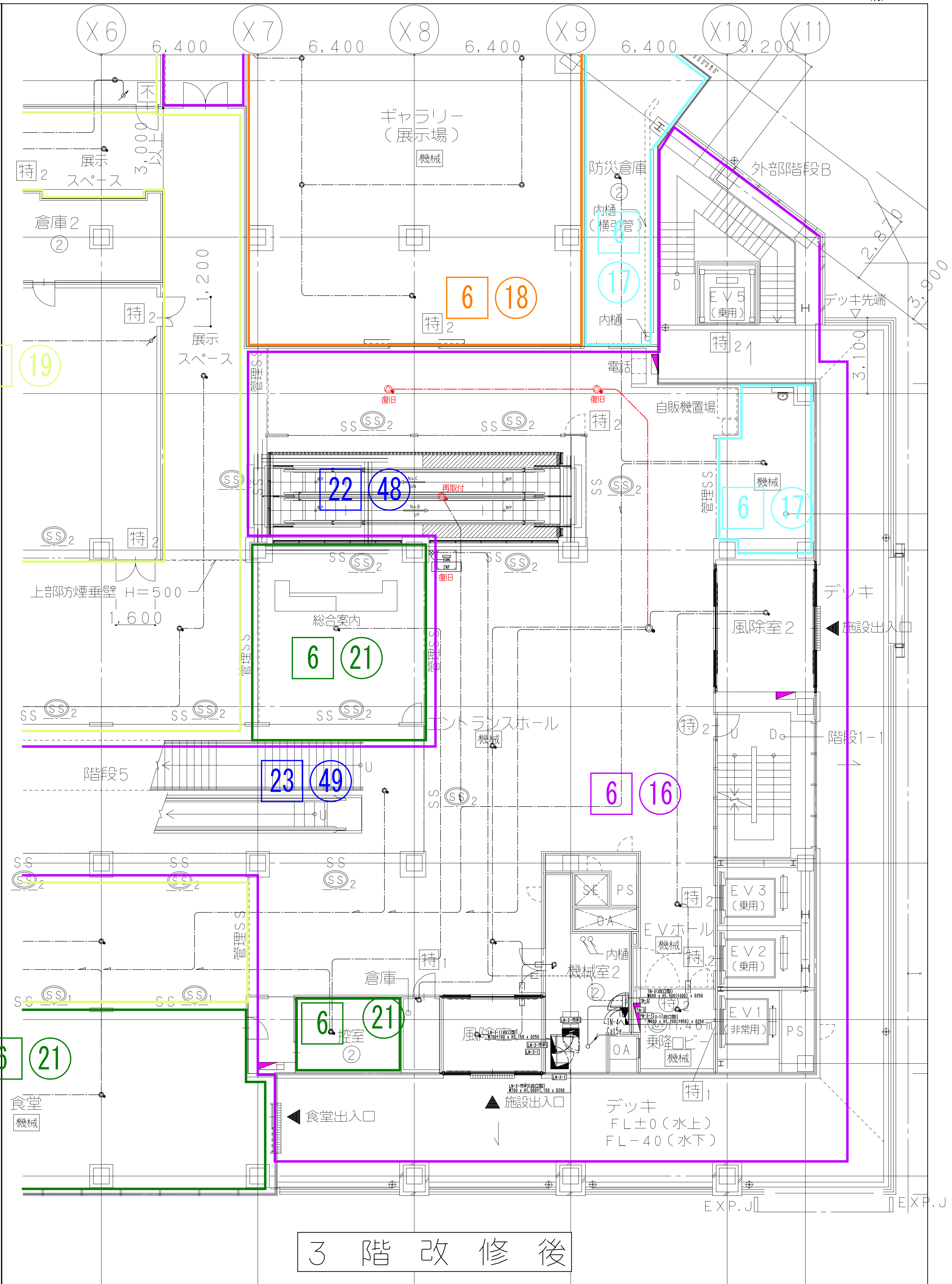
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター・設備工事
非常用放送・情報表示設備 2階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
図面 概略 松尾 浩司 松尾 貴史 萩原 亮平
平田 健巳

鹿島建設株式会社
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-18



3 階 改 修 前



3 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- × × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去し再配線を示す
- (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

- (緑線) 工事用仮囲い
- (黄線) 工事範囲

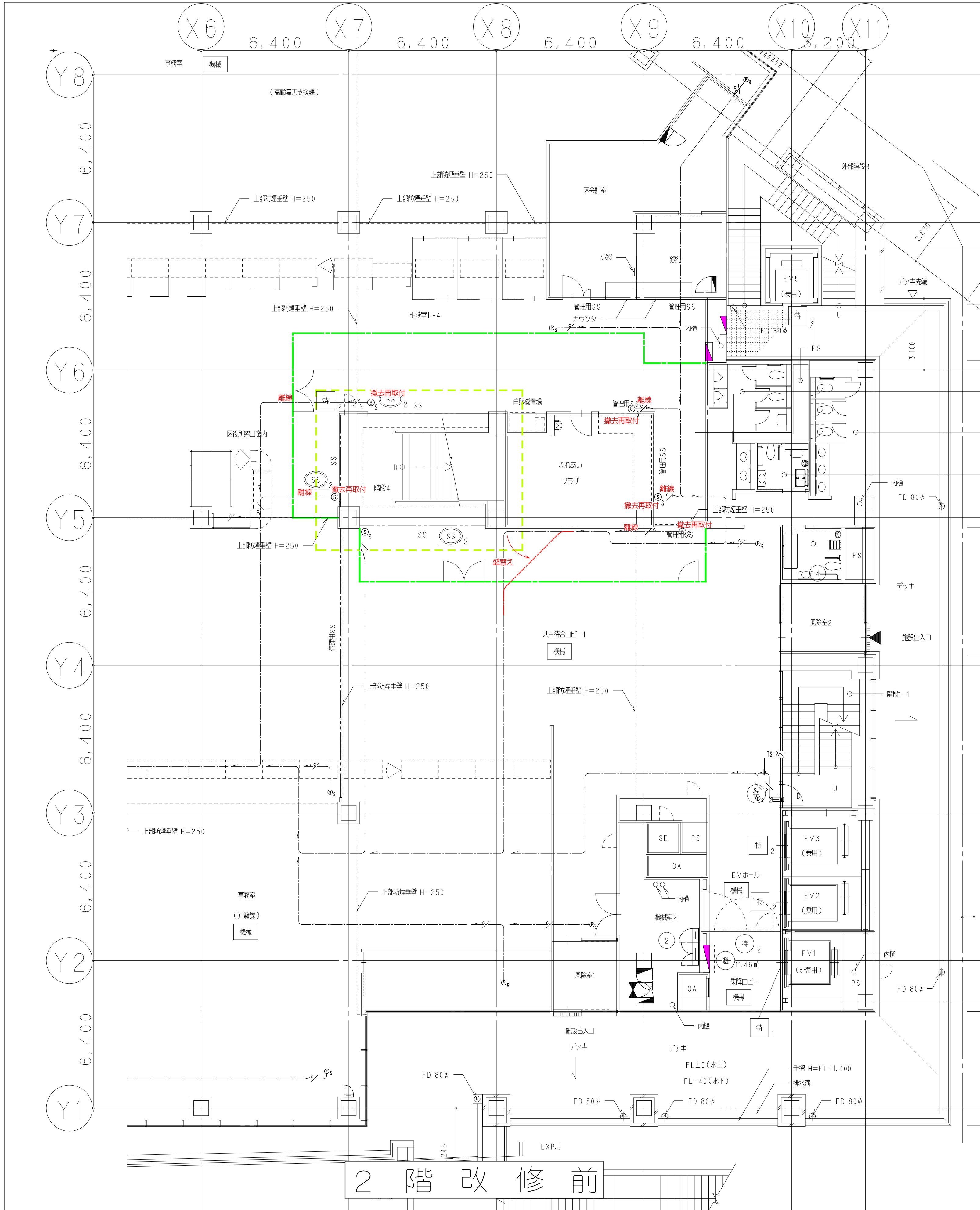
設備 協力会社
会社名
㈱関電工
担当者

竣工図	2018.02.28
工事監理	設計
設計	監工

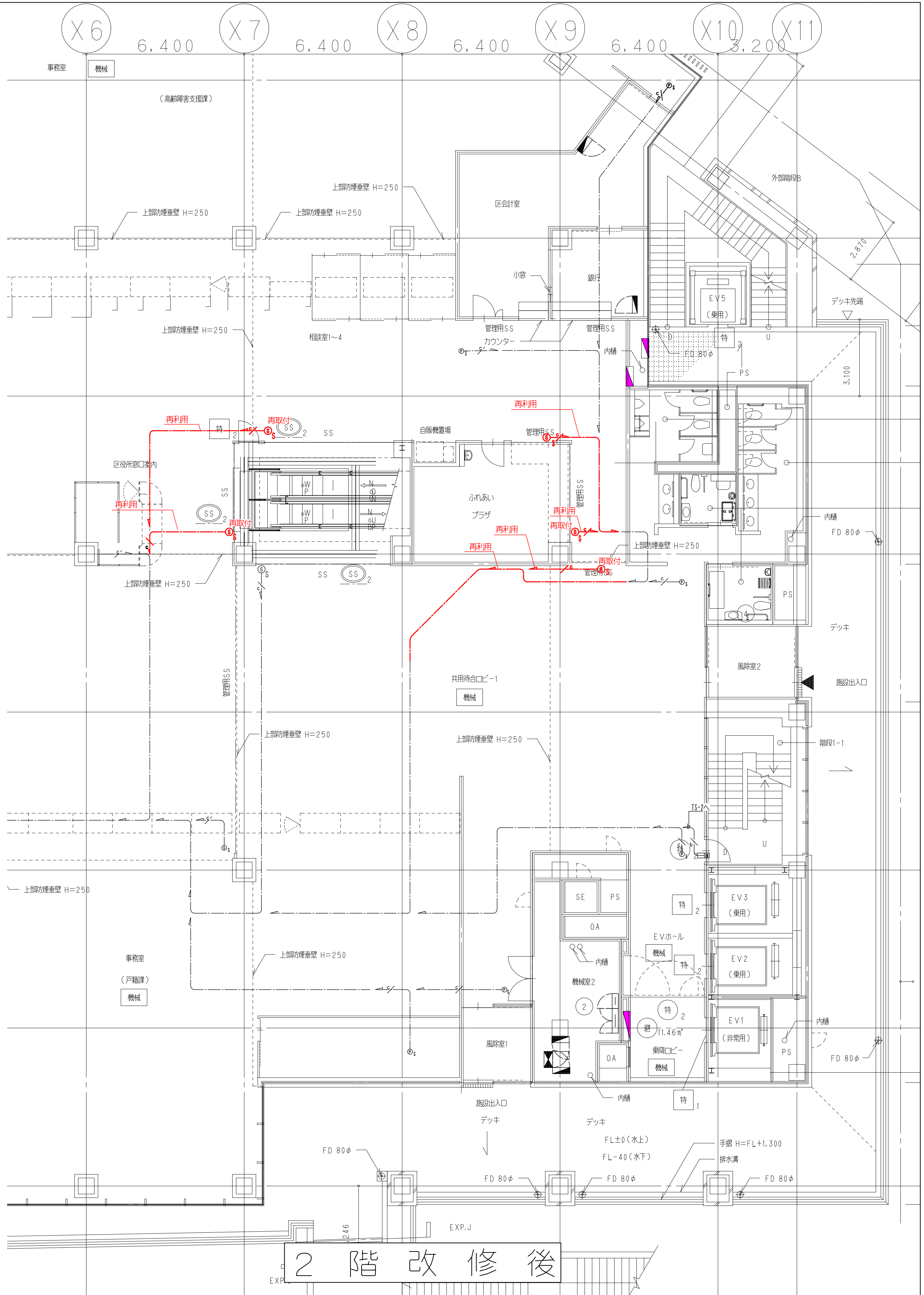
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事 非常用放送・情報表示設備 3階平面図			
SCALE 1:	DATE 2017-08-21		
部長	松尾 貴史	専任監理者	秋原 亮平
平田 健二	横田 浩司	松尾 貴史	秋原 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-19



2 階 改 修 前



2 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- × × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す
- (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

- (太線) 工事用仮囲い
- (太線) 工事範囲

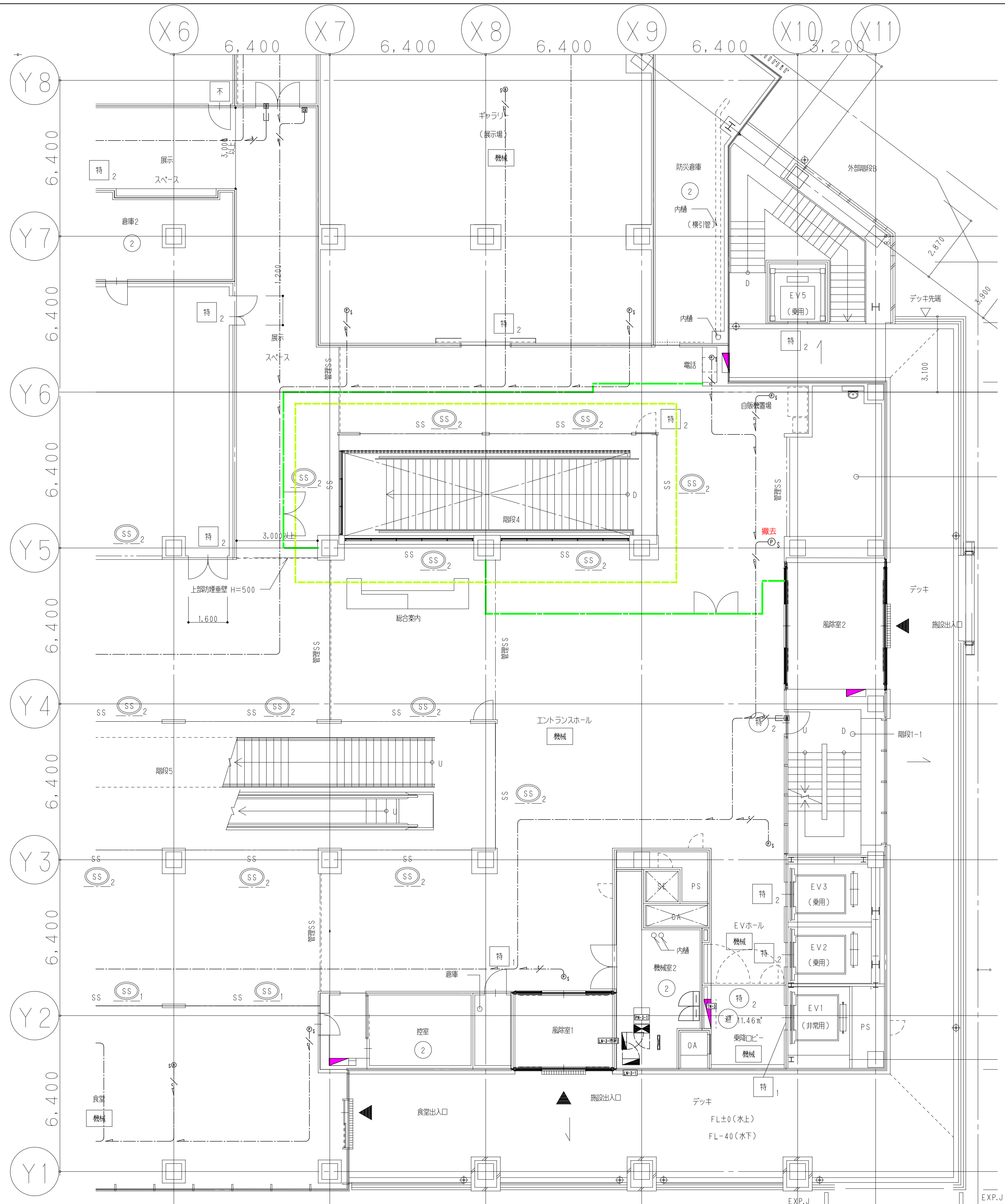
設備 協力会社
会社名
株式会社
鹿島電気
担当者

竣工図	2018.02.28
工事監理	設計
監工	

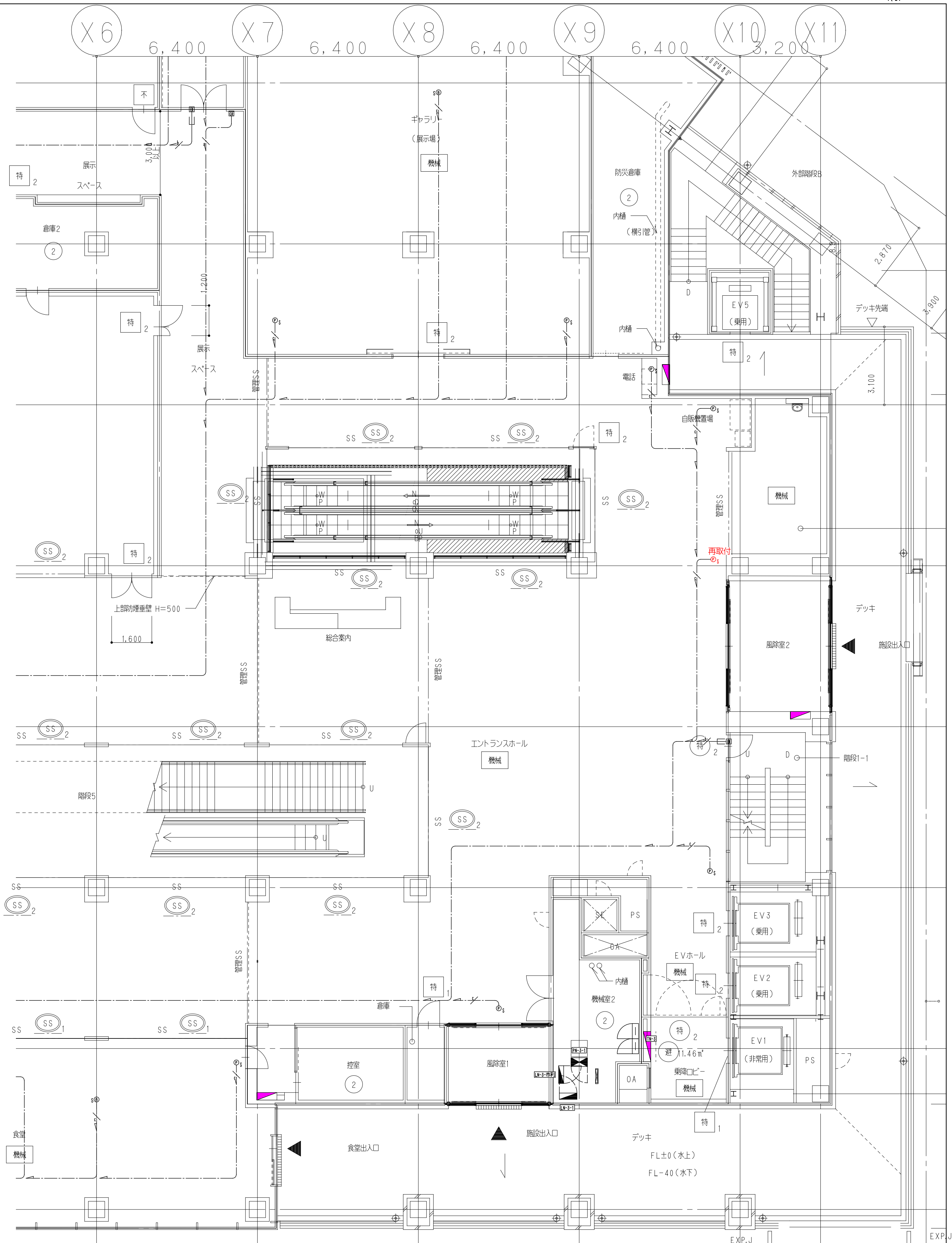
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業 エスカレーター設置工事 機械警備設備 2階平面図			
SCALE 1:	DATE 2017-08-21		
監理	概略	係長責任者	設計担当者
平田 信巳	横田 浩司	松尾 貴史	秋原 亮平

鹿島建設株式会社
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-20



3 階 改 修 前



3 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- × × × (細線) 既存配線の完全撤去を示す
- △ △ △ (細線) 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す
- (太線) 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す
- (緑線) 工事用仮囲い
- (黄線) 工事範囲

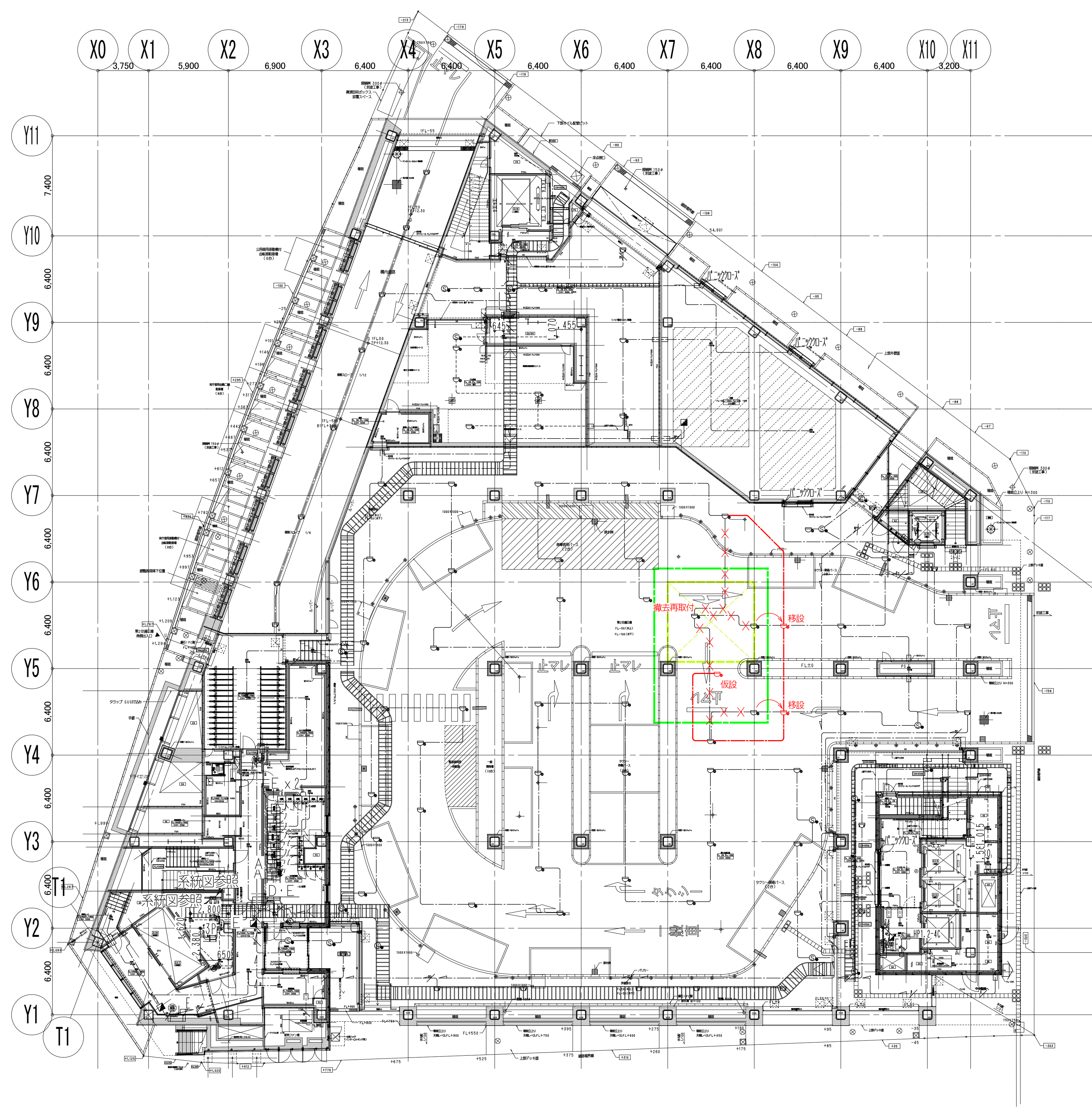
設備 協力会社
会社名 株式会社 株式会社
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

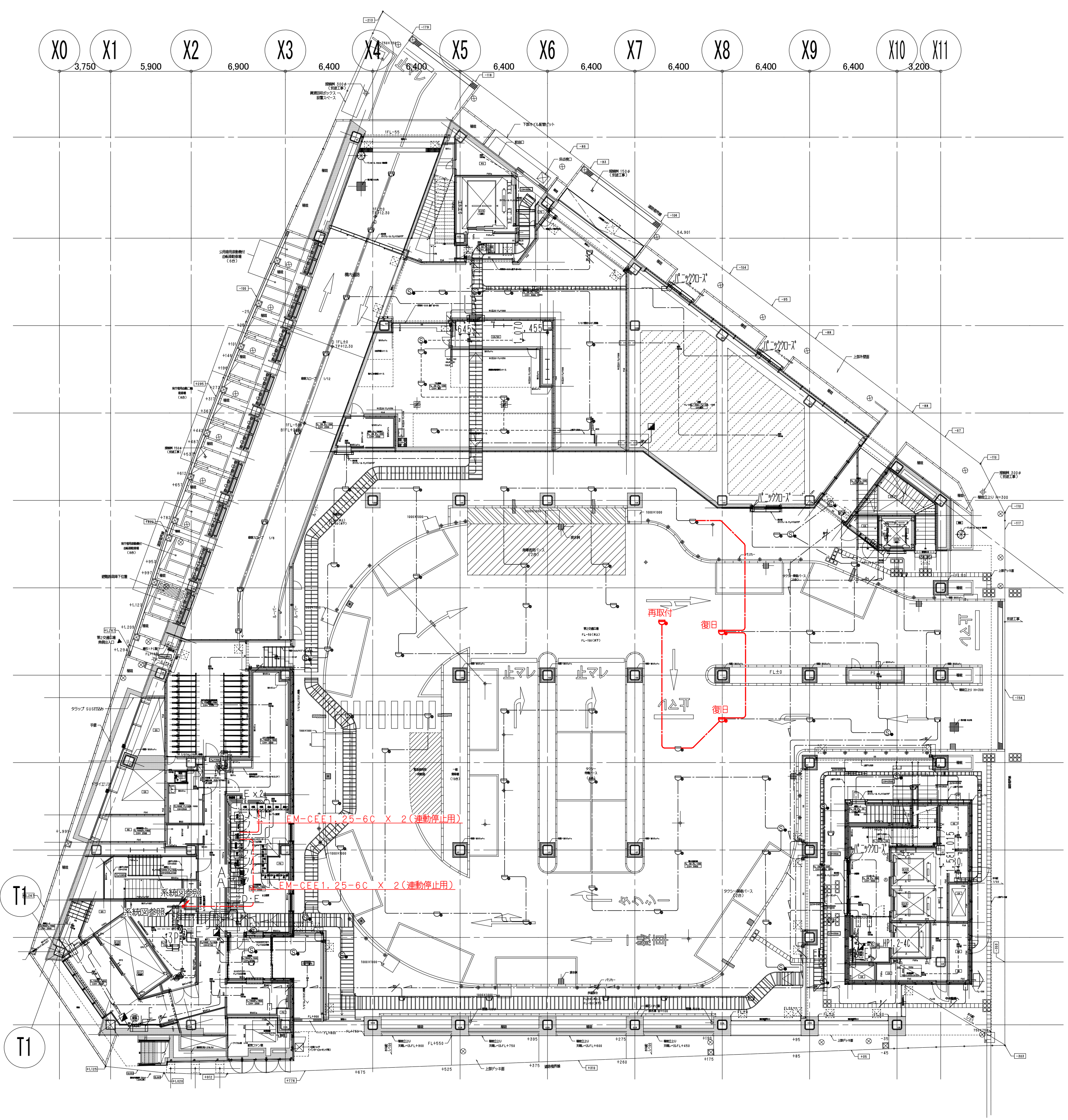
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
機械警備設備 3階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
図面 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平

鹿島 KAJIMA DESIGN
一級建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-21



1 階 改 修 前



1 階 改 修 後

鹿島建設株式会社

- | | | | | |
|-------|------|------------------------|-------|--------|
| × × × | (細線) | 既存配線の完全撤去を示す | ----- | 工事用仮囲い |
| △ △ △ | (細線) | 既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す | ----- | 工事範囲 |
| --- | (太線) | 配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す | | |

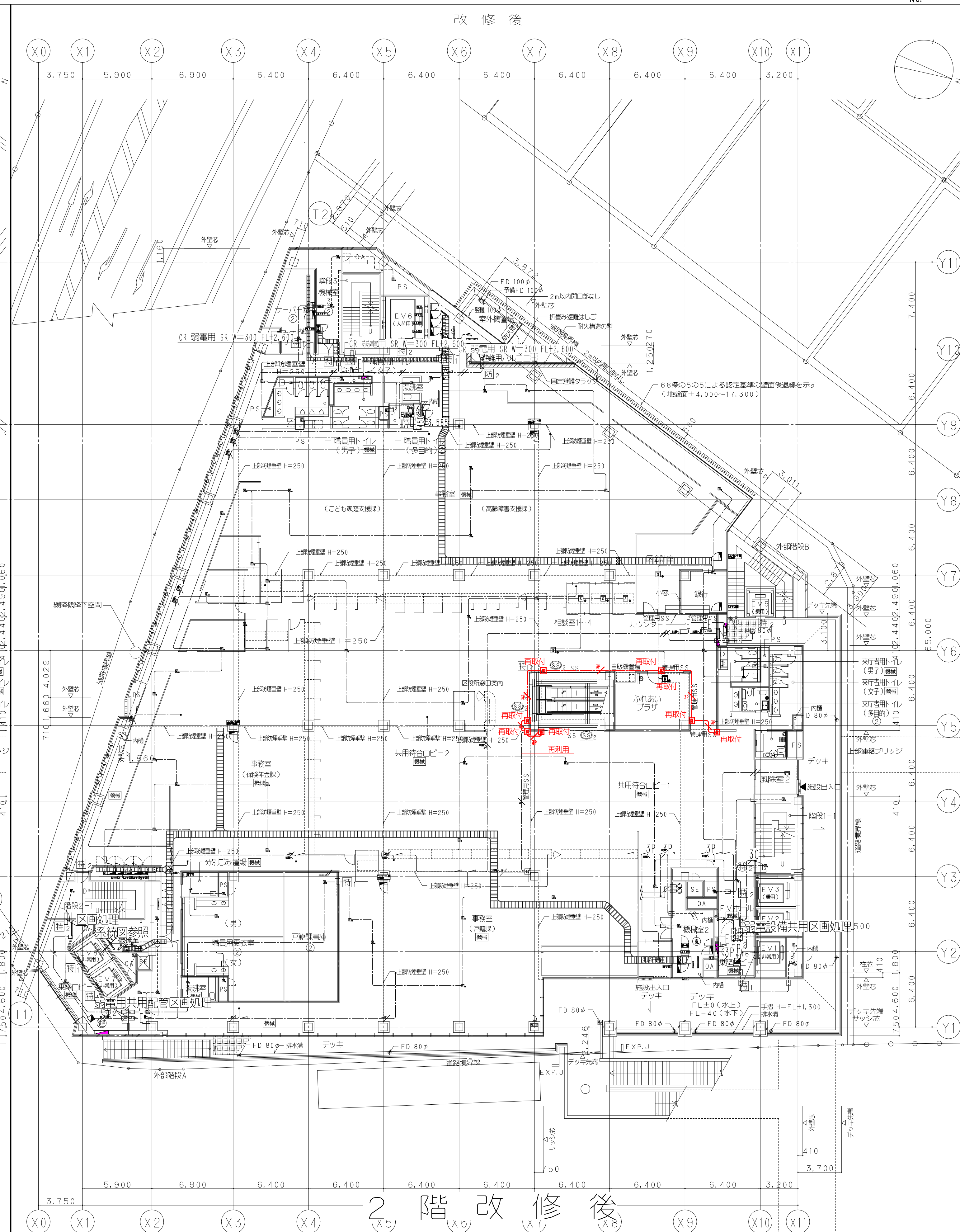
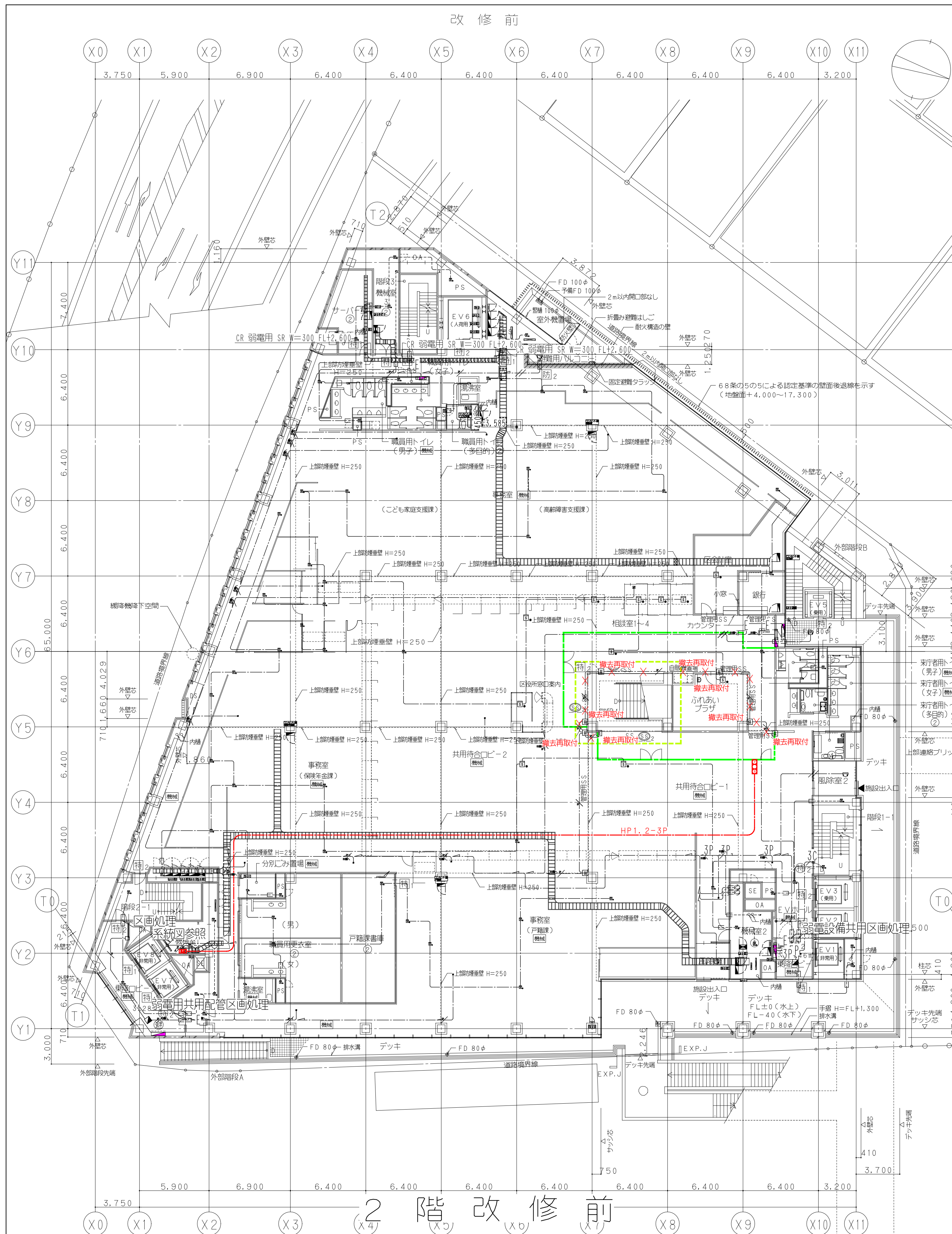
設備 協力会社
会社名
(株)関電工
担当者

竣工図 2018.02.28
工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
自動火災報知設備 1階平面図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
図面 松尾 浩司 松尾 貴史 秋原 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB
217011
DWG
E - 22



鹿島建設株式会社

	(組線)	既存配線の完全撤去を示す
	(組線)	既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す
	(太線)	配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

----- 工事用仮囲い

----- 工事範囲

設備 協力会社
会社名 (株)関電工
担当者

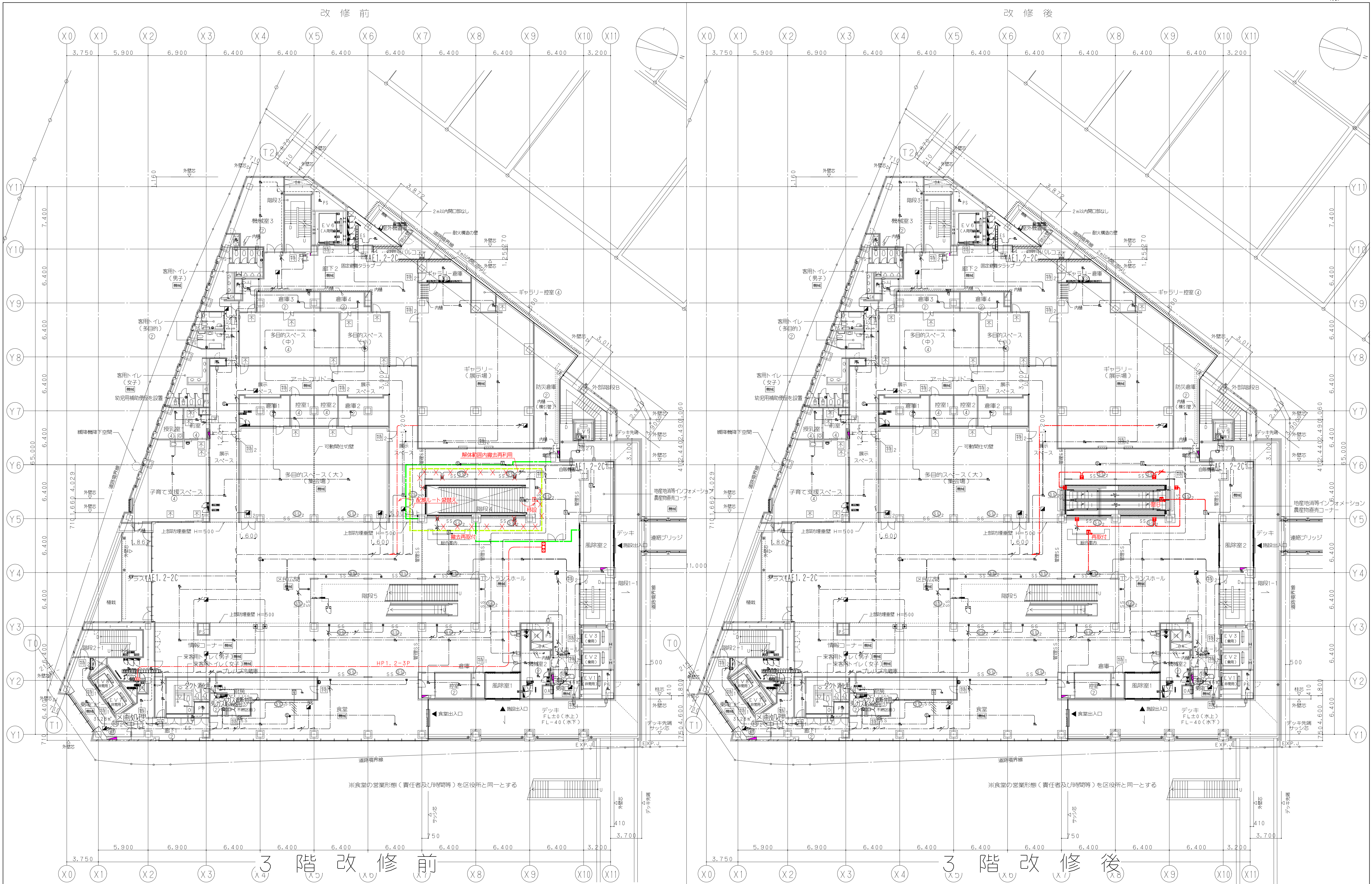
竣工図			2018.02.28	
工事監理	設計	施工		

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
自動火災報知設備 2階平面図

SCALE 1:		DATE 2017-08-21	
部長	検印	各系責任者	設計担当

鹿島
KAJIMA DESIGN
一級建築士 28175
山田 泰史

横浜支店
 JOB
 217011
 DWG
 E - 2



鹿島建設株式会社

設備 協力会社

会社名

株関電工

担当者

竣工図

2018.02.28

工事監理 設計 施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う

公益施設整備事業 エスカレーター設置工事

自動火災報知設備 3階平面図

SCALE 1: DATE 2017-08-21

図面 松岡 浩司 松岡 貴史 秋原 亮平

鹿島

KAJIMA DESIGN

一級建築士 28175

山田 孝史

横浜支店

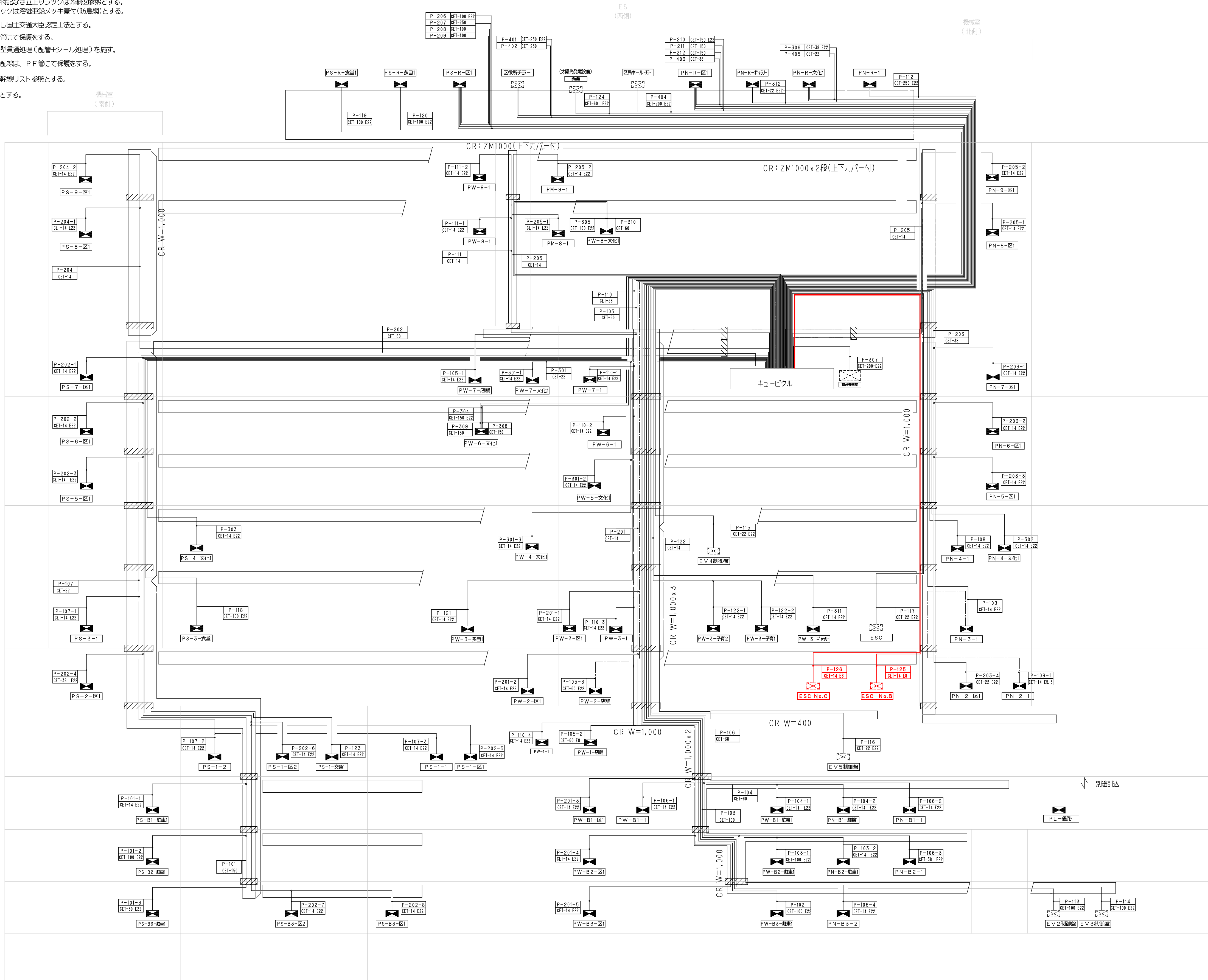
JOB 217011

DWG E-24

本図面は建物の維持管理のための参考資料です。建物の現状と図面が完全に一致していることを保証するものではありません。

注 記

- 図中のケーブルラックは銅製とし特記なき立上りラックは系統図参照とする。
屋上及び外部に設置のケーブルラックは溶融亜鉛メッキ蓋付(防鳥網)とする。
- は壁防火区画貫通処理を示し国土交通大臣認定工法とする。
- 防火区画を貫通する配線は、金属管にて保護をする。
- ホール部分の造音壁貫通部は造音壁貫通処理(配管+シール処理)を施す。
- 間仕切り壁を立上げ・引下げする配線は、P F 管にて保護をする。
- 幹線サイズ、分岐系統は系統図・幹線リスト参照とする。
- 接地幹線は内部避雷設備を参照とする。



動力設備幹線系統図

鹿島建設株式会社

— × × × —	(細線)	既存配線の完全撤去を示す
— △ △ △ —	(細線)	既存配線の解体範囲内一旦撤去うえ再配線を示す
— — —	(太線)	配線の新設配線及び残置配線の再利用配線を示す

設備 協力会社
会社名
担当者

竣工図		2018.02.28
工事監理	設計	施工

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う
公益施設整備事業 エスカレーター設置工事
電気設備 幹線・動力設備 動力幹線系統図
SCALE 1: DATE 2017-08-21
校閲 平田 倫巳 松尾 浩司 松尾 貴史 萩原 亮平

鹿島
KAJIMA DESIGN
一般建築士 28175
山田 孝史

横浜支店
JOB 217011
DWG E-25

設1. 設計条件、設備工事項目

設1.1 主な適用法規等

- 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法—ビル管法—）
- 建築物のエネルギー消費性能向上に関する法律（建築物省エネ法）（○ 適合判定 ○ 届出）
- バリアフリー新法 ● 防災評定 ○ 大臣認定（）
- 防災評価認定制度 ● 総合操作盤の評価
- 防災センターの評価（）○ 消防特例適用（）
- 建築基準法・全館避難安全検証法（ルート○B・○C）

設1.2 屋外・自然環境の条件と対策

項目	条件	対策
● 設計降水量	39 mm/10min（適用部位：水平面屋根） 92 mm/h×1.2（適用部位：垂直面、外構）	○ 浸水対策
○ 雨水流出抑制	・許容放流量 *** L/min	○ 雨水貯留 ○ 雨水浸透
○ 塩害対策地域	・海岸から *** m	○ 耐塩害仕様 ○ 重耐塩害仕様
● 埋設配管防食対策地域	● 迷走電流有 ・土壌条件（）	○ 電気防食 ○
○ 地盤沈下対策地域	・沈下量 *** mm/年	○ 地盤沈下対策
○ 接地難地盤	・大地抵抗率 *** Ωm	○
○ 多雪地域	・最大積雪量 *** cm	○ 屋根ヒータ ○ 道路消雪
○ 凍結対策地域	・凍結深度 GL- *** mm	○ 凍結防止ヒータ
○ 多雪地域	・年間雷雨日数 *** 日以上	○ 雷保護設備
○ 地下水位	・常水面 GL- *** m	

設1.3 耐震・免震・エキスパンションジョイント

- 1）設計用震度の算出方法
- 局部震度法 適用：－
 - 建築物の時刻歴応答解析の結果を用いる方法
 - 地上60mを超える建物 ○ 免震構造 ○ 制震構造 ○ その他（）
- 2）耐震クラスの適用

耐震クラス	適用する設備
● S	防災設備
● A	上記以外の一般設備
○ B	
○	

※昇降機設備の耐震クラスは「昇降機設備図」による。

- 3）-①局部震度法を適用する設備の設計用水平震度 K_H
- ・ $K_H = Z \cdot K_0$
 - ・ 地震地域係数 $Z = 1.0$
 - ・ 設計用標準水平震度 K_0 は、下表による。 [機3-2.1.1、機5-2.2.1、電1-2.10]

耐震クラス	○ S			○ A			○ B		
支持・固定	防振支持	水槽類	固定	防振支持	水槽類	固定	防振支持	水槽類	固定
屋上・塔屋・上層階	2.0	2.0	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0
中間階	1.5	1.5	1.5	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6
地階・1階	1.0	1.5	1.0	1.0	1.0	0.6	0.6	0.6	0.4

注 1）設計用鉛直震度 K_V は、設計用水平震度 K_H の $1/2$ の値とする。

- 2）中間階と上層階の区分
- | 階数 | 上層階 | 中間階 | 備考 |
|---------|------|-----------------|---|
| ○ 2～6 | 最上階 | 地下階、1階、上層階を除く各階 | 階の区分けは階高さの中間とする。床面設置の機器はその階の値を、天井面・天井内の機器、配管・ダクトなどはその上の階の値を使用する。平屋建の屋根は、上層階とする。 |
| ● 7～9 | 上層2階 | | |
| ○ 10～12 | 上層3階 | | |
| ○ 13以上 | 上層4階 | | |

- 3）-②建築物の時刻歴応答解析の結果を用いる方法を適用する設備の設計用震度・設計用水平震度 K_0 は、下表による。 [機3-2.1.1、機5-2.2.1、電1-2.10]

耐震クラス	○ S			○ A			○ B		
支持・固定	防振支持	水槽類	固定	防振支持	水槽類	固定	防振支持	水槽類	固定
屋上・塔屋									
上層階(F～ F)									
中間階(F～ F)									
中間階(F～ F)									
地階・1階									

注 1）設計用鉛直震度 K_V は、設計用水平震度 K_H の $1/2$ の値とする。

ただし、免震構造の建物における K_V は、3）-①局部震度法を適用する設備の設計用水平震度 K_H の $1/2$ の値とする。

- 4）エキスパンションジョイントの層間変位
- エキスパンションジョイントの最大変位： ***mm（*階）
 - 注：エキスパンションジョイント両側の躯体を渡る配管（又はケーブル、ダクト）は、ここに示す値までの躯体の挙動に対応できる可とう継手（又は余長）を設置（確保）する。

- 5）免震建築物のクリアランス
- 免震建築物のクリアランスは、地震時に免震部分と非免震部分とが衝突しないように設ける空間で、躯体相互だけでなく、躯体と仕上げや外構との隙間、躯体と設備との隙間にも同じ数値を適用する。

免震クリアランスの種別	水平 (mm)	鉛直 (mm)
最小クリアランス ¹⁾	以上	以上
竣工クリアランス ²⁾	以上	以上
設計クリアランス ³⁾		

- 注 1) 最小クリアランスは、維持管理の点検時に最低限確保する値
- 2) 竣工クリアランスは、最小クリアランスに残留変位を考慮した値で、竣工時に確保する値
- 3) 設計クリアランスは、竣工クリアランスに施工誤差や温度伸縮などを考慮した値で、設計図・施工図に記された値

- 免震クリアランスを低減できる部位およびクリアランス
仕上げ材や外装材、設備配管、電気配線等で、大地震時に損傷を受けたとしても、建築物の機能・安全性（第三者に対する障害の可能性を含む）に重大な影響の無い部分で、例外として免震クリアランスを低減できる部位およびクリアランスは下表による。

適用部位	低減したクリアランス	水平 (mm)	鉛直 (mm)	備考
	竣工クリアランス			
	設計クリアランス			
	竣工クリアランス			
	設計クリアランス			

設1.4 主な維持管理資格者

- 第三種電気主任技術者 ● 危険物取扱者（乙種） ● エネルギー管理者
 - 建築物環境衛生管理技術者 ○ 冷凍機械責任者（種） ● 防災センター要員（2名）
 - ボイラ技士（取扱技能講習終了者） ○ ●
- は下表による。

設1.5 設備工事項目

設1.5.1 空調設備工事

項目	内容
1 空調設備	既設空調機の撤去、移設
2 換気設備	既設換気設備（ダクト、制気口）の撤去、盛替え 既設搬送ファンの撤去、再取付け
3 配管	冷媒管、空調排水管
4 ダクト	低速ダクト

設1.5.2 衛生設備工事

項目	内容
1 衛生器具	既設手洗いの撤去、再取付け
2 消火設備	泡消火設備 スプリンクラー設備 既設ヘッド及び配管の盛替え、復旧（一部撤去、再取付け） 既設ヘッド及び配管の盛替え、復旧

設1.5.3 電気設備工事

項目	内容
1 高圧・受変電	受変電 配電用遮断器 増設
2 幹線動力	幹線動力 エスカレータ用電源新設 既設配線の盛替え、復旧
3 電灯コンセント	電灯コンセント エスカレータ用電源新設 既設照明用配線の盛替え、復旧（一部器具の撤去、再取付け） 既設コンセント及び配線の盛替え、復旧（一部器具の撤去、再取付け）
4 電話・LAN	配管配線 既設配線の盛替え、復旧 エスカレータ遠隔監視用ケーブル新設
5 防災	非常用照明 誘導灯 非常用放送 自動火災報知 既設配線の盛替え、復旧（一部器具の撤去、再取付け） 仮設器具の新設、撤去 既設配線の盛替え、復旧（一部器具の撤去、再取付け） 既設配線の盛替え、復旧（一部器具の撤去、再取付け）
6 通報表示	警報 セキュリティ 情報表示 エスカレータ故障警報用ケーブル新設 既設配線の盛替え、復旧（一部器具の撤去、再取付け） 既設表示機の盛替え、復旧

設1.5.4 昇降機等設備工事

項目	内容
1 エスカレータ	800形×2台（20m/min、30m/min切替式）
2 運行監視盤	既設盤 改修

設1.5.5 特殊設備工事

項目	内容
※該当工事無し	

設1.5.6 別途工事・支給品

項目	内容
1 別途工事	「見積区分表」による

設1.6 関連打合せ先

官庁・企業者名	住所 電話番号	部署	備考
指導課			
消防 ・ 予防			
消防 ・ 危険物			
電力			
電話			
CATV			
水道			
下水道			
雨水排水			

設1.7 設計条件 ○ 詳細は室別与条件シートによる。

階 室 名							
使用時間							
許容騒音	[~]						
空 冷 乾球温度	DB [°C]						
調 房 相対湿度	RH [%]						
設 暖 乾球温度	DB [°C]						
備 房 相対湿度	RH [%]						
在室者数	[人/㎡]						
照明負荷	[W/㎡]						
コンセント負荷	[W/㎡]						
外気量	[m3/h・人]						
換気回数	[回/h]						
電 照 度	[lx]						
気 照明設備容量	[VA/㎡]						
設 コンセント設備容量	[VA/㎡]						
備 特殊負荷	[kVA]						

階 室 名		階	階	階	階	階	備考
使用時間							
許容騒音	[~]						
空 冷 乾球温度	DB [°C]						注 1）
調 房 相対湿度	RH [%]						注 1）
設 暖 乾球温度	DB [°C]						注 1）
備 房 相対湿度	RH [%]						注 1）
在室者数	[人/㎡]						
照明負荷	[W/㎡]						
コンセント負荷	[W/㎡]						
外気量	[m3/h・人]						
換気回数	[回/h]						
電 照 度	[lx]						
気 照明設備容量	[VA/㎡]						
設 コンセント設備容量	[VA/㎡]						
備 特殊負荷	[kVA]						

階 室 名		階	階	階	階	階	備考
使用時間							
許容騒音	[~]						
空 冷 乾球温度	DB [°C]						注 1）
調 房 相対湿度	RH [%]						注 1）
設 暖 乾球温度	DB [°C]						注 1）
備 房 相対湿度	RH [%]						注 1）
在室者数	[人/㎡]						
照明負荷	[W/㎡]						
コンセント負荷	[W/㎡]						
外気量	[m3/h・人]						
換気回数	[回/h]						
電 照 度	[lx]						
気 照明設備容量	[VA/㎡]						
設 コンセント設備容量	[VA/㎡]						
備 特殊負荷	[kVA]						

- ・ 室内負荷外界湿度条件
冷房：乾球温度＝ 31.4 DB [°C]、絶対湿度＝ 16.8 [g/(kg・DA)]
暖房：乾球温度＝ 1.4 DB [°C]、絶対湿度＝ 1.9 [g/(kg・DA)]
- ・ 機器選定外界湿度条件
冷房：乾球温度＝ 33.3 DB [°C]、絶対湿度＝ 17.6 [g/(kg・DA)]
暖房：乾球温度＝ 0.0 DB [°C]、絶対湿度＝ 1.4 [g/(kg・DA)]
- ・ 外気中の想定CO2濃度＝ [ppm]
- ・ 注1）：各数値は、設備容量を算出するための条件を示す。

設2.4.3 空調設備配管仕様 (1) 配管材料および配管の被覆・仕上げ

用 途														配 管 材 料		継 手 ・ 接 合	備 考			
														[機2-2. 1. 2]						
														表中の記号						
														ALK 7&ミクアト紙						
														ALGC 7&ミク アスクロス						
														ALテープ 7&ミク アスクロス粘着テープ						
冷媒管	冷媒管（水蓄熱）	冷水管（7℃）（密閉）	冷水管（50℃）（密閉）	温水管（50℃）（密閉）	高温水管（℃）（密閉）	冷却水管（密閉）	蒸気送主管管	蒸気送管枝管	蒸気返管	給油管	給油管（地中埋設）	油通気管	空調ドレン管	加湿給水管	JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 白管	ねじ				
		○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 黒管	ねじ				
		○	○	○	○	○							○		JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管 STPG 370 sch 40 白管	溶接				
							○	○	○						JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管 STPG 370 sch 40 黒管	溶接				
		○				○							○		JWWA K 116 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 VA、VD	コア内蔵継手				
		○				○							○		JWWA K 116 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 VB、VD	コア内蔵継手				
			○	○	○	○									JWWA K 140 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA	コア内蔵継手				
		○	○	○			○	○	○						JIS G 3448 一般配管用ステンレス鋼鋼管 SUS 304	機械式				
		○	○	○			○	○	○						JIS G 3459 配管用ステンレス鋼鋼管 SUS 304 sch10S	溶接フランジ				
		○	○	○											JIS G 3468 配管用溶接大口径ステンレス鋼鋼管 SUS 304	溶接				
		○	○		○										JIS G 3459 配管用ステンレス鋼鋼管 SUS316	溶接フランジ				
○	○													○	JCDA 0009 難燃性断熱材被覆鋼管	ろう付け				
○	○												○		JIS H 3300 銅及び銅合金継目無管 硬質	ろう付け				
													○		JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP	接着				
													○		－ 排水・通気用耐火二層管	接着				
													●		－ 空調ドレン用結露防止腐付ポリ塩化ビニル管	接着				
		○	○	○											－ 空調配管用ポリエチレン管 酸素透過防止機能付	接着				
											○				－ 油配管用高密度ポリエチレン管 単層管ビット内	電気融着				
														防露・保温 [機2-3. 1. 4]		材料および施工順序 （防露・保温材料、防食材料および施工順序を示す。）				
														使用区分		1	2	3	4	5
				○	○	○	○	○	○				○	○	屋内露出（一般居室、廊下）	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
				○	○	○	○	○	○				○	○	機械室、書庫、倉庫	ALK付きグ'ラスク'ル保温筒	ビ'ニル被覆きつ甲金網			
				○	○	○	○	○	○				●	○	天井内、PS、空隙壁中	ALK付きグ'ラスク'ル保温筒	ビ'ニル被覆きつ甲金網			
				○	○	○	○	○	○				○	○	床下、暗渠内(ビ'ット内含む)	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	着色7&ミク アスクロス	
										○					床下、暗渠内(ビ'ット内含む)	プライマー	ベ'トロ'ラム系防食テープ	グ'ラスク'ルテープ		
				○	○	○	○	○	○						浴室、厨房等の多湿箇所*	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
				○	○	○	○	○	○				○	○	浴室、厨房等の多湿箇所*	グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
				○	○	○	○	○	○						屋外露出	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
										○			○	○	屋外露出	グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
													○		屋外露出	防露・保温なし			口径150、70℃以下	
													○		埋設配管(ビット内鋼管)	プライマー	ベ'トロ'ラム系防食テープ	グ'ラスク'ルテープ		
											○	○			埋設配管	埋設標識シート（ビット外）				
		○	○		○										屋内露出（一般居室、廊下）	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	合成樹脂製カバー	
		○	○												グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	合成樹脂製カバー		
		○	○												機械室、書庫、倉庫	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	7&ミク アスクロス付き原紙	
		○	○												グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	7&ミク アスクロス		
		○	○												天井内、PS、空隙壁中	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	7&ミク アスクロス	
		○	○												グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	7&ミク アスクロス		
		○	○												床下、暗渠内(ビ'ット内含む)	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	着色7&ミク アスクロス	
		○	○												グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	着色7&ミク アスクロス		
		○	○												浴室、厨房等の多湿箇所（厨房天井内は含まない）	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
		○	○												グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板		
		○	○												屋外露出	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
		○	○												グ'ラスク'ル保温筒3号	粘着テープ	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板		
○	○												○	○	保温付配管共通	防露・保温なし			口径150、70℃以下	
○	○														屋内露出（一般居室、廊下）	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	合成樹脂製カバー	
○	○														(断熱材被覆付き)	保温化粧ケース				
○	○														機械室、書庫、倉庫	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	7&ミク アスクロス付き原紙	
○	○														(断熱材被覆付き)	グ'ラスク'ルテープ				
●	○														天井内、PS、空隙壁中	架橋グ'ラスク'ル保温筒2種	目張り			
○	○														(断熱材被覆付き)	グ'ラスク'ルテープ				
○	○														床下、暗渠内(ビ'ット内含む)	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	着色7&ミク アスクロス	
○	○														(断熱材被覆付き)	着色7&ミク アスクロス			口径150、70℃以下	
○	○														浴室、厨房等の多湿箇所（厨房天井内は含まない）	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
○	○														(断熱材被覆付き)	着色7&ミク アスクロス			グ'ラスク'ル鋼板	
○	○														屋外露出	グ'ラスク'ル保温筒	鉄線	グ'ラスク'ル保温筒	グ'ラスク'ル鋼板	
○	○														(断熱材被覆付き)	冷媒管ラック/保温化粧ケース				

(2) 弁類

種別	型式および規格	材質および特記
弁類	○ JIS規格 10K	○ 青銅製 (50A以下)
	○ JIS規格 5K	○ 鋳鉄製 (65A以上)
	○	○ 鋳鋼製
	○	○ ステンレス鋼製
	○	○ 樹脂ライニング製
	○	○
	○	○

(3) 継手類

継手種類	形式	用途（配管）
○ 伸縮管継手	[機2-2. 2. 6]	ペローズ形（リブ鋼および洋白製）
○（フランジ付）		
○ 防振継手	[機2-2. 2. 7]	合成ゴム製
○（フランジ付）		
○ フレキシブルジョイント	[機2-2. 2. 8]	ペローズ形(SUS304)
○（フランジ付）		
○ 免震継手		
○（フランジ付）		

(4) 水処理剤（初期投入）

対象	型式および規格
蒸気&イ	○ 脱酸素剤
	○ 清浄剤
	○ 復水処理剤（FDA適合）
	○ 防食剤
温水&イ	○ 防食剤
	○ 防食剤
冷却塔	○ 多目的冷却水処理剤
高温水	○ 防食剤
	○

注記：

- 注1) 継手・弁類は、共通仕様書による。
注2) 高温水管（50℃超）は密閉式とし防食剤を投入する。
注3) 内面ライニング鋼管に用いる弁類は、青銅製は70入り・鋳鉄製は140入り（114インチ）とする。
注4) 外面被覆鋼管を用いる場合は、外面に樹脂被覆を施した継手を使用する。
注5) 保温材・整形用原紙は、垂鉛鉄線にて固定する。
注6) 冷媒管はグ'ラスク'ルテープ付きとする。
注7) 防露・凍結の恐れのある範囲の油通気管・蒸気返管は保温する。やけどの恐れのある蒸気返管は保温する。
注8) 冷媒配管の接続は、フレア継手、ろう付け又はフランジ継手とする。
注9) 冷媒配管の吊り用支持受けは、断熱材のつずれ防止の措置をとる。
注10) ステンレス鋼管に接触する支持材、緩衝材は塩素を含まないものとする。

設2.5 衛生設備

設2.5.1 衛生設備配管仕様 (1) 配管材料および配管の被覆・仕上げ

用 途																				配 管 材 料		継手、接合	備 考			
埋設給水管（引込部）	埋設給水管（メータ以降）	給水管	給湯管（65度以下）	給湯管（95度以下）	消火管	埋設消火管	連結送水管	雑排水管	汚水管	通気管	雨水管（屋内）	雨水管（KUV）	厨房排水管（60度未満）	厨房排水管（60度以上）	厨房排水管（シンダー内）	埋設排水管（荷重部分）	埋設排水管（非荷重部分）	臭突管	ガス管	埋設ガス管	[機2-2.1.2]					
																					表中の記号					
					●						○	○							○		JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 白管	ねじ				
					○						○	○			○						JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管 黒管	ねじ				
					○																JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管 STPG 370 sch 40 白管	溶接				
					○																JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管 STPG 370 sch 40 黒管	溶接				
																					JIS G 3454 圧力配管用炭素鋼鋼管 STPG 370 sch 80 白管	溶接				
	○	○																			JWWA K 132 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 PA、PD	コア内蔵継手				
○	○	○																			JWWA K 132 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 PB、PD	コア内蔵継手				
			○																		JWWA K 140 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 SGP-HVA	コア内蔵継手				
							○														WSP 041 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 VS	外面被覆継手				
					○						○	○									－ 一般配管用ステンレス鋼鋼管(SUS430LX)	機械式				
		○		○	○						○	○									JIS G 3448 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304	機械式				
				○				○													JIS G 3448 一般配管用ステンレス鋼管 SUS304	機械式				
○	○	●																			JWWA 115 水道用ステンレス鋼管(SUS316)	機械式継手				
					○																JIS H 3330 銅及び銅合金の継目無管 硬質(M) (一般)	ろう付け		局所給湯のみ		
					○																JIS H 3330 外面被覆鋼管 硬質(M) (一般)	ろう付け		局所給湯のみ		
		○	○																		JIS K 6742 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 H1VP	接着				
	○	○	○																		JWWA K 144 水道配水用ポリエチレン管	電気融着				
	○	○	○	○																	JIS K 6769 架橋ポリエチレン管	機械式継手				
															○	○					－ ポリプロピレン二層管	機械式継手				
								○	○	○	○		○					○			WSP 042 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	MDジョイント				
								○	○												WSP 032 排水用ノック&B 塗装鋼管	MDジョイント				
															○	○					JIS G 5525 排水用鋳鉄管 外1種管 差込形RJ管	機械式継手				
								○	○	○		○			○	○	○				JIS K 6741 硬質ポリ塩化ビニル管 VP	接着				
								○	○									○			－ 排水・通気用耐火二層管	接着				
																				－ 耐熱性硬質塩化ビニル管	接着					
		○																			JIS K 9798 リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 RF-VP	接着				
		○	○													○					JIS A 5372 水路用遠心力鉄筋コンクリート管 外圧管1種のB形	電気融着				
								○	○	○						○	○				－ 排水用ポリエチレン圧送管	電気融着				
						○															－ 消火配管用ポリエチレン管	電気融着				
																			○	JIS G 3469 鋼管ライニング被覆鋼管						
																			○	JIS K 6774 ガス用鋼管ライニング管	電気融着					
																			○	－ ガス用ファイバーステンレス鋼管 原管JIS G 4305	ワンブッシュ継手					
防露・保温 [機2-3.1.5] 材料および施工順序 (防露・保温材料、防食材料および施工順序を示す)																										
使用区分																						1	2	3	4	
	○	○	○	○				○	○	○	○	○	○					○			屋内露出 (一般居室、廊下)	グラスウール保温筒 鉄線 合成樹脂製カバナー	接着テープ	接着テープ	接着テープ	
																					防露・保温なし					
	○	○	○	○																	機械室、書庫、倉庫	ALK付きグラスウール保温筒 垂鉛鉄線 7&ミナ グラスウール 7&ミナ グラスウール	接着テープ	接着テープ	接着テープ	
	○	○	○																		防露・保温なし					
	○	●	○									○	○								天井内、PS、空隙壁中	ALK付きグラスウール保温筒 垂鉛鉄線 7&ミナ グラスウール 7&ミナ グラスウール	接着テープ	接着テープ	接着テープ	
	○	○										○	○								防露・保温なし					
																					天井内、PS、空隙壁中 (排水)	ALK付きグラスウール保温筒 ビニル被覆き甲金網				
																					防露・保温なし					
																					厨房シンダー埋設	熱伸縮吸収用緩衝材 (シリコンゴムテープ)				
		○	○	○																	床下、暗室内(ヒート内含む)	グラスウール保温筒 鉄線 7&ミナ グラスウール	接着テープ	接着テープ	接着テープ	
																					防露・保温なし					
		○	○																		浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房天井内は含まない)	グラスウール保温筒 鉄線 7&ミナ グラスウール	接着テープ	接着テープ	接着テープ	
																					防露・保温なし					
		○	○																		屋外露出	グラスウール保温筒 鉄線 7&ミナ グラスウール	接着テープ	接着テープ	接着テープ	
		○	○																		防露・保温なし					
○	○					○												○	○		○ 埋設配管	埋設標識シート (排水樹間は不要)				
	○	○																			○ 埋設配管 (防食)	ポリエチレンスリーブ		埋設標識シート		
																					○ 埋設配管 (防食継手部のみ)	プライマー		ペトリウム系防食テープ	プラスチックテープ	埋設標識シート

